

臨床検査技師
国家試験出題基準
令和3年版

厚生労働省医政局医事課

目 次

臨床検査技師国家試験出題基準の作成について	i
臨床検査技師国家試験出題基準改定委員会委員名簿	ii
臨床検査技師国家試験出題基準の利用法	iii
試験科目と指定規則に定める教育内容との対応表	iv
I 章 臨床検査総論	1
II 章 臨床検査医学総論	11
III 章 臨床生理学	19
IV 章 臨床化学	25
V 章 病理組織細胞学	32
VI 章 臨床血液学	38
VII 章 臨床微生物学	43
VIII 章 臨床免疫学	51
IX 章 公衆衛生学	56
X 章 医用工学概論	61
索引	
欧文索引	65
和文索引	70

I 章

II 章

III 章

IV 章

V 章

VI 章

VII 章

VIII 章

IX 章

X 章

索

引

臨床検査技師国家試験出題基準の作成について

1 経緯

臨床検査技師国家試験出題基準は、平成 12 年の臨床検査技師学校養成所指定規則の改正によって、教育カリキュラムが大綱化されたことに伴い、平成 14 年にとりまとめられたものであり、その後 2 度の改定を経て、国家試験問題の作成に活用されている。

前回の臨床検査技師国家試験出題基準改定から 6 年が経過し、現行の教育及び医療水準を踏まえ、改定をおこなうために平成 30 年 11 月から臨床検査技師出題基準改定検討会で、審議が行われた結果、今般出題基準が取りまとめられたものである。

なお、今般の臨床検査技師国家試験出題基準は、令和 3 年春の臨床検査技師国家試験から適用される。

2 会議開催状況

第 1 回	平成 3 0 年 1 1 月 2 6 日 (月)
第 2 回	1 2 月 1 7 日 (月)
第 3 回	平成 3 1 年 1 月 2 8 日 (月)
第 4 回	2 月 2 2 日 (金)

臨床検査技師国家試験出題基準改定検討会委員名簿

- 村上 正巳 群馬大学大学院

- 大西 宏明 杏林大学

- 吉田 博 東京慈恵会医科大学附属柏病院

- 川良 徳弘 文京学院大学

- 東條 尚子 三楽病院

- 戸塚 実 東京医科歯科大学大学院

- 江口 正信 公立福生病院

- 滝野 寿 (一社)日本臨床衛生検査技師会

- 東田 修二 東京医科歯科大学

- 松本 哲哉 国際医療福祉大学

- 三澤 成毅 順天堂大学医学部附属順天堂医院

- 山田 俊幸 自治医科大学

- 小松 博義 文京学院大学

- 杉森 裕樹 大東文化大学

- 三宅 一徳 順天堂大学医学部附属浦安病院

臨床検査技師国家試験出題基準の利用法

臨床検査技師国家試験は、臨床検査技師等に関する法律の第 11 条に基づいて行われる。

その内容を具体的な項目に拠って示したのが、臨床検査技師国家試験出題基準である。臨床検査技師国家試験の妥当な範囲と適切なレベルを確保するため、臨床検査技師試験委員はこの基準に拠って出題する。

なお、当該出題基準は養成所の卒業前の教育で扱われる内容の全てを網羅するものではなく、これらの教育のあり方を拘束するものではない。

利用者は以下の項目ごとの分類に従う。

1. 見出し（章）、見出し（節）、大項目、中項目、小項目に分類する。
 - (1) 見出し（章）は試験科目名とする。また、見出し（節）、は臨床検査技師学校養成所指定規則に定める教育内容を示す。
 - (2) 大項目は中項目を束ねる見出しとする。
 - (3) 中項目は、臨床検査技師国家試験の出題範囲とする。
 - (4) 小項目には、中項目の内容を例示する。
 - ① 中項目に関連する主たる項目の範囲を示す。
 - ② 標準的な学生用教科書に記載されている程度の内容は出題範囲となる。
 - (5) 備考は、中項目および小項目に関する内容のうち、臨床検査技師にとって必要な事項（特徴的所見を含む）を記載する。ただし、出題範囲を限定するものではない。
2. その他
 - () : 省略しても意味または分類の変わらない語
例 ; 蛋白 (質)
 - < > : 直前の語の言い換えまたは説明
例 ; 後天性免疫不全症候群<AIDS>、アロ抗原<MHC を含む>
 - [] : < >の中にく >がある場合の大きい括り

試験科目と指定規則に定める教育内容との対応表

臨床検査総論	形態検査学 生物化学分析検査学 検査総合管理学 医療安全管理学 病因・生体防御検査学	専門
臨床検査医学総論	臨床病態学	専門
臨床生理学	人体の構造と機能	基礎
	生理機能検査学	専門
臨床化学	人体の構造と機能	基礎
	生物化学分析検査学	専門
病理組織細胞学	人体の構造と機能 医学検査の基礎と疾病との関連	基礎
	形態検査学	専門
臨床血液学	人体の構造と機能	基礎
	形態検査学 病因・生体防御検査学	専門
臨床微生物学	医学検査の基礎と疾病との関連	基礎
	病因・生体防御検査学	専門
臨床免疫学	病因・生体防御検査学	専門
公衆衛生学	保健医療福祉と医学検査	基礎
医用工学概論	医療工学・情報科学	基礎
	検査総合管理学	専門

I 章 臨床検査総論

検査総合管理学・医療安全管理学

大項目	中項目	小項目	備考
1 臨床検査の意義	A 診断方法の変遷		
		B 臨床検査の意義	
	a スクリーニング検査		
	b 精密検査		
	c コンパニオン検査	分子標的治療	
	d 緊急検査		
	e 診察前検査		
f 検査計画			
	g 予後の検査		
2 臨床検査部門の業務と管理	A 検査体制	a 検査体制の変遷	
		b POCT	
		c OTC検査	
		d 在宅検査	
		e 衛生検査所	
	B 臨床検査部門の組織	a 病院の組織	
		b 臨床検査部門の組織	
		c 診療支援部門としてのあり方	
		d チーム医療	感染対策チーム<ICT>、抗菌薬適正使用支援チーム<AST>、栄養サポートチーム<NST>など
	C 臨床検査部門の業務	a 検体検査	
		b 生理検査	
		c 日常検査	
		d 迅速検査	
		e 治験業務	
		f 臨床検査情報室	
	D 検査業務管理	a マニュアル、標準作業手順書<SOP>	
		b 臨床検査室の評価	ISO 15189
		c 検査結果の管理	
		d 人事管理	
	E 検査機器・物品管理	a 試薬	
		b 検査器材	
		c 検査機器	
	F 情報管理	a 個人情報保護	
G 財務管理	a 医療経済		
	b 収支バランス		
3 検体の採取と保存	A 採血法	a 採血器具	
		b 採血条件	
		c 抗凝固剤、解糖阻止剤	
		d 標準採血法	
		e 静脈血	
		f 毛細血管血	
	B 採血時の安全管理	a 血管迷走神経反応	
		b 末梢神経損傷	

大項目	中項目	小項目	備考	
		c 感染症		
		d その他の採血合併症		
		e 針刺し切創		
	C 検体採取法・取り扱い法	a 全血、血漿、血清		
		b 尿		
		c 糞便		
		d 喀痰		
		e 精液		
		f 組織・細胞		
		g 胃液		
		h 十二指腸液		
		i 脳脊髄液		
		j 咽頭・鼻腔ぬぐい液		
		k 皮膚・膿・口腔粘膜		
	l 穿刺液、分泌液、その他			
D 検体の搬送と保存	a 搬送法			
	b 保存法			
4 検査の受付と報告	A 検査受付	a 検査予約		
		b 検体照合		
		c 検体搬送		
		d オーダリングシステム		
	B 検体の前処理	a 検体の種別		
		b 検体処理		
	C 検査結果の報告	a 報告の種類と方法		
		b 検査結果への付加情報・コメント		
		c 検査結果の評価		
		d 検査結果の保存		
	5 検査の精度保証 (精度管理)	A 概略	a クオリティマネジメント	
			b 精度管理に必要な統計学	
B 誤差		a 正確さと精密さ		
		b 不確かさ		
		c 誤差の分類		
		d 誤差の許容限界		
		e 管理限界		
C 単位		a 化学分析の単位		
		b 酵素活性の単位		
		c SI単位		
D 精度管理法		a 精度管理法の分類		
		b 精度管理試料		
		c 内部精度管理		
		d 外部精度管理<外部精度評価>	臨床検査室の技能試験	
		e 検査過誤の管理		
		f 精度認証制度		
E 標準化		a 基準測定操作法		

大項目	中項目	小項目	備考
		b 標準物質	
		c トレーサビリティ	
		d 共用基準範囲	
		F 検査法の信頼性評価	a 技術的評価
		b 検査結果の評価	
6 検査の安全管理と倫理	A 医療安全	a 医療事故と医療過誤	
		b インシデント	
		c 医療事故発生時の対処	
		d 医療事故防止対策	
		e 患者と検体の確認	
		f パニック値対応	
	B 感染対策	a 標準予防策	
		b 感染経路別予防策	
	C 安全衛生管理	a 電気	
		b 医療用ガス	
		c 薬品	
		d 感染性医療廃棄物	
		e 放射性同位元素<RI>	
		f 労働衛生管理	
		g 災害対策	
	D 検査の倫理	a 検査の倫理規定	
		b インフォームドコンセント	
		c 患者の接遇	コミュニケーションを含む

生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 尿検査	A 尿の生成と組成		
	B 一般的性状	a 尿量	
		b 臭気	
		c 色調	
		d 混濁尿	
		e 尿 pH	
		f 尿比重	
		g 尿浸透圧	
	C 化学的検査法	a 尿蛋白質	Bence Jones蛋白、微量アルブミン
		b 尿糖	
		c 尿ケトン体	
		d 尿ビリルビン	
		e 尿ウロビリニン体	
		f 尿ポルフィリン体	
		g 尿潜血	血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿
		h フェニルケトン体	
		i 5-ヒドロキシインドール酢酸<5-HIAA>	
		j バニルルマンデル酸<VMA>	
		k 尿亜硝酸塩	
		l 白血球反応	
		m アスコルビン酸	
		n ヒト絨毛性ゴナドトロピン<hCG>、妊娠反応	
	o 薬物・毒物・代謝産物		
	D 尿沈渣検査	a 標本作製法	
		b 染色法	Sternheimer染色、SudanⅢ染色、Prescott-Brodie染色
		c 鏡検法	
d 尿中有形成分			
E 自動分析装置	a 尿自動分析装置		
	b 尿中有形成分分析装置		
F 腎機能検査	a クリアランス		
	b 推算糸球体濾過量 (eGFR)		
2 脳脊髄液検査	A 髄液の生成と組成		
	B 一般的性状	a 混濁	
		b 色調	
		c 圧測定	
	C 化学的検査法	a 蛋白質	
		b 糖質	
		c 酵素	LD、CK、アデノシンデアミナーゼ<ADA>
	D 細胞学的検査法	a 細胞数	

大項目	中項目	小項目	備考
		b 細胞の種類	
3 糞便検査	A 生成と組成		
	B 一般的性状	a 形状	
		b 色調	
		c 臭気	
	C 糞便検査法	a 免疫学的便潜血反応	
b 脂肪球			
4 喀痰検査	A 一般的性状		
	B 検査法		
5 その他の検査	A 精液検査		
	B 穿刺液検査	a 胸水	
		b 腹水	
	C その他の体液検査	a 気管支肺胞洗浄液<BALF>	
		b 持続的外来腹膜透析<CAPD>排液	
		c 羊水	
		d 鼻汁	
		e 関節液	
		f 腔分泌液	
D 結石検査			

大項目	中項目	小項目	備考
1 医動物学	A 寄生虫症の疫学	a 新興・再興感染症	
		b 顧みられない熱帯病<Neglected Tropical Diseases[NTD]>	
		c 輸入感染症	
	B 寄生虫の生活と疾患	a 生活史と感染経路	
		b 人獣共通感染症	
		c 幼虫移行症	
		d 日和見感染症	
	C 寄生虫の生殖と発育	a 無性生殖と有性生殖	
		b 終宿主と中間宿主	
	D 線虫類	a 回虫	
		b 蟯虫	
		c 糞線虫	
		d 鉤虫	
		e 東洋毛様線虫	
		f 鞭虫	
		g 旋毛虫	
		h 糸状虫	バンクロフト糸状虫、マレー糸状虫
		i アニサキス	
		j 顎口虫	
		k 広東住血線虫	
		l 旋尾線虫	
		m メジナ虫	
	E 吸虫類	a 横川吸虫	
		b 肝吸虫	肝吸虫、タイ肝吸虫
		c 肝蛭	
		d 肺吸虫	Westerman肺吸虫、宮崎肺吸虫
		e 住血吸虫	日本住血吸虫、Manson<マンソン>住血吸虫、Bilharz<ビルハルツ>住血吸虫
	F 条虫類	a 裂頭条虫	日本海裂頭条虫、広節裂頭条虫、クジラ複殖門条虫<大複殖門条虫>、Manson<マンソン>裂頭条虫
		b 無鉤条虫	
		c 有鉤条虫、有鉤囊虫	
		d 単包条虫	
		e 多包条虫	
		f 小形条虫	
g 縮小条虫			
G 原虫類	a アメーバ	赤痢アメーバ、大腸アメーバ、アカントアメーバ	
	b Lamb1鞭毛虫		
	c ヒトクリプトスポリジウム<小形クリプトスポリジウム>		

大項目	中項目	小項目	備考
		d 戦争イソスポーラ	
		e サイクロスポーラ	
		f 肉胞子虫	
		g マラリア原虫	熱帯熱マラリア原虫、三日熱マラリア原虫、四日熱マラリア原虫、卵形マラリア原虫
		h トキソプラズマ	
		i トリパノソーマ	
		j リーシュマニア	
		k 腔トリコモナス	
	H 衛生動物(医節足動物)	a ツツガムシ	
		b ダニ類<ヒゼンダニ、マダニ、ニキビダニ、コナダニなど>	ノルウェー疥癬、重症熱性血小板減少症候群<SFTS>、野兔病、ライム病、日本紅斑熱
		c 蚊類	ハマダラカ、イエカ、ヤブカ
		d ハエ類	
		e ノミ類	
		f シラミ類	アタマジラミ、コロモジラミ、ケジラミ、トコジラミ
		g その他	ブユ類、アブ類など
2 寄生虫検査法	A 材料の採取と保存		糞便、尿、喀痰、血液、皮膚、胆汁、その他の体液・組織
	B 糞便	a 培養法	
		b 虫卵	
		c 原虫	
		d 幼虫・成虫体	
	C 血液	a マラリア原虫	
		b その他の原虫	
		c 幼虫	
	D その他の検査	a 免疫学的検査法	
		b 遺伝子検査法	

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 遺伝子の基礎	A 遺伝子の構造と機能	a 核酸の種類	
		b 核酸代謝	
		c 遺伝子の構造と機能	
		d クロマチンの構造	
	B DNAの複製	a 複製	
		b DNAの損傷と修復	
	C 遺伝情報の伝達と発現	a ゲノムDNA	
		b ミトコンドリアDNA	
		c 転写	
		d 翻訳	
		e 遺伝子発現の調節	
		f 蛋白質合成	
		g 変異と多型	
	D 遺伝子と疾患	a 遺伝の法則	
		b 遺伝子変異と変異原	
		c 表現型と遺伝型	
		d 遺伝子異常と疾患	
		e 遺伝子診断	
		f 遺伝子治療	
g 移植・再生医療			
h ファーマコゲノミクス<PGx>			
2 遺伝子検査法	A 遺伝子関連検査の種類	a 病原体遺伝子検査	
		b 体細胞遺伝子検査	
		c 生殖細胞系列遺伝子検査	遺伝学的検査
	B 検体の取扱い	a 検体採取と保存	
		b 検体試料の前処理	
	C 核酸抽出	a DNA抽出	
		b RNA抽出	
	D 遺伝子増幅	a PCR法	
		b RT-PCR法	
		c その他の核酸増幅法	LAMP法を含む
	E 解析法	a サザンブロット法	
		b ノザンブロット法	
		c fluorescence <i>in situ</i> hybridization<FISH法>	
		d DNAマイクロアレイ法	
		e シークエンス解析	
		f マイクロサテライト解析	
		g リアルタイムPCR法	
		h がん遺伝子パネル検査	
		i その他の解析法	
	F 倫理	a インフォームドコンセント	
		b 遺伝倫理	
		c 遺伝情報管理	

大項目	中項目	小項目	備考
	G 検査機器	a 核酸増幅装置	
		b ブロットティング装置	
		c シークエンサ	
		d トランスイルミネータ	
		e 電気泳動装置	
		f その他の検査機器	
3 染色体の基礎	A 染色体の構造と機能	a 細胞周期	
		b 染色体の構造	
		c 常染色体	
		d 性染色体	
	B 分類と命名法	a 体細胞	
		b 生殖細胞	
		c 核型	
	C ヒトの染色体地図	a 遺伝子マッピング	
		b 核型進化	
	D 染色体異常と疾患	a 数的異常	トリソミーなど
		b 構造異常	欠失、重複、転座など
		c その他の異常	染色体不安定症候群など
4 染色体検査法	A 細胞培養法	a 培養準備	
		b 末梢血リンパ球培養	
		c 骨髄細胞培養	
		d 羊水細胞培養	
		e 皮膚線維芽細胞培養	
		f リンパ球細胞株の樹立	
		g 固形腫瘍細胞培養	
		h 絨毛細胞培養	
		i 高精度分染用培養	
		B 標本作製法	a 低張処理
	b 固定		
	c 展開		
	d 保存		
	C 分染法	a Qバンド	
		b Gバンド	
		c Rバンド	
		d Cバンド	
		e NOR法	
		f 姉妹染色分体分染法	
		g 高精度染色体分染法	
	D 核型分析	a 顕微鏡観察	
		b 核型分析	
		c 核型の記載法	ISCN
		d 自動解析装置	
	E fluorescence <i>in situ</i> hybridization <FISH法>	a DNAプローブの種類	
		b 間期核FISH法	
		c 染色体ペインティング法	SKY<spectral karyotyping>法

大項目	中項目	小項目	備考
	F 検査機器	a クリーンベンチ	
		b 炭酸ガス培養器	
		c その他の検査機器	

II 章 臨床検査医学総論

臨床病態学

大項目	中項目	小項目	備考
1 医学概論	A 病気の原因	a 内因	
		b 外因	
	B 病気の症状		
	C 患者心理		
	D 疾病の経過と転帰		
	E 救急医療	a 救急対応の病状	ショック・意識障害・失神・痙攣など
	b 一次救命処置		
	c 二次救命処置		
2 循環器疾患	A 心不全	a 左心不全	
		b 右心不全	
	B 不整脈	a 期外収縮	
		b 上室頻拍	WPW症候群を含む
		c 心房粗動	
		d 心房細動	
		e 心室頻拍	QT延長症候群を含む
		f 心室細動	Brugada症候群を含む
		g 興奮伝導障害	
		h 洞不全症候群	
	C 先天性心疾患	a 心室中隔欠損症	
		b 心房中隔欠損症	
		c Fallot四徴症	
		d 動脈管開存症	
	D 弁膜疾患	a 大動脈弁疾患	
		b 僧帽弁疾患	
		c 肺動脈弁疾患	
		d 三尖弁疾患	
		e 感染性心内膜炎	
	E 虚血性心疾患	a 狭心症	
		b 急性冠症候群	
		c 心筋梗塞	
	F 心膜疾患	a 心膜炎	
		b 心タンポナーデ	
	G 心筋疾患	a 心筋症	肥大型心筋症、拡張型心筋症、たこつぼ型心筋症など
		b 心筋炎	
	H 血圧異常	a 本態性高血圧症	
		b 二次性高血圧症	
		c 低血圧症	
	I 脈管疾患	a 動脈疾患	末梢動脈疾患、大動脈瘤など
		b 静脈疾患	
		c リンパ管疾患	
		d 炎症性疾患	川崎病、高安動脈炎など
3 呼吸器疾患	A 呼吸不全	a 急性呼吸不全	

大項目	中項目	小項目	備考
		b 慢性呼吸不全	
	B 感染性肺疾患	a 細菌性肺炎	
		b 肺結核症	
		c 肺非結核性抗酸菌症	
		d ウイルス性肺炎	
		e 肺真菌症	
		f マイコプラズマ肺炎	
	C 免疫学的機序が関与する肺疾患	a 気管支喘息	
	D 気道閉塞性疾患	a 慢性閉塞性肺疾患<COPD>	
	E 間質性肺疾患	a 間質性肺炎	
		b 肺サルコイドーシス	
	F 肺循環障害	a 肺血栓塞栓症	
		b 肺高血圧症	
	G 胸膜疾患	a 胸膜炎	
		b 気胸	
	H 悪性腫瘍	a 原発性肺癌	
		b 転移性肺腫瘍	
		c 悪性中皮腫	
	I その他	a 気管支拡張症	
		b 過換気症候群	
c 睡眠時無呼吸症候群<SAS>			
4 消化管疾患	A 炎症性疾患	a 食道炎	
		b 胃炎	
		c 感染性腸炎	
		d 潰瘍性大腸炎	
		e Crohn病	
		f 腸結核	
	B 消化性潰瘍	a 胃潰瘍	
		b 十二指腸潰瘍	
	C 腸閉塞<イレウス>		
	D 過敏性腸症候群		
	E 悪性腫瘍	a 食道癌	
		b 胃癌	
		c 大腸癌	
	5 肝・胆・膵疾患	A 肝疾患	a 急性ウイルス性肝炎
b 劇症肝炎			
c 慢性肝炎			
d 自己免疫性肝疾患			
e アルコール性肝障害			
f NAFLD<非アルコール性脂肪性肝疾患>、NASH<非アルコール性脂肪性肝炎>			
g 肝硬変			
h 肝癌			

大項目	中項目	小項目	備考	
	B 胆道疾患	a 胆管炎・胆嚢炎		
		b 胆石症		
		c 胆管癌・胆嚢癌		
		d 原発性胆汁性胆管炎<PBC>		
		e 原発性硬化性胆管炎<PSC>		
	C 膵疾患	a 膵炎	急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎など	
		b 膵癌		
		c 膵神経内分泌腫瘍	インスリノーマ、ガストリノーマ<Zollinger-Ellison症候群>など	
	6 感染症	A 細菌感染症	a 腸チフス、パラチフス	
			b 赤痢	
c 腸管出血性大腸菌感染症				
d ヘリコバクター・ピロリ感染症				
e クロストリジオイデス・ディフイシル感染症				
f コレラ				
g 結核・非結核性抗酸菌症				
h レジオネラ症				
i 淋菌感染症				
j ブドウ球菌感染症				
k 連鎖球菌感染症				
l 嫌気性菌感染症				
m 菌血症・敗血症				
n 細菌性食中毒				
B ウイルス感染症		a 麻疹		
		b 風疹		
		c 手足口病		
		d 流行性耳下腺炎<ムンプス>		
		e 流行性角結膜炎		
		f EBウイルス感染症		
		g インフルエンザ		
		h ノロウイルス胃腸炎		
		i 後天性免疫不全症候群<AIDS>		
		j ウイルス肝炎		
		k ヘルペス感染症		
		l 水痘・帯状疱疹		
		m サイトメガロウイルス<CMV>感染症		
		n 伝染性紅斑		
C リケッチア感染症		a ツツガ虫病		
		b 日本紅斑熱		
D クラミジア感染症	a クラミジア肺炎			
	b クラミジア・トラコマティス感染症	性器クラミジア感染症、トラコマなど		

大項目	中項目	小項目	備考	
	E スピロヘータ感染症	c オウム病		
		a 梅毒		
	F 真菌感染症	b Weil病		
		a 放線菌症		
		b カンジダ症		
		c クリプトコッカス症		
		d アスペルギルス症		
		e ニューモシスチス肺炎		
	G 原虫感染症	f 白癬菌症		
		a アメーバ赤痢		
		b マラリア		
		c トキソプラズマ症		
	H 輸入感染症	d クリプトスポリジウム症		
		a マラリア		
		b デング熱		
	7 血液・造血器疾患	A 貧血	c ウイルス性出血熱	
			a 鉄欠乏性貧血	
b 巨赤芽球性貧血			悪性貧血を含む	
c 再生不良性貧血				
d 溶血性貧血				
B 白血病および骨髄増殖性腫瘍		e 腎性貧血		
		a 急性骨髄性白血病<AML>		
		b 急性リンパ性白血病<ALL>		
		c 慢性骨髄性白血病<CML>		
		d 慢性リンパ性白血病<CLL>		
		e 成人T細胞白血病/リンパ腫<ATLL>		
		f 真性赤血球増加症<PV>		
		g 原発性骨髄線維症<PMF>		
h 本態性血小板血症<ET>				
C 骨髄異形成症候群<MDS>				
D 悪性リンパ腫		a 非Hodgkinリンパ腫		
		b Hodgkinリンパ腫		
E 骨髄腫および類縁疾患	a 多発性骨髄腫			
	b 原発性マクログロブリン血症			
F 血小板減少症	a 特発性血小板減少性紫斑病<ITP>			
	b 血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>			
G 先天性出血性疾患	a 血友病A			
	b 血友病B			
	c von Willebrand病<VWD>			
H 後天性出血性疾患	a 播種性血管内凝固<DIC>			
	b ビタミンK欠乏症			

大項目	中項目	小項目	備考	
		c アレルギー性紫斑病		
	I その他	a 血球貪食症候群<HPS>		
8 内分泌疾患	A 下垂体疾患	a 先端巨大症・巨人症		
		b ADH不適合分泌症候群<SIADH>		
		c 高プロラクチン血症		
		d 下垂体機能低下症		
		e 尿崩症		
		f 小人症		
	B 甲状腺疾患	a 甲状腺機能亢進症<Basedow病>		
		b 甲状腺機能低下症		
		c 慢性甲状腺炎<橋本病>		
		d 甲状腺癌		
	C 副甲状腺疾患	a 副甲状腺機能亢進症		
		b 副甲状腺機能低下症		
	D 副腎疾患	a 褐色細胞腫		
		b 神経芽腫		
		c 副腎皮質機能亢進症<Cushing症候群>		
		d 副腎皮質機能低下症<Addison病>		
		e 原発性アルドステロン症		
		f 先天性副腎皮質酵素欠損症		
9 腎・尿路・男性生殖器疾患	A 糸球体腎炎	a 急性糸球体腎炎		
		b 慢性糸球体腎炎		
		c IgA腎症		
		d 糖尿病性腎症		
	B ネフローゼ症候群			
	C 腎不全	a 急性腎不全		
		b 慢性腎不全		
		c 長期透析の合併症		
		d 急性腎障害<AKI>	造影剤腎症を含む	
	D 腎・尿路結石			
	E 尿路感染症	a 腎盂腎炎		
		b 膀胱炎		
		c 尿道炎		
	F 前立腺肥大(症)			
	G 腫瘍	a 腎腫瘍		
		b 膀胱腫瘍		
		c 前立腺癌		
		d 精巣腫瘍		
	10 女性生殖器疾患	A 子宮疾患	a 子宮内膜炎	
			b 子宮筋腫	
			c 子宮内膜症	
d 子宮腫瘍				
B 卵巣疾患		a 卵巣腫瘍		

大項目	中項目	小項目	備考
11 神経・運動器疾患	A 脳血管障害	a 脳出血	
		b 脳梗塞	
		c 一過性脳虚血発作<TIA>	
		d くも膜下出血	
	B 感染症	a 髄膜炎	
		b 脳炎	
		c Creutzfeldt-Jakob病	
	C てんかん		
	D 腫瘍	a 脳腫瘍	
	E 変性・脱髄疾患	a 多発性硬化症	
		b Alzheimer病	
		c Parkinson病	
		d Guillain-Barré症候群	
	F 筋疾患	a 進行性筋ジストロフィ	
b 筋強直性ジストロフィ			
c 筋無力症		重症筋無力症、Lambert-Eaton症候群を含む	
G 骨疾患	a 骨粗鬆症		
12 アレルギー性疾患・膠原病・免疫病	A アレルギー性疾患	a 蕁麻疹	
		b 気管支喘息	
		c 花粉症	
		d アトピー性皮膚炎	
	B 膠原病および類縁疾患	a 全身性エリテマトーデス<SLE>	
		b 抗リン脂質抗体症候群	
		c 混合性結合組織病<MCTD>	
		d 関節リウマチ<RA>	
		e 多発性筋炎<PM>・皮膚筋炎<DM>	
		f 血管炎症候群	IgA血管炎、結節性多発動脈炎<PAN>、ANCA関連疾患[(顕微鏡的多発血管炎<MPA>、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症<EGPA>、多発血管炎性肉芽腫症<GPA>)]など
		g リウマチ熱	
		h Behçet病	
		i Sjögren症候群	
		j 強皮症	
	C 免疫不全	a 無γ-グロブリン血症	
		b 重症複合免疫不全症	
		c 慢性肉芽腫症	
d 原発性補体欠損症			
13 代謝・栄養障害	A 先天性代謝異常	a ポルフィリン症	
		b フェニルケトン尿症・ホモシスチン尿症・メープルシロップ尿症	新生児マススクリーニング・アミノ酸代謝異常
		c リピドーシス<脂質蓄積症>	Gaucher病・Niemann-Pick病・Tay-Sachs病・Fabry病

大項目	中項目	小項目	備考
		d Wilson病	
	B 糖代謝異常	a 糖尿病	1型糖尿病、2型糖尿病、二次性糖尿病
		b 糖原病	
	C 脂質代謝異常	a 脂質異常症	原発性脂質異常症、二次性脂質異常症、家族性高コレステロール血症、カイロミクロン血症など
	D 蛋白代謝異常	a アミロイドーシス	
	E 尿酸代謝異常	a 痛風	
		b 高尿酸血症	
		c 低尿酸血症	
	F ビタミン代謝異常	a ビタミン欠乏症	
	G 鉄代謝異常	a ヘモクロマトーシス	
H 生活習慣病・肥満症	a メタボリックシンドローム		
14 感覚器疾患	A 眼疾患		
	B 耳鼻疾患		
15 中毒	A 自然毒	a 動物毒<へび、ハチ、フグ>	
		b 植物毒<トリカブト、キノコ>	
	B 有害物中毒	a 重金属中毒<水銀、鉛、カドミウム>	
		b ガス中毒	
		c 農薬中毒	
	C 薬物中毒		
16 染色体・遺伝子異常症	A 常染色体異常	a Down症候群	
	B 性染色体異常	a Turner症候群	
		b Klinefelter症候群	
C 遺伝子異常			
17 皮膚疾患	A 皮膚疾患		
18 乳腺疾患	A 乳腺疾患		
19 検査診断学総論	A 基準範囲	a 定義と概念	
		b 目的	
		c 求め方	
		d 検査成績の読み方	
		e 個人・集団基準範囲	
		f 生理的変動	
	B 臨床検査性能評価	a 診断感度と特異性	
		b 陽性適(的)中率	
		c 有病率	
		d 尤度比	
		e ROC曲線	
		f カットオフ値	
	C 検査の使い方	a 診断プロセス	医療面接、身体診察、臨床検査<スクリーニング、除外診断、確定診断など>
		b 経過観察	

大項目	中項目	小項目	備考
		c 術前・術後評価	
	D 臨床判断値と診療ガイドライン	a 根拠に基づく医療<EBM>と診療ガイドライン	糖尿病診療ガイドライン 動脈硬化性疾患予防ガイドラインなど

Ⅲ章 臨床生理学

人体の構造と機能、生理機能検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 生理検査総論	A 生理学的検査	a 臨床検査技師の役割	
		b 緊急検査	
		c ベッドサイド検査	
	B 生理検査の特色	a 患者心理と対応	
		b 事前の検査説明	
		c 安全対策・感染対策	
2 循環器系検査の基礎	A 循環生理	a 体循環	
		b 肺循環	
		c 血圧	
		d 自律神経調節と循環反射	
	B 心臓生理	a 心臓のポンプ機能	
		b 心内圧と心時相	
		c 心拍出量	
		d 冠循環	
3 心電図検査	A 基礎	a 心電図発現の機構	
		b 心電図波形の成り立ち	
		c 12誘導心電図検査	
		d 心電図の計測	P波幅、PR時間、QRS時間、QTc、心拍数など
		e 心電計	
		f アーチファクト	
	B 異常心電図	a 洞頻脈・洞徐脈	
		b 上室期外収縮	
		c 上室頻拍	
		d 心房細動	
		e 心房粗動	
		f 心室期外収縮	
		g 心室頻拍	
		h 心室細動	
		i 洞不全症候群	洞停止
		j 房室ブロック	
		k 心臓ペースメーカー心電図	
		l 脚ブロック	
		m 早期興奮症候群<WPW症候群>	
		n 心房負荷・心室肥大	
		o 狭心症	ST低下、ST上昇など
		p ブルガダ症候群<Brugada症候群>	
		q 心筋梗塞・急性冠症候群	異常Q波、ST上昇、冠性T波など
		r 電解質異常	
	C 運動負荷心電図検査	a 適応と禁忌	
		b 運動負荷の中止徴候<エンドポイント>	
		c Masterの2階段試験	

大項目	中項目	小項目	備考
		d トレッドミル負荷試験	
		e エルゴメータ負荷試験	
		f 評価法	
	D Holter心電図検査	a 誘導法	
		b Holter心電計	
	E その他の心電図検査	a 加算平均心電図検査	心室遅延電位<LP>
b ヘッドアップ・チルト試験		失神	
c 心内心電図検査			
4 心音図検査	A 基礎	a 心音の成因と性質	
		b 心音計	
	B 異常心音図	a 心臓弁膜症	
		b 先天性心疾患	
5 脈管疾患検査	A 動脈硬化検査	a 足関節上腕血圧比<ABI>	
		b 脈波伝播速度<PWV>	
		c 皮膚灌流圧<SPP>、経皮酸素分圧<PtcO ₂ >	重症虚血肢
	B 血管内皮機能検査	a 血流依存性血管拡張反応<FMD>	
6 呼吸器系検査の基礎	A 呼吸生理	a 呼吸器の機能	
		b 呼吸運動とその調節	
		c 換気	
		d ガス交換とガスの運搬	
		e 酸素解離曲線	
		f 気体に関する一般的法則	
7 呼吸機能検査	A 換気機能検査	a 肺気量分画	
		b スパイロメトリ[肺活量<VC>、努力肺活量<FVC>、一秒量<FEV ₁ >など]	
		c 気道可逆性検査	
		d フローボリューム曲線	
		e クロージングボリューム	
		f 機能的残気量	
		g コンプライアンス	
		h 呼吸抵抗	
		i 気道抵抗	
		j 気道過敏性検査	
		k ピークフローメータ	ピークフロー値<PEF>を含む
	B 肺胞機能検査	a 肺内ガス分布	
		b 肺拡散能力[肺拡散能<DLco>を含む]	
	C 呼気ガス分析	a 呼気ガス分析<酸素摂取量、二酸化炭素排出量、呼吸商、分時換気量など>	
		b エネルギー代謝	
		c 呼気一酸化窒素濃度<FeNO>	
D 呼吸系運動負荷検査	a 呼吸困難の評価法		
	b 最大酸素摂取量と心拍数・血圧		

大項目	中項目	小項目	備考	
	E 動脈血ガス分析	c 6分間歩行試験		
		a 検体の取り扱い		
		b 測定上の留意点		
		c 血液ガス分析装置		
		d pH		
		e 動脈血酸素分圧<PaO ₂ >		
		f 動脈血二酸化炭素分圧<PaCO ₂ >		
		g 重炭酸イオン<HCO ₃ ⁻ >		
		h base excess<BE>		
		i 肺泡気-動脈血酸素分圧較差<A-aDO ₂ >		
	j パルスオキシメータ[経皮的動脈酸素飽和度<SpO ₂ >など]			
	F 睡眠呼吸検査	a 睡眠ポリグラフィ<PSG>		
	G 呼吸機能検査異常をきたす疾患	a 気管支喘息		
		b 慢性閉塞性肺疾患<COPD>		
c 間質性肺炎				
d 呼吸不全				
e 睡眠時無呼吸症候群<SAS>		閉塞性と中枢性の区別		
8 神経系検査の基礎	A 神経	a ニューロン		
		b 膜電位		
		c 興奮機序		
		d 興奮伝導と伝達		
	B 末梢神経	a 体性神経		
		b 自律神経		
		c 自律神経の検査		
	C 中枢神経	a 大脳の働きと機能の局在		
		b 意識		
		c 睡眠の生理と調節		
		d 記憶		
		e 小脳の働き		
		f 脳幹の働き		
		g 脊髄の働き		
		h 反射の機序		
	9 脳波検査	A 基礎	a 脳波発現の機序	
			b 基礎的要素	δ波、θ波、α波、β波、棘波、鋭波など
			c 電極の配置部位	
			d 導出法	
			e 脳波計	
			f 生理的变化と賦活法	
			g アーチファクト	
		B 突発性異常脳波	a 側頭葉てんかん、前頭葉てんかん	
			b 欠神てんかん	3Hz棘徐波複合

大項目	中項目	小項目	備考
		c ミオクロニーてんかん	広汎性多棘徐波複合
		d West症候群	
		e Lennox-Gastaut症候群	
	C 持続性・周期性異常脳波	a Creutzfeldt-Jakob病	
		b 亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	
		c 肝性脳症	三相波
		d 脳死判定	
	D 誘発電位	a 聴覚誘発電位、聴性脳幹反応<ABR>	脳死判定
		b 視覚誘発電位<VEP>	
		c 体性感覚誘発電位<SEP>	術中モニタリング
		d 事象関連電位<ERP>	
	E 睡眠検査	a 睡眠ポリグラフィ<PSG>	
	F その他の検査	a 脳磁図検査<MEG>	
		b 光トポグラフィ	近赤外線分光法<NIRS>
	10 筋電図検査	A 基礎	a 基礎的要素
b 筋電計			
c 電極			
B 針筋電図検査		a 運動単位電位<MUP>	
		b ミオトニー放電	
		c 神経原性変化	筋萎縮性側索硬化症など
		d 筋原性変化	多発性筋炎、進行性筋ジストロフィなど
C 神経伝導検査		a 運動神経伝導検査	運動神経伝導速度<MCV>
		b F波伝導検査	
		c H反射	
		d 感覚神経伝導検査	感覚神経伝導速度<SCV>
		e 軸索変性	
		f 脱髄	伝導遅延、伝導ブロック
		g 末梢神経障害	糖尿病性多発ニューロパチー、Guillain-Barré症候群など
D 反復神経刺激検査		a 重症筋無力症	
		b Lambert-Eaton筋無力症候群	
E 経頭蓋磁気刺激検査		a 運動誘発電位<MEP>	
		b 中枢運動伝導時間	
11 超音波検査の基礎		A 原理と検査法	a 超音波の性質
	b 超音波プローブ		
	c Bモード法		
	d Mモード法		
	e ドプラ法		カラードプラ法、パルスドプラ法、連続波ドプラ法、組織ドプラ法
	f 超音波エラストグラフィ		

大項目	中項目	小項目	備考
		g アーチファクト<多重反射・コメットエコー、鏡面現象、音響陰影、側方陰影、後方エコーの増強・減弱、サイドローブなど>	
		h 検査の実際	カップリングメディアを含む
12 心臓超音波検査	A 基礎	a 正常像	
		b 計測と心機能評価<収縮能、拡張能>	左室駆出率、左室内径短縮率、E/A、e'
		c 血流と圧較差の評価	簡易Bernoulliの式
	B 異常像	a 虚血性心疾患	
		b 弁膜症	
		c 先天性心疾患	
		d 心筋症	
		e 心膜疾患	
		f 心内血栓	
		g 心臓腫瘍	
13 腹部超音波検査	A 基礎	a 前処置	
		b 基本走査	
		c 肝胆道系、脾臓の正常像	
		d 門脈系の正常像	
		e 膵臓の正常像	
		f 腎臓・尿路の正常像	
	B 異常像	a 肝疾患	
		b 胆嚢・胆管疾患	
		c 膵疾患	
		d 腎・尿路系疾患	
		e 消化管疾患	
14 血管超音波検査	A 頸動脈	a 正常像と異常像	内膜肥厚、プラーク
	B 大動脈・腹部動脈	a 正常像と異常像	腹部大動脈瘤
	C 下肢静脈	a 正常像と異常像	
15 骨盤腔超音波検査	A 膀胱	a 正常像と異常像	
	B 女性生殖器	a 正常像と異常像	
	C 妊娠	a 正常像と異常像	
	D 男性生殖器	a 正常像と異常像	
16 体表超音波検査	A 甲状腺	a 正常像と異常像	
	B 乳腺	a 正常像と異常像	
	C その他	a リンパ節、唾液腺、運動器の正常像と異常像	
17 磁気共鳴画像検査<MRI>	A 原理	a 陽子<プロトン>	水素原子核
		b 核磁気共鳴現象	歳差運動、Larmor周波数
		c 縦緩和・横緩和	
	B 撮像法	a T1強調画像	
		b T2強調画像	
		c プロトン密度強調画像	
		d T2*強調画像	
		e 拡散強調画像	

大項目	中項目	小項目	備考
		f MRアンジオグラフィ	
		g MRハイδροグラフィ	
		h 造影剤	ガドリニウム
	C 検査の注意点	a 安全性	
		b 検査前の準備	
18 その他の臨床生理検査	A 熱画像検査<サーモグラフィ>	a 基礎	
		b 検査法	
	B 眼底検査	a 眼底像	
		b 検査法	
	C 平衡機能検査	a 眼振検査	
		b 重心動揺検査	
	D 感覚系の検査	a 聴覚検査	
		b 聴性脳幹反応<ABR>	新生児聴覚スクリーニング
		c 味覚検査	
		d 嗅覚検査	

IV章 臨床化学

人体の構造と機能、生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 生命のメカニズム	A 生命現象と生体構成成分	a 生体元素	
		b 生体物質	
		c 物質の代謝	
		d 恒常性	
		e 生体のリズム	
	B 細胞の構造と働き	a 細胞の基本構造	
		b 細胞内小器官の機能	
		c 細胞分画	
	C 生体エネルギー	a 高エネルギー化合物の役割と種類	
		b 代謝とATP産生	
2 生物化学分析の原理と方法	A 分光光度分析法	a 電磁波の波長と色の関係	
		b 可視光線と紫外線	
		c 可視光線、紫外線の光源	
		d 余色と補色	
		e Lambert-Beerの法則	
		f モル吸光係数	
		g 分光光度計の原理と構成	
		h 原子吸光光度計の原理と構成	
	B 蛍光分析法	a 蛍光分析の原理	
		b 励起波長と蛍光波長	
	C 化学発光分析法	a 化学発光分析の原理	
	D クロマトグラフィ	a クロマトグラフィの基本原理	液体クロマトグラフィ、ガスクロマトグラフィ
		b イオン交換クロマトグラフィ	
		c ゲル濾過クロマトグラフィ	
		d アフィニティクロマトグラフィ	
		e 吸着・分配クロマトグラフィ	
		f 高速液体クロマトグラフィ<HPLC>	
	E 電気泳動法	a 電気泳動の原理	等電点
		b 支持体	
		c 移動度とその影響因子	
	F 質量分析法	a 質量分析法の原理	MALDI、ESI
		b MALDI-TOF MS	
	G 免疫学的分析法	a 抗原抗体反応	
		b 免疫比濁法と比ろう法	
		c ラテックス凝集反応	
		d 放射免疫測定法<RIA>	
		e 酵素免疫測定法<EIA>	
		f ホモジニアス法とヘテロジニアス法	
		g 競合法と非競合法	
	H 電気化学分析法	a イオン選択電極	
		b 酵素電極	

大項目	中項目	小項目	備考
	I 酵素的分析法	c pHメータ	
		d ガス分析	
		a 酵素と基質	
		b 酵素反応速度	
		c Km、Vmax	
		d Lineweaver-Burkプロット	
		e Michaelis-Mentenの式	
		f 零次反応および一次反応	
		g 測定条件	
		h 発色系	
	i 初速度分析		
	j 終点分析		
	J 自動分析法	a ディスクリット方式	
		b シングルマルチ型	
		c スーパーマルチ型	
		d ドライケミストリ	
	K ポイント・オブ・ケア・テストイング<POCT>	a 小型簡易測定器	
b 原理と意義			
c イムノクロマトグラフィ			
3 無機質	A 水と無機質の調整および代謝	a 生体内分布と生理的意義	
		b 調節機構	
		c アニオンギャップ	
	B 無機質の検査	a ナトリウム<Na>	
		b カリウム<K>	
		c クロール<Cl>	
		d カルシウム<Ca>	総カルシウム、イオン化カルシウム
		e マグネシウム<Mg>	
		f 無機リン<IP>	
		g 鉄<Fe>	
		h 銅<Cu>	
		i 亜鉛<Zn>	
		j セレン<Se>	
		k 浸透圧	
l 重炭酸イオン<HCO ₃ ⁻ >			
4 糖質	A 糖質の構造と機能	a 構造と分類	
		b 生理的意義	
	B 糖質の代謝	a 消化	
		b 吸収	
		c 血糖の調節機能	
		d 解糖系と糖新生	
		e クエン酸回路<TCA回路、Krebs回路>	
		f グリコーゲンの代謝	
		g ペントースリン酸回路	

大項目	中項目	小項目	備考
	C 糖質の検査	a 血糖	持続血糖測定<CGM>
		b 尿糖	
		c 75g 経口ブドウ糖負荷試験<75gOGTT>	
		d ヘモグロビンA1c<HbA1c>	
		e グリコアルブミン	
		f 1,5-アンヒドログルシトール<1,5-AG>	
		g ピルビン酸・乳酸	
5 脂質	A 脂質の構造と機能	a 構造と分類	
		b 生理的意義	
	B 脂質の代謝	a 消化	
		b 吸収	
		c 脂肪酸の代謝	
		d ケトン体の代謝	
		e トリグリセライド<中性脂肪>の代謝	
		f リポ蛋白の代謝	
		g コレステロールの代謝	
		h その他の脂質の代謝<リン脂質・糖脂質・プロスタグランジン、過酸化脂質など>	
	C 脂質の検査	a トリグリセライド〔中性脂肪<TG>〕	
		b コレステロール	総コレステロール<TC>、エステル型コレステロール<EC>、遊離型コレステロール<FC>
		c HDL-コレステロール<HDL-C>	
		d LDL-コレステロール<LDL-C>	
		e リン脂質<PL>	
		f 遊離脂肪酸<FFA>	
		g リポ蛋白リパーゼ<LPL>	
		h ケトン体	
		i リポ蛋白	
		j アポリポ蛋白	アポA1、アポA2、アポB48、アポB100、アポC2、アポC3、アポE
		k 胆汁酸	
l リポ蛋白(a)<Lp(a)>			
m レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ<LCAT>			
6 蛋白質	A アミノ酸と蛋白質の構造と機能	a 構造と分類	
		b 生理的意義	
	B アミノ酸と蛋白質の代謝	a 蛋白質の消化	
		b アミノ酸の吸収	
		c アミノ酸の代謝	
		d 蛋白質の合成と分解、窒素平衡	

大項目	中項目	小項目	備考
	C 蛋白質の検査	e 尿素回路、アンモニアの処理	
		a 血清総蛋白<TP>	
		b 血清蛋白分画	A/G比
		c 急性期蛋白	α_1 -アンチトリプシン、ハプトグロビン、セルロプラスミン、フィブリノゲンなど
		d Rapid Turnover Protein<RTP>	レチノール結合蛋白<RBP>、トランスサイレチン<TTR>など
		e 免疫グロブリン	IgG、IgA、IgM、IgD、IgEなど
		f アルブミン<Alb>	
		g CRP	
		h セルロプラスミン	
		i ハプトグロビン	
		j トランスフェリン	
		k フェリチン	
		7 非蛋白性窒素	A 生体内の非蛋白性窒素成分の生成
b 生理的意義			
B 非蛋白性窒素成分の代謝			
C 非蛋白性窒素成分の検査	a 尿素窒素<UN>		
	b クレアチニン<Cr>		
	c 尿酸<UA>		
	d アンモニア		
8 生体色素	A ヘム	a ポルフィリン体	
		b ヘムの合成	
		c 胆汁色素の代謝	
	B 生体色素の検査	a 総ビリルビン	直接ビリルビン・間接ビリルビン
		b 抱合・非抱合ビリルビン	
		c δ ビリルビン	
		d シヤントビリルビン	
9 酵素	A 酵素の基礎	a 役割	
		b 命名と分類	
		c 化学的性質	
		d 生体内分布と血中酵素の起源	
		e アイソザイム	
	B 酵素活性の測定	a 酵素反応速度論	
		b 酵素活性単位	
	C 酵素の検査	a AST	
		b ALT	
		c LD	
		d CK	
		e ALP	
		f γ -GT	
		g コリンエステラーゼ	
h アミラーゼ			

IV章

臨床化学

● 人体の構造と機能、生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
		i リパーゼ	
10 薬物・毒物	A 検査目的		
	B 生体内の薬物動態		
	C 血中薬物測定法	a 薬物モニタリング<TDM>	
	D 毒物・劇物の分析		
11 ホルモン	A ホルモンの種類と性質		
	B ホルモンの作用と調節機序		
	C 内分泌臓器と内分泌検査	a 視床下部	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン<TRH>、成長ホルモン放出ホルモン<GHRH>、ゴナドトロピン放出ホルモン<GnRH>、副腎皮質刺激ホルモン放出ホルモン<CRH>など
		b 下垂体前葉	成長ホルモン<GH>、卵胞刺激ホルモン<FSH>、黄体形成ホルモン<LH>、甲状腺刺激ホルモン<TSH>、副腎皮質刺激ホルモン<ACTH>、プロラクチン<PRL>
		c 下垂体後葉	バソプレシン<ADH>、オキシトシン
		d 甲状腺	サイロキシン<T4>、トリヨードサイロニン<T3>、遊離T4<FT4>、遊離T3<FT3>、サイログロブリン、カルシトニン
		e 副甲状腺	PTH
		f 膵臓	インスリン、C-ペプチド、グルカゴン
		g 消化管	ガストリン、インクレチン
		h 副腎皮質	コルチゾール、アルドステロンなど
		i 副腎髄質	アドレナリン、ノルアドレナリン
		j 性腺・胎盤	テストステロン、アンドロステロン、エストロン<E1>、エストラジオール<E2>、エストリオール<E3>、ヒト絨毛性ゴナドトロピン<hCG>
		k ナトリウム利尿ペプチド	心房性ナトリウム利尿ペプチド<ANP>、脳性ナトリウム利尿ペプチド<BNP>、C型ナトリウム利尿ペプチド<CNP>
		l アディポサイトカイン	アディポネクチン、レプチンなど

大項目	中項目	小項目	備考
12 ビタミン	A ビタミンの種類と性質		
	B ビタミンの作用と分類	a 脂溶性ビタミン	ビタミンA、ビタミンD、ビタミンE、ビタミンK
		b 水溶性ビタミン	ビタミンB ₁ 、ビタミンB ₂ 、ビタミンB ₆ 、ビタミンB ₁₂ 、ビタミンC、葉酸など
13 疾患マーカー	A 肺疾患	a KL-6	
		b アンジオテンシン変換酵素<ACE>	
	B 感染症	a (1→3)-β-D-グルカン	
		b プロカルシトニン	
		c プレセプシン	
		d エンドトキシン	
	C 心疾患	a 脳性ナトリウム利尿ペプチド<BNP>	
		b トロポニン	
		c 心臓型脂肪酸結合蛋白<H-FABP>	
	D 腎疾患	a シスタチンC	
		b α ₁ -ミクログロブリン、β ₂ -ミクログロブリン	
		c 肝臓型脂肪酸結合蛋白<L-FABP>	
		d N-アセチルグルコサミニダーゼ<NAG>	
	E 骨代謝	a 骨形成マーカー	骨型アルカリホスファターゼ<BAP>、オステオカルシン<OC>、I型プロコラーゲンCプロペプチド<PICP>、I型プロコラーゲンNプロペプチド<PINP>
		b 骨吸収マーカー	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド<NTX>、デオキシピリジノリン<DPD>、酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ<TRAcP-5b>、I型コラーゲン架橋Cテロペプチド<CTX>
F その他	a アデノシンデアミナーゼ<ADA>		
14 その他の検査	A 放射性物質を用いた検査	a 放射能・放射線の性質	
		b 放射能・放射線の測定	
		c 放射性物質を用いた検査	
		d 取り扱いと安全管理	
	B 肝<胆道>機能検査	a 異物排泄機能検査	ICG試験
		b 解毒機能検査	
	C 腎機能検査	a 腎血流量検査	
		b 糸球体機能検査	クレアチニークリアランス、eGFR
		c 尿細管機能検査	

IV章

臨床化学



人体の構造と機能、生物化学分析検査学

大項目	中項目	小項目	備考
	D 膵機能検査	a 膵外分泌機能検査	
		b 膵内分泌機能検査	
	E 内分泌機能検査	a 下垂体機能検査	
		b 甲状腺機能検査	
		c 副甲状腺機能検査	
		d 副腎皮質機能検査	
		e 副腎髄質機能検査	
		f 性腺機能検査	
	F 消化管機能検査		

V章 病理組織細胞学

人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病との関連

大項目	中項目	小項目	備考
1 解剖学総論	A 発生の概要	a 生殖細胞の分裂	
		b 受精	
		c 胚葉の形成と分化	
		d 胎盤	
	B 細胞と組織	a 細胞内小器官の構造と機能	
		b 上皮組織	
		c 支持組織	
		d 筋組織	
		e 神経組織	
	C 立体解剖		
	D 断面解剖		
	E 人体骨格の概要		
	F 筋の概要		
	G 体腔と縦隔		
2 病理学総論	A 病因	a 内因	
		b 外因	
	B 遺伝子・染色体異常と発生発達異常	a 奇形	
		b 染色体異常	
		c 遺伝性疾患	
	C 組織細胞障害とその修復機能	a 変性	
		b アポトーシス	
		c 壊死	
		d 萎縮	
		e 肥大と過形成	
		f 化生	
		g 再生	
		h 創傷の治療と肉芽組織	
	D 代謝異常	a 糖質代謝異常	
		b 脂質代謝異常	
		c 蛋白質・アミノ酸代謝異常	
		d 核酸・ヌクレオチド代謝異常	
		e 生体色素代謝異常	
		f 無機物代謝異常	
	E 循環障害	a 虚血	
		b 充血	
		c うっ血	
		d 出血	
		e 血栓	
		f 塞栓	
		g 梗塞	
		h 浮腫	
		i 傍側<側副>循環	
		j ショック	
	F 炎症	a 定義	

大項目	中項目	小項目	備考
		b 原因	
		c 形態的变化と経過	
		d 転帰	
		e 炎症細胞	
		f 炎症の分類	
		G 免疫異常	a 免疫反応とアレルギー
		b 免疫不全	
		c 移植と拒絶反応	
		d 自己免疫疾患	膠原病
	H 腫瘍	a 定義	
		b 形態	
		c 腫瘍の分類	
		d 腫瘍の広がり方	
		e 腫瘍の発生原因と機序	
	f 癌関連遺伝子		
3 解剖学・病理学 各論	A 循環器系	a 循環器の一般構造と機能	
		b 体循環と肺循環	
		c 心臓	虚血性心疾患、心筋症
		d 動脈	動脈硬化症
		e 静脈	
		f リンパ管	
		g 心嚢	
		h 胎児の血液循環	
	B 呼吸器系	a 呼吸器の一般構造と機能	
		b 上気道	
		c 気管・気管支	
		d 肺	肺癌
		e 胸膜	中皮腫
	C 消化器系	a 消化器の一般構造と機能	
		b 口腔、歯、唾液腺	
		c 咽頭・食道	静脈瘤、食道癌
		d 胃・十二指腸	胃癌、胃・十二指腸潰瘍、GIST
		e 小腸・大腸・虫垂・肛門	大腸癌
		f 肝臓	脂肪肝、肝炎、肝硬変、肝癌
		g 胆嚢、胆道系	胆石、胆道癌
		h 膵臓	膵癌
		i 腹膜	
	D 血液・造血器系	a 骨髄	
		b 脾臓	
		c 胸腺	
		d リンパ節	
	E 内分泌系	a 視床下部	
		b 下垂体	
		c 松果体	
		d 甲状腺	

大項目	中項目	小項目	備考
		e 副甲状腺<上皮小体>	
		f 副腎	
		g 膵Langerhans<ランゲルハンス>島	糖尿病
	F 腎・尿路系	a 腎・尿路系の一般構造と機能	
		b 腎臓	糸球体腎炎、腎腫瘍
		c 尿管・膀胱・尿道	膀胱腫瘍
	G 生殖器系	a 生殖器の一般構造と機能	
		b 男性生殖器	前立腺癌
		c 女性生殖器	子宮癌、卵巣腫瘍
	H 神経・運動器系	a 神経系の一般構造と機能	
		b 中枢神経系	脳血管障害、脳腫瘍
		c 末梢神経系	
		d 骨格筋	
		e 骨	
		f 関節	
		g 軟部組織	
	I 感覚器系	a 視覚器	
		b 聴覚器	
		c 平衡器	
	J 皮膚及び付属器	a 皮膚および付属器の一般構造と機能	
		b 皮膚	
	K 乳腺	a 乳腺の一般構造と機能	
		b 乳腺	乳癌

大項目	中項目	小項目	備考
1 病理組織標本作製法	A 検体の種類	a 剖検材料	
		b 手術材料	
		c 生検材料	
	B 肉眼的組織観察法	a 摘出臓器<組織>検体の観察法	
	C 切り出し	a 目的	
		b 切り出しの実際	
	D 固定法	a 目的と原理	
		b 固定の実際	
		c 固定液の種類と組成	
	E 脱灰法	a 目的と原理	
		b 脱灰処理の実際	
		c 脱灰液の種類と組成	
	F 包埋法	a 目的と原理	
		b 各種包埋法	
		c パラフィン包埋の実際	
		d 自動包埋装置	
	G 薄切法	a 目的と原理	
		b ミクロトームの種類	
		c 薄切の実際	
		d 切片伸展法	
	H 凍結切片標本作製法	a 目的と原理	
		b 凍結組織切片薄切の実際	
		c クリオスタット	
		d 術中迅速組織標本作製法	
2 病理組織染色法	A 染色法概論	a 目的と原理	
		b 染色前の操作	
		c 封入	
		d 自動染色装置	
	B hematoxylin-eosin 染色<H-E染色>	a 目的と原理	
		b hematoxylin液の種類と組成	
	C 膠原線維の染色法	a azan染色	
		b Masson trichrome染色	
	D 弾性線維の染色法	a elastica van Gieson染色	
		b Victoria blue染色	Victoria blue-HE染色
	E 細網線維の染色法	a 鍍銀法	
		b PAM染色	
	F 多糖類の染色法	a PAS反応	酵素消化法
		b Alcian blue染色	
		c mucicarmine染色	
		d toluidine blue染色<異染色性>	
	G 脂質の染色法	a SudanⅢ染色	
		b oil red O染色	
		c Sudan black B染色	
	H 核酸の染色法	a Feulgen反応	

大項目	中項目	小項目	備考
		b methyl green-pyronin染色	
	I アミロイドの染色法	a Congo red染色	
		b direct fast scarlet染色	
	J 線維素の染色法	a PTAH染色	
	K 組織内無機物質の染色法	a Berlin blue染色	
		b Kossa反応	
	L 生体内色素の染色法	a Masson-Fontana染色	
		b DOPA反応	
	M 内分泌細胞の染色法	a Grimelius染色	
		b Masson-Fontana染色	
	N 組織内病原体の染色法	a Gram染色	
		b Giemsa染色	
		c Ziehl-Neelsen染色	
		d Warthin-Starry染色	
		e Grocott染色	
		f PAS反応	
		g mucicarmine染色	
		h orcein染色	
		i Victoria blue染色	
	O 神経組織の染色法	a Nissl染色	
		b Klüver-Barrera染色	
		c Bodian染色	
		d PTAH染色	
	P 組織化学染色法	a 酵素組織化学染色法	
		b 免疫組織化学染色法<酵素抗体法、蛍光抗体法>	
		c 抗体の種類と意義	cytokeratin, vimentin, desmin, S100蛋白, chromogranin A, CD20, CD3, c-kit, AFP, CEA, CA125, Ki67, p53, ER, PgR, HER2, EGFR, ALK, PD-L1など
		d 染色の実際	
	Q 遺伝子の染色法	a <i>in situ</i> hybridization法<ISH法>	
		b fluorescence <i>in situ</i> hybridization法<FISH法>	
	R 顕微鏡の操作法	a 光学顕微鏡	
b 偏光顕微鏡			
c 蛍光顕微鏡			
3 電子顕微鏡標本作製法	A 固定法	a 目的	
		b 固定法の実際	
	B 透過型電子顕微鏡標本作製	a 包埋法	樹脂包埋を含む
		b 超薄切片作成法	ウルトラマイクローム、ガラスナイフ、ダイヤモンドナイフなど
		c 電子染色	

大項目	中項目	小項目	備考
	C 走査型電子顕微鏡標本作製	a 臨界点乾燥	
		b 蒸着	
	D 観察法	a 透過型電子顕微鏡	
		b 走査型電子顕微鏡	
4 細胞学的検査法	A 概要	a 目的	
		b 細胞学的検査法の特徴	
	B 検体採取法	a 擦過法	
		b 穿刺吸引法	
		c カテーテル法	
	C 検体処理法	a 塗抹法	
		b 遠心沈殿法	
		c ポアフィルタ法	
		d 捺印法	
		e セルブロック法	
		f 液状化検体<LBC>法	
	D 固定法	a 湿固定	
		b 乾燥固定	
		c コーティング固定	
	E 染色法	a Papanicolaou染色	
		b Giemsa染色	
		c 粘液染色	
		d 免疫細胞化学染色	
		e 自動染色装置	
	F スクリーニングの実際	a 正常細胞の基本形態	
		b 異型細胞の特徴	
		c 悪性腫瘍細胞の特徴	
		d 細胞判定区分	Bethesdaシステム・癌取扱い規約に準じた報告様式
	5 病理解剖<剖検>	A 概要	a 目的
B 手続き		a 許可・承諾・場所	
C 介助		a 手順	
D 剖検室管理		a 試料の保存と管理	
	b バイオハザード		
6 病理業務の管理	A 検体の取り扱い	a 医療事故防止対策	
	B 試薬の管理	a 毒物・劇物の取り扱い <毒物及び劇物取締法を含む>	
		b ホルマリンの取り扱い<労働安全衛生法、特定化学物質障害予防規則を含む>	
C 標本・報告書の保守管理			

VI章 臨床血液学

形態検査学、病因・生体防御検査学、人体の構造と機能

大項目	中項目	小項目	備考
1 血液の基礎	A 血液の成分	a 有形成分	
		b 無形成分	
	B 血液の性状	a 血液量	
		b 比重	
	C 血液の機能	a 物質の運搬	
		b 生体の調節	
		c 生体の防御	
		d 止血	
	D 血球の産生	a 胎生期造血	
		b 血球の分化・成熟	
		c 造血因子	
		d 造血器官<骨髓、リンパ組織、脾、 髄外造血>	
		e 血球回転	
2 血球	A 赤血球	a 産生と崩壊	
		b 形態と機能	
		c 生化学	
	B 白血球	a 産生と崩壊	
		b 形態と機能	
	C 血小板	a 産生と崩壊	
b 形態と機能			
3 止血機構	A 止血栓の形成	a 止血栓形成の開始機構	
		b 一次止血<血小板血栓>	
		c 二次止血<フィブリン血栓>	
	B 血管の機能	a 血管収縮・拡張	
		b 毛細血管透過性	
		c 抗血栓性	
	C 血小板の機能	a 粘着・放出・凝集	
		b 凝固促進	
		c 血餅収縮	
	D 止血・血栓形成に関 わる因子	a 血管・血管内皮下組織	
		b 血小板因子	
		c von Willebrand因子<VWF>	
4 凝固・線溶系	A 凝固	a 凝固機序	
		b 凝固因子の産生・構造・機能	ビタミンK依存性凝固因子
		c 凝固の制御機構	
	B 線溶	a 線溶機序	
		b 線溶因子の産生・構造・機能	
		c 線溶の制御機構	
5 血球算定に関する検査	A 自動血球計数器法	a 計測原理と方法	
		b 赤血球数<RBC>	
		c ヘモグロビン濃度<Hb>	
		d ヘマトクリット値<Ht>	
		e 網赤血球数<Ret>	

大項目	中項目	小項目	備考
		f 赤血球指数<MCV, MCH, MCHC>	
		g 白血球数<WBC>	
		h 血小板数<Plt>	
		i 血球粒度分布	
		j 誤差要因	
		B 用手法	a 血球数算定
	C 網赤血球数	b ミクロヘマトクリット法	
		a Brecher法	
	D 血小板数	b フローサイトメトリ法	
		a Brecher-Cronkite法	
	E 赤血球沈降速度	b 免疫学的血小板数算定	
		a Westergren法	自動赤沈測定装置
	F 溶血の検査	a 赤血球浸透圧抵抗試験	
6 血液細胞形態・細胞性免疫検査	A 塗抹標本の作製法		
	B 普通染色	a Giemsa染色	
		b Wright染色	
		c May-Grünwald-Giemsa染色	
	C 特殊染色	a 鉄染色	
		b ペルオキシダーゼ染色	
		c エステラーゼ染色	
		d アルカリホスファターゼ染色	
		e PAS染色	
	D 血液細胞の観察	a 鏡検法による血球観察	
		b 末梢血血液像	
		c 骨髓像	
		d 白血球自動分類	
	E 細胞性免疫検査	a CD分類	
b フローサイトメトリ法			
c 免疫組織化学法			
7 血栓・止血関連検査	A 血管・血小板関連の検査	a 出血時間	
		b 毛細血管抵抗試験	
		c 血小板粘着能	
		d 血小板凝集能	
		e 血小板関連IgG	
	B 凝固・線溶の検査	a プロトロンビン時間<PT>	
		b 活性化部分トロンボプラスチン時間<APTT>	
		c フィブリノゲン	
		d VWF<抗原量、活性>	
		e 凝固因子活性	
		f プラスミノゲン	
		g フィブリノゲン/フィブリン分解産物<FDP>	
		h D-ダイマー	

大項目	中項目	小項目	備考
		i 可溶性フィブリンモノマー複合体<SFMC>	
		j トロンビン-アンチトロンビン複合体<TAT>	
		k プラスミン-プラスミンインヒビター複合体<PIC>	
	C 凝固・線溶阻止物質の検査	a アンチトロンビン<AT>	
		b プロテインC<PC>	
		c プロテインS<PS>	
		d プラスミンインヒビター<アンチプラスミン>	
		e プラスミノゲンアクチベーターインヒビター<PAI>	
		f クロスマキシング試験	
		g 凝固因子インヒビター	
		h ループスアンチコアグラント	
i 抗リン脂質抗体			
8 赤血球系疾患の検査結果の評価	A 貧血	a 定義と分類法	
	B 小球性貧血	a 鉄欠乏性貧血	
		b 慢性炎症性疾患による貧血	
		c 鉄芽球性貧血	
		d サラセミア	
	C 正球性貧血	a 再生不良性貧血	
		b 赤芽球癆	
		c 二次性貧血	腎性貧血を含む
		d 自己免疫性溶血性貧血<AIHA>	
		e 寒冷凝集素症	
		f 発作性夜間ヘモグロビン尿症<PNH>	
		g 細血管障害性溶血性貧血	
	D 大球性貧血	a ビタミンB ₁₂ 欠乏	悪性貧血を含む
		b 葉酸欠乏	
	E 先天性溶血性貧血	a 遺伝性球状赤血球症<HS>	
		b 異常ヘモグロビン症	
		c 赤血球酵素異常症	
	F 赤血球増加	a 二次性赤血球増加・相対的赤血球増加	
	G 赤血球形態異常	a 大小不同	
		b 変形<奇形>	球状、破碎、標的、涙滴、ウニ状、有棘、楕円、鎌状、菲薄
		c 多染性	
		d 封入体	Howell-Jolly小体、Pappenheimer小体、Heinz小体、好塩基性斑点
		e 連鎖形成	

大項目	中項目	小項目	備考	
9 白血球系疾患の検査結果の評価	A 白血球増加	a 好中球増加		
		b 好酸球増加		
		c 好塩基球増加		
		d 単球増加		
		e リンパ球増加		
		f 類白血病反応		
	B 白血球減少	a 好中球減少		
		b 好酸球減少		
		c リンパ球減少		
		d 血球貪食症候群<HPS>		
	C 白血球形態異常	a 核の異常、細胞質の異常		
	D リンパ球の異常	a 異型リンパ球など	伝染性単核球症を含む	
	10 造血器腫瘍の検査結果の評価	A 造血器腫瘍の分類	a WHO分類	
b FAB分類				
B 急性白血病		a 急性骨髄性白血病<AML>		
		b 急性前骨髄球性白血病<APL>		
		c 急性骨髄単球性白血病		
		d 急性単球性白血病		
		e 赤白血病		
		f 急性巨核芽球性白血病		
		g 急性リンパ性白血病<ALL>		
		h 系統不明な急性白血病	混合型急性白血病を含む	
C 骨髄増殖性腫瘍および類縁疾患		a 慢性骨髄性白血病<CML>		
		b 真性赤血球増加症<PV>		
		c 原発性骨髄線維症<PMF>		
		d 本態性血小板血症<ET>		
		e 慢性骨髄単球性白血病<CMML>		
D 骨髄異形成症候群<MDS>				
E 慢性リンパ性白血病および類縁疾患		a 慢性リンパ性白血病<CLL>		
		b ヘアリー細胞白血病<HCL>		
F 骨髄腫および類縁疾患		a 多発性骨髄腫		
		b 原発性マクログロブリン血症		
G 悪性リンパ腫		a 非Hodgkinリンパ腫		
		b Hodgkinリンパ腫		
H その他		a 成人T細胞白血病/リンパ腫<ATLL>		
		b 大顆粒リンパ球性白血病<LGL>		
11 血栓・止血系の疾患の検査結果の評価		A 血小板減少	a 偽性血小板減少	
			b 特発性血小板減少性紫斑病<ITP>	
			c 血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>	ADAMTS13
	d 溶血性尿毒症症候群<HUS>			
	e ヘパリン起因性血小板減少症<HIT>			

大項目	中項目	小項目	備考
		f 続発性血小板減少	
	B 血小板増加		
	C 血小板機能異常	a 先天性血小板機能異常症	
		b 後天性血小板機能異常	
	D 血小板形態異常	a May-Hegglin異常	
	E 先天性出血性疾患	a 血友病	
		b von Willebrand病<VWD>	
	F 後天性凝固異常	a 播種性血管内凝固<DIC>	
		b 重症肝障害	
		c ビタミンK欠乏症	
		d 後天性血友病	
	G 線溶異常	a 先天性プラスミンインヒビター<PI>欠損症	
		b その他の線溶異常	
	H 血管の異常	a アレルギー性紫斑病	
		b その他の血管性紫斑病	
	I 血栓性素因	a アンチトロンビン<AT>欠損症	
		b プロテインC<PC>欠損症	
		c プロテインS<PS>欠損症	
		d 抗リン脂質抗体症候群	

VII章 臨床微生物学

医学検査の基礎と疾病との関連

大項目	中項目	小項目	備考
1 分類	A 生物学的位置	a 真核生物	
		b 原核生物	
	B 分類	a 細菌<マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアを含む>	
		b 真菌	
		c ウイルス	
	2 形態、構造及び性状	A 細菌の構造と性状	
B 真菌の構造と性状			
C ウイルスの構造と性状			
3 染色法	A 細菌の観察と染色法	a 単染色法	
		b Gram染色法	
		c 抗酸菌染色法	Ziehl-Neelsen染色、蛍光染色<オーラミン法>
		d 芽胞染色法	
		e 莢膜染色法	
		f 鞭毛染色法	
		g 異染小体染色法	
	B 真菌の観察と染色法	a KOH法	
		b 墨汁法	
		c ラクトフェノールコットンブルー染色法	
4 発育と培養	A 細菌の発育	a 代謝と増殖	
		b 栄養素	
		c 発育に必要な条件<環境>	
	B 真菌の発育	a 代謝と増殖	
		b 栄養素	
		c 発育に必要な条件<環境>	
	C ウイルスの増殖		
	D 培地	a 培地の成分	
		b 培地の分類	
		c 増菌培地	
		d 分離培地	
		e 確認培地	
		f 保存用培地	
		g 輸送用培地	
	E 培養法	a 分離培養法	
		b 増菌培養法	
	F 培養環境	a 好気培養法	
		b 炭酸ガス培養法	
		c 微好気培養法	
		d 嫌気培養法	
5 遺伝と変異	A 遺伝子		
	B 遺伝物質<情報>の伝達	複製、転写、接合、形質導入、形質転換	

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 変異			
6 滅菌と消毒	A 滅菌法	a 高圧蒸気滅菌<オートクレーブ>		
		b 乾熱滅菌		
		c ろ過滅菌		
		d ガス滅菌		
		e 放射線滅菌		
	B 消毒法	a 物理的消毒法		
		b 化学的消毒法	消毒薬の種類と特性	
		c 抗微生物スペクトル		
d プリオンの不活化法				
7 化学療法	A 抗菌薬の基本	a 選択毒性		
		b 作用機序		
		c 抗菌スペクトル		
		d 抗菌薬のPK-PD		
	B 抗菌薬耐性	a 耐性の機序		
		b 不活化酵素	β -ラクタマーゼ	
		c 作用点変異	ペニシリン結合タンパク<PBP>	
		d 作用点修飾酵素		
		e 薬剤排出ポンプ<efflux pump>		
	C 薬剤耐性菌	a メチシリン耐性黄色ブドウ球菌<MRSA>		
		b ペニシリン耐性肺炎球菌<PRSP>		
		c バンコマイシン耐性腸球菌<VRE>		
		d ペニシリナーゼ産生リン菌<PPNG>		
		e アンピシリン耐性インフルエンザ菌		
		f 多剤耐性緑膿菌<MDRP>		
		g 多剤耐性アシネトバクター<MDRA>		
		h 基質拡張型 β -ラクタマーゼ<ESBL>産生菌		
		i カルバペネマーゼ産生菌	メタロ- β -ラクタマーゼ<MBL>産生菌、KPC型 β -ラクタマーゼ産生菌、OXA型 β -ラクタマーゼ産生菌	
		j カルバペネム耐性腸内細菌科細菌<CRE>		
		k 多剤耐性結核菌<MDRTB>	超多剤耐性結核菌<XDRTB>	
		D 抗菌薬の種類	a β -ラクタム系抗菌薬	
			b アミノグリコシド系抗菌薬	
	c マクロライド系抗菌薬			
	d テトラサイクリン系抗菌薬			
	e キノロン系抗菌薬			
	f ポリペプチド系抗菌薬			

大項目	中項目	小項目	備考
		g グリコペプチド系抗菌薬	
		h ホスホマイシン	
		i リンコマイシン系抗菌薬	
		j サルファ剤	
		k クロラムフェニコール系抗菌薬	
		l ストレプトグラミン系抗菌薬	
		m オキサゾリジノン系抗菌薬	
		n リポペプチド系抗菌薬	
		o グリシルサイクリン系抗菌薬	
	E 抗結核薬		
	F 抗真菌薬		
	G 抗ウイルス薬	a 抗ヘルペスウイルス薬	
		b 抗インフルエンザウイルス薬	
		c 抗HIV薬	
		d 抗サイトメガロウイルス薬	
	H 細菌の薬剤感受性検査法	a 最小発育阻止濃度<MIC>	
		b 最小殺菌濃度<MBC>	
		c ディスク拡散法	
		d 微量液体希釈法	
		e β-ラクタマーゼ検査法	
	I 抗菌薬治療	a 抗菌薬感受性とブレイクポイント	
		b 血中薬物濃度測定<TDM>	アミノグリコシド系抗菌薬、グリコペプチド系抗菌薬、抗真菌薬
	8 感染と発症	A 常在細菌叢	a 常在細菌叢の分布
b 常在細菌叢と感染			
B 微生物の病原因子		a 毒素<外毒素、内毒素>	
C 宿主の抵抗力		a 生体防御機構	
D 感染の発現		a 顕性感染	
		b 不顕性感染	
		c キャリア	
E 感染経路		a 接触感染	
		b 飛沫感染	
		c 空気感染	
		d 血液感染	
		e 経口感染	
		f 水平感染	
		g 垂直感染	
F 現代の感染症の特徴		a 市中感染症	
		b 日和見感染症	
		c 菌交代症	
		d 医療関連感染症<病院感染症、院内感染症、医療・介護関連感染症>	
		e 輸入感染症	

大項目	中項目	小項目	備考
		f 人獣共通感染症<動物由来感染症>	
		g 性感染症<STD>	
		h 新興・再興感染症	
	G 食中毒	a 感染型食中毒	
		b 毒素型食中毒	
	H バイオセーフティ	a バイオハザード対策	
		b エアロゾル感染	
		c 病原体の危険度分類<バイオセーフティーレベル>	BSL 1、2、3、4
		d 生物学的安全キャビネット	クラス I、II、III
		e 感染性廃棄物の取扱い方	
	I 感染の予防と対策	a ワクチン	
		b 医療関連感染<病院感染、院内感染>	
		c 感染予防策	標準予防策、空気予防策、飛沫予防策、接触予防策
		d 手洗い法<衛生手洗い法>	
		e 個人防護具<PPE>	
	J 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律<感染症法>	a 一類感染症	
		b 二類感染症	
		c 三類感染症	
		d 四類感染症	
		e 五類感染症	
		f 指定感染症	
		g 新型インフルエンザ等感染症	
		h 新感染症	
i 特定病原体等<一種、二種、三種、四種>			
K 感染制御とICT活動、AST活動	a アウトブレイク		
	b サーベイランス		
	c アンチバイオグラム		
	d 抗菌薬の適正使用		
	e 抗菌薬適正使用支援チーム<AST>		

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 細菌	A 好気性・通性嫌気性 グラム陽性球菌	a Genus <i>Staphylococcus</i>	
		b Genus <i>Streptococcus</i>	
		c Genus <i>Enterococcus</i>	
		d Genus <i>Aerococcus</i>	
	B 好気性・通性嫌気性 グラム陰性球菌	a Genus <i>Neisseria</i>	
		b Genus <i>Moraxella</i>	
	C 通性嫌気性グラム陰 性桿菌	a Genus <i>Escherichia</i>	
		b Genus <i>Shigella</i>	
		c Genus <i>Salmonella</i>	
		d Genus <i>Citrobacter</i>	
		e Genus <i>Klebsiella</i>	
		f Genus <i>Serratia</i>	
		g Genus <i>Enterobacter</i>	
		h Genus <i>Yersinia</i>	
		i Genus <i>Proteus</i>	
		j Genus <i>Morganella</i>	
		k Genus <i>Providencia</i>	
		l Genus <i>Plesiomonas</i>	
		m Genus <i>Vibrio</i>	
		n Genus <i>Aeromonas</i>	
		o Genus <i>Pasteurella</i>	
		p Genus <i>Haemophilus</i>	
	q Genus <i>Capnocytophaga</i>		
	r Genus <i>Bartonella</i>		
	D 好気性グラム陰性桿 菌	a Genus <i>Pseudomonas</i>	
		b Genus <i>Burkholderia</i>	
		c Genus <i>Stenotrophomonas</i>	
		d Genus <i>Acinetobacter</i>	
		e Genus <i>Bordetella</i>	
		f Genus <i>Bruceella</i>	
		g Genus <i>Francisella</i>	
		h Genus <i>Legionella</i>	
		i Genus <i>Coxiella</i>	
	E 微好気性グラム陰性 らせん菌	a Genus <i>Campylobacter</i>	
b Genus <i>Helicobacter</i>			
F 好気性グラム陽性有 芽胞桿菌	a Genus <i>Bacillus</i>		
G 好気性・通性嫌気性 グラム陽性無芽胞桿 菌	a Genus <i>Listeria</i>		
	b Genus <i>Corynebacterium</i>		
	c Genus <i>Gardnerella</i>		
	d Genus <i>Lactobacillus</i>		
H グラム陽性抗酸性桿 菌	a Genus <i>Mycobacterium</i>		
	b Genus <i>Nocardia</i>		

大項目	中項目	小項目	備考	
	I 嫌気性グラム陽性球菌	a Genus <i>Peptostreptococcus</i>		
		b Genus <i>Finexgoldia</i>		
		c Genus <i>Parvimonas</i>		
		d Genus <i>Peptoniphilus</i>		
	J 嫌気性グラム陰性球菌	a Genus <i>Veillonella</i>		
	K 嫌気性グラム陽性有芽胞桿菌	a Genus <i>Clostridium</i>		
		b Genus <i>Clostridioides</i>	<i>Clostridioides difficile</i>	
	L 嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌	a Genus <i>Propionibacterium</i>		
		b Genus <i>Cutibacterium</i>	<i>Cutibacterium acnes</i>	
		c Genus <i>Bifidobacterium</i>		
		d Genus <i>Actinomyces</i>		
	M 嫌気性グラム陰性桿菌	a Genus <i>Bacteroides</i>		
		b Genus <i>Parabacteroides</i>	<i>Parabacteroides distasonis</i>	
		c Genus <i>Prevotella</i>		
		d Genus <i>Porphyromonas</i>		
		e Genus <i>Fusobacterium</i>		
	N スピロヘータ	a Genus <i>Treponema</i>		
		b Genus <i>Borrelia</i>		
	O レプトスピラ	a Genus <i>Leptospira</i>		
	P マイコプラズマ	a Genus <i>Mycoplasma</i>		
Q リケッチア	a Genus <i>Rickettsia</i>			
	b Genus <i>Orientia</i>			
	c Genus <i>Neorickettsia</i>	<i>Neorickettsia sennetsu</i>		
	d Genus <i>Ehrlichia</i>			
R クラミジア	a Genus <i>Chlamydia</i>			
	b Genus <i>Chlamydophila</i>			
2 真菌	A 糸状菌	a ムコール類	Genus <i>Mucor</i> , Genus <i>Rhizopus</i>	
		b Genus <i>Aspergillus</i>		
		c 黒色真菌	Genus <i>Fonsecaea</i> , Genus <i>Exophiala</i> , Genus <i>Phialophora</i>	
	B 皮膚糸状菌	a Genus <i>Trichophyton</i>		
		b Genus <i>Epidermophyton</i>		
		c Genus <i>Microsporum</i>		
	C 二形性真菌	a Genus <i>Sporothrix</i>		
		b Genus <i>Histoplasma</i>		
		c Genus <i>Blastomyces</i>		
		d Genus <i>Coccidioides</i>		
		e Genus <i>Paracoccidioides</i>		
		f <i>Talaromyces marneffeii</i> < <i>Penicillium marneffeii</i> >		
	D 酵母および酵母様真菌	a Genus <i>Candida</i>		
		b Genus <i>Cryptococcus</i>		
	E その他の真菌	a Genus <i>Pneumocystis</i>		
	3 ウイルス	A DNAウイルス	a ポックスウイルス	

大項目	中項目	小項目	備考
		b ヘルペスウイルス	
		c アデノウイルス	
		d パピローマウイルス	
		e ポリオーマウイルス	
		f パルボウイルス	
		g ヘパドナウイルス	
		B RNAウイルス	a オルトミクソウイルス
	b パラミキソウイルス		
	c レトロウイルス		
	d フラビウイルス		
	e トガウイルス		
	f レオウイルス		
	g カリシウイルス		
	h ピコルナウイルス		
	i コロナウイルス		
	j フィロウイルス		
	k アレナウイルス		
	l ブニヤウイルス		
	4 プリオン	A 異常プリオン蛋白	
5 検査法	A 基本技術	a 無菌操作技術	
		b 滅菌・消毒の技術	
	B 検体検査法とその技術	a 患者・検体情報の収集	
		b 主な検体の採取と保存	
		c 検体の肉眼的観察と評価	喀痰のMiller & Jonesによる分類
		d 塗抹検査	喀痰のGeckler分類
		e 前処理	
		f 分離培養	
		g 同定検査<確認培地、同定キットによる検査、自動機器による検査、質量分析装置による検査>	
		h 薬剤感受性検査	CLSI標準法
		i 結果の報告	
		C 検体別細菌検査法	a 血液
	b 脳脊髄液		
	c 呼吸器<喀痰>		
	d 糞便		
	e 尿		
	f 穿刺液<脳脊髄液以外>		
	g 膿分泌物		
	D 嫌気性菌の検査法		
	E 抗酸菌の検査法	a 塗抹検査	蛍光染色、Ziehl-Neelsen染色、Kinyoun染色
		b 培養検査	液体培養法
		c 同定検査	

大項目	中項目	小項目	備考
		d 薬剤感受性検査	比率法
		e 核酸増幅検査	
	F 真菌の検査法	a 形態の観察	
		b (1→3)-β-D-グルカン検査	
		c 抗原検査	アスペルギルス抗原、クリプトコックス抗原など
	G ウイルスの検査法	a ウイルス粒子・抗原の検出	
		b ウイルス核酸<遺伝子>の検出	
		c 血清学的検査	
	H 免疫学的検査法		
	I 遺伝子・蛋白検査法	a 核酸ハイブリダイゼーション法<核酸プローブ法>	
		b 核酸増幅法	PCR法、リアルタイムPCR法、マルチプレックスPCR法、RT-PCR法、LAMP法
		c 遺伝子型別法	
		d 質量分析法	
	J 迅速診断技術	a 顕微鏡による形態観察	
		b 免疫学的な抗原・抗体の検出	レジオネラ・肺炎球菌尿中抗原検査、A群溶血性レンサ球菌抗原、クロストリジオイデス・デオフィシル抗原と毒素、肺炎マイコプラズマ抗原、ウイルス抗原：インフルエンザウイルス、RSウイルス、アデノウイルス、ロタウイルス、ノロウイルスなど
		c 毒素の検出	
		d 遺伝子の検出	
	K 検査に関与する機器	a 自動菌種同定装置	
		b 薬剤感受性検査装置	
		c 遺伝子検査装置	
6 微生物検査結果の評価	A 検査結果の評価	a 感染症との関連	
		b 緊急連絡を要する検査結果<パニック値>とその取扱い	医師へ緊急に伝えるべき微生物の検出など
		c 疫学<感染症サーベイランス、病院感染サーベイランス>との関連	
		d 精度管理	内部精度管理、外部精度管理調査

VIII章 臨床免疫学

病因・生体防御検査学

大項目	中項目	小項目	備考
1 生体防御の仕組み	A 免疫系による生体防御	a 自己・非自己の識別	
		b 免疫系の特徴、種類、異物排除	
	B 免疫担当器官、組織、細胞	a 第一次リンパ器官、第二次リンパ器官、分化	
		b T細胞	
		c B細胞	
		d 食細胞と抗原提示細胞	
		e NK細胞とNKT細胞	
		f 顆粒球	
	C 免疫の成立と調節	a 液性免疫応答	
		b 細胞性免疫応答	
		c CD抗原、細胞表面マーカー、シグナル伝達	
		d 抗体産生調節	
		e 主要組織適合抗原遺伝子複合体〈MHC〉	
		f サイトカインとそのレセプター	
		g 細胞接着因子	
		h 一次・二次免疫応答	
		i 免疫寛容〈トレランス〉	
	D 抗原	a 免疫原性、反応原性	
		b エピトープ、反応価	
		c 抗原分子の種類	
	E 抗体〈免疫グロブリン〉	a 機能と構造	
		b 抗体分子の種類、性状、役割、抗原性	
		c ポリクローナル抗体とモノクローナル抗体	
	F 補体	a 生体防御における役割	
		b 活性化経路	
		c 膜傷害複合体、フラグメントの生理活性	
		d 生理活性の調節と制御因子	
e 抗補体作用、保存法、不活性化			
f コールドアクティベーション〈cold activation〉			
2 抗原抗体反応による分析法	A 抗原と抗体の結合	a 結合に関与する力	
		b 最適比、地帯現象〈プロゾーン現象〉	
		c 抗原抗体反応に影響する因子	
		d 抗原抗体反応の感度	
		e 非特異反応	
	B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用	a 免疫沈降反応	
		b 免疫凝集反応	
		c 免疫溶解反応	

大項目	中項目	小項目	備考
		d 補体結合反応	
		e 中和反応	
		f 抑制反応	
		g 免疫比濁法・免疫比ろろ法<ネフェロメトリ>	
		h ラテックス凝集免疫比濁法・ラテックス凝集ネフェロメトリ	
		i 標識抗原または標識抗体法	RIA、酵素免疫測定法<ELISAまたはEIA>、蛍光免疫測定法、化学発光免疫測定法など
		j フローサイトメトリ、イムノブロット、イムノクロマトグラフィ	
3 免疫と疾患の関わり	A 感染防御免疫	a 自然免疫、獲得免疫	
		b 能動免疫、受動免疫	
		c ウイルス感染と生体防御	
		d 細菌感染と生体防御	
		e 寄生虫感染と生体防御	
	B 感染症の免疫学的検査	a 溶血性連鎖球菌感染症	ASO、ASKなど
		b サルモネラ感染症	
		c ヘリコバクター・ピロリ感染症	
		d 梅毒トレポネーマ感染症	ガラス板法、RPR法、TPHA、TPPA、TPLA、FTA-ABSなど
		e マイコプラズマ感染症	
		f リケッチア感染症	Weil-Felix反応を含む
		g クラミジア感染症	
		h 肝炎ウイルス感染症	HBs抗原・抗体、HCV抗体など
		i レトロウイルス感染症	HTLV-I抗体、HIV抗体など
		j 風疹ウイルス感染症	
		k インフルエンザウイルス感染症	
		l EBウイルス感染症	
		m トキソプラズマ感染症	
		n 真菌感染症	
	C 腫瘍免疫	a 腫瘍と免疫監視機構	
		b 腫瘍特異抗原と腫瘍関連抗原	
	D 腫瘍マーカー	a 概念	
		b 種類	AFP、CEA、CA15-3、CA19-9、CA125、PSA、PIVKA-II、SCC、NSE、hCG、CYFRA、ProGRPなど
		c 検査法<RIA、EIAを含む>	
	E 免疫不全	a 液性免疫不全症	
		b 細胞性免疫不全症	
		c 食細胞機能不全症	
d 補体欠損症			
F アレルギー	a アレルギーの機序、分類、疾患		

大項目	中項目	小項目	備考
		b 即時型アレルギーの検査法	アレルゲン検査、アレルゲン特異的IgE定量、非特異的IgE定量、皮膚反応<プリックテスト、スクラッチテストなど>
	G 自己免疫	a 自己免疫疾患の発生病序と分類	
		b 全身性自己免疫疾患で見られる自己抗体の種類	リウマトイド因子、抗CCP抗体、抗核抗体、抗DNA抗体、抗Sm抗体、抗RNP抗体、抗Scl-70抗体、抗セントロメア抗体、抗Jo-1抗体、抗ARS抗体、抗SS-A抗体、抗SS-B抗体、抗カルジオリピン抗体、MPO-ANCA、PR3-ANCAなど
		c 臓器特異的自己免疫疾患で見られる自己抗体の種類	抗ミトコンドリア抗体、抗サイログロブリン抗体、抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体、抗TSH受容体抗体、抗アセチルコリン受容体抗体、抗GAD抗体、抗内因子抗体、抗赤血球抗体、寒冷凝集素など
		d 自己抗体の検査法	蛍光抗体法、酵素抗体法、間接凝集法、RIA、直接クームス試験、間接クームス試験、寒冷凝集反応、Donath-Landsteiner反応など
	H 炎症と急性期蛋白	a 炎症性サイトカイン	
		b CRP	
		c その他の急性期蛋白	
	I 異常免疫グロブリン症	a 単クローン性および多クローン性の高免疫グロブリン血症	
		b Bence Jones蛋白	
		c クリオグロブリン	
4 免疫検査の基礎知識と技術	A 抗体の作製	a 抗血清の作り方	アジュバントを含む
		b モノクローナル抗体作製技術	
		c 免疫グロブリンの分離、精製	
	B 免疫器具・機器の取扱い	a 蛍光顕微鏡	
		b フローサイトメータ	
	C 検査目的別採血、血清・血漿の処理・保存	a 採血時および採血後の温度管理	寒冷凝集反応用、クリオグロブリン検査用、補体検査用、直接クームス試験用検体など
		b 不活性化	
		c 血清・血漿の保存	
	D 血液細胞の分離・調整法	a 赤血球	
		b 顆粒球	
		c 単核球とリンパ球<T細胞、B細胞>	

大項目	中項目	小項目	備考
5 免疫機能検査	A 液性免疫機能検査	a 免疫電気泳動・免疫固定法による解析	
		b 免疫グロブリンの定量	IgGサブクラス、IgG ₄ を含む
	B 細胞性免疫機能検査	a リンパ球サブセットの解析	CD4、CD8、CD3、CD19、CD20、CD23、CD34、CD38、CD4/CD8など
		b サイトカインの定量	
		c リンパ球幼若化試験	
		d 遅延型皮膚反応	ツベルクリン反応を含む
		e 結核菌特異的インターフェロン- γ 産生能<IGRA>	
	C 食細胞機能検査	a 貪食能、遊走能、活性酸素産生能	
	D 補体系検査	a 血清補体価<CH ₅₀ >測定	
		b 補体成分の定量	C3、C4など
6 輸血の基礎知識	A 血液型と同種抗原<変異と後天性変化を含む>	a ABO血液型	抗原構造、遺伝、出現頻度など
		b ABO血液型の亜型と変種	
		c ABO血液型物質の変化	後天性Bを含む
		d Rh血液型	抗原、遺伝、出現頻度など
		e Rh血液型の変異型	
		f 血液型キメラとモザイク	
		g その他の血液型	
		h 白血球抗原<HLA>と分類	
		i 血小板抗原<HPA>と分類	
		j 血清型<アロタイプ>	
7 輸血検査	A 輸血前検査	a 献血者血液の検査	
		b 血液型検査	
		c 不規則抗体スクリーニング	
		d 交差適合試験	
		e 血液介在性感染症の検査	
	B 血液型の検査	a ABO血液型	カラム凝集法を含む
		b ABO亜型	レクチン凝集法を含む
		c 分泌型と非分泌型	
		d Rh血液型	weak D、partial Dなど
	C 赤血球不規則抗体の同定	a パネル血球	
		b 間接抗グロブリン試験	
		c プロメリン法<酵素処理法>	
		d アルブミン法<膠質溶液法>	
		e 生理食塩液法	
		f PEG・間接抗グロブリン試験	
		g LISS・間接抗グロブリン試験	
D 血小板抗体の同定	a 混合受身凝集反応<MPHA法>		
8 輸血管理	A 成分輸血療法の適応	a 輸血の適応決定	
		b 血液製剤の種類と量の決定	
	B 供血者と患者との適合性	a 輸血検査の精度管理	

大項目	中項目	小項目	備考
	C 輸血副作用・合併症	a 溶血性副作用	
		b 輸血後GVHD<PT-GVHD>	
		c その他の非溶血性副作用	アレルギー反応、輸血関連急性肺障害<TRALI>、輸血関連循環過負荷<TACO>、輸血後紫斑病<PTP>など
		d 輸血後感染症	
	D 自己血輸血	a 自己血輸血の適応、方法、採血基準	
	E 輸血血液の保存と管理	a 血液製剤<赤血球・血小板・血漿>の保存法、保護液、有効期間、管理法	
		b 血液バッグのセグメント	
9 移植免疫と検査	A 移植免疫	a 移植の原理と分類	
		b 拒絶反応の機序	
		c 移植における組織適合性とHLA抗原	
		d 造血幹細胞移植とGVHD	
		e 免疫抑制	
	B 造血幹細胞移植の検査	a 幹細胞の分離と同定	
		b 血液型キメラ	
	c 造血幹細胞移植の適応	骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植など	
10 母児不適合妊娠	A 血液型不適合妊娠	a 母児の血液型	
		b 母体血の間接抗グロブリン試験	
		c 臍帯・児血の直接抗グロブリン試験	
		d 交換輸血時の適合性検査	
		e 新生児溶血性疾患の予防	

IX章 公衆衛生学

保健医療福祉と医学検査

大項目	中項目	小項目	備考
1 医学概論	A 医学と医療の歴史	a 医学、医療	
		b 衛生学と公衆衛生学	
		c 根拠に基づく医療<EBM>と診療ガイドライン	
	B 社会と健康	a 憲法第25条	
		b 世界保健機関<WHO>憲章における健康の定義	
		c 少子高齢化	
	C 医療と社会の状況	a 地域医療と医療計画	
		b 日本の医療の特徴	国民皆保険
		c 病院と診療所	
		d 医療従事者、チーム医療	
		e 社会保障、社会福祉、医療扶助	
		f 国民医療費	
		g 健康寿命の延伸と生活の質	生活の質[(quality of life <QOL>)]、質調整生存年<QALY>
	D 医療制度	a 日本・諸外国の医療制度	
	E 医の倫理	a ヒポクラテスの誓い	
		b 患者の権利の尊重	アドバンス・ケア・プランニング<ACP>
		c 医療安全	
		d 医療倫理	
		e ヘルシンキ宣言	
		f インフォームドコンセント	
		g 個人情報保護	
		h 医療者のコンプライアンス	
		i 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針	
j ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針			
2 公衆衛生の意義	A 健康・疾病・予防	a 疾病予防と健康増進	
		b 一次予防、二次予防、三次予防	
		c スクリーニング、健康診断	
		d 疾病・障害の概念	国際疾病分類<ICD>、国際生活機能分類<ICF>
		e ノーマライゼーションの考え方	
3 人口統計と健康水準	A 人口静態統計	a 日本の人口	年少人口、生産年齢人口、老年人口、従属人口
		b 国勢調査	
	B 人口動態統計	a 出生、出生率、合計特殊出生率、再生産率	
		b 死亡、粗死亡率、年齢調整死亡率、死産	
		c 婚姻、離婚	
		d 平均余命と平均寿命、生命表	

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 疾病・障害統計	a 国民生活基礎調査、有訴者率		
		b 患者調査、受療率		
4 疫学	A 疫学の考え方	a 公衆衛生と疫学		
		b リスクとリスクファクター		
		c 妥当性		
		d バイアスとエラー、交絡因子		
		e 疫学と因果関係、Hillの基準		
	B 疫学指標	a 頻度を表す指標	死亡率、罹患率、有病率	
		b 関連を表す指標	相対危険度、寄与危険度、オッズ比など	
	C 疫学調査法	a 記述疫学、分析疫学		
		b 縦断研究と横断研究		
		c コホート研究、症例対照研究		
		d ランダム化比較対照試験(RCT)	臨床試験、治験	
		e システマティックレビュー		
		f メタ分析<メタアナリシス>		
	5 環境と健康	A 地球環境	a 地球環境問題	
			b 地球温暖化	
c オゾン層破壊				
d 酸性雨				
B 生活環境		a 屋内環境		
		b 上水		
		c 下水	生物化学的酸素要求量<BOD>、化学的酸素要求量<COD>、溶存酸素量<DO>など	
		d 廃棄物		
		e 悪臭		
		f 環境たばこ煙と受動喫煙		
		g 温熱環境		
C 生物環境		a 感染の成立要因<感染源、感染経路、感受性>		
		b 新興感染症、再興感染症、検疫感染症	結核を含む	
		c 医療関連感染<院内感染>		
		d 感染予防<感染源・感染経路・感受性対策>		
		e 予防接種		
		f 感染症流行予測事業・発生動向調査事業		
D 物理環境		a 電離放射線		
		b 非電離放射線		
		c 寒冷・高温	熱中症	
		d 気圧	減圧症	
		e 騒音	騒音性難聴	
		f 振動		
E 化学環境		a 大気		

大項目	中項目	小項目	備考
		b 有害ガス	
		c 粉じん	
		d 石綿<アスベスト>	石綿肺
		e 有機物質	
		f 金属	
		g 発がん物質	職業がん
		h 内分泌かく乱物質	
		i 大気汚染	PM2.5を含む
		j 水質汚濁	
		k 土壌汚染	
		l 公害のエピソード	水俣病を含む
	F 環境リスクの評価	a 量反応関係、閾値、LOEL、NOEL、LD50、ED50	
		b 環境基準、許容濃度	
		c 1日許容摂取量	
		d 生物学的モニタリング	
		e リスク評価とリスク管理	
		G 環境検査法	a 水質検査、空(大)気試験
6 健康の保持増進	A 栄養保健	a 国民栄養の現状	
		b 国民健康・栄養調査	
	B 食品安全および食品衛生	a 食品添加物	
		b 食中毒	
		c 食品監視	ハザップ法<HACCP>
		d 輸入食品	
	C 母子保健	a 母子保健の指標	乳児死亡、周産期死亡、幼児死亡、妊産婦死亡
		b 妊産婦、乳幼児健康診査	
		c 少子化社会対策	健やか親子21
		d 新生児マス・スクリーニング	
	D 学校保健	a 健康教育・保健管理	
		b 学校伝染病	
		c 学校精神保健	
		d 学校安全	
		e 健康診断	
	E 成人保健	a 生活習慣病の発症と予防、リスクファクター	
		b 国民健康づくり対策	健康日本21
	F 老人保健	a 高齢者福祉対策	認知症、閉じこもり、廃用症候群、フレイル、サルコペニア
		b 在宅医療	
	G 精神保健	a 精神保健福祉対策、精神保健福祉センター	
		b 入院形態、精神保健指定医	措置入院、医療保護入院など
		c 薬物依存	
	H 産業保健	a 労働災害と業務上疾病	
		b 労働衛生管理	

大項目	中項目	小項目	備考
		c 一般健康診断・特殊健康診断	
		d 交代制勤務	
		e 産業疲労、過重労働〈過労死〉	
		f トータル・ヘルス・プロモーション	
7 衛生行政	A 衛生行政	a 一般衛生行政	
		b 労働衛生行政	
		c 環境保全行政	
	B 医療制度、地域保健	a 地域医療計画と一次医療、二次医療、三次医療	
		b 保健所の役割	
		c 地域包括支援センター	地域包括ケアシステム
		d 救急医療	
		e 災害医療	災害派遣医療チーム〈DMAT〉、災害拠点病院
		f 僻地医療	
	C 社会保険	a 医療保険	
		b 年金保険	
		c 雇用保険	
		d 労災保険	
		e 介護保険	介護保険施設〔介護老人福祉施設〈特別養護老人ホーム〉、介護老人保健施設、介護療養型医療施設〕
	D 社会福祉	a 児童福祉・母子福祉	
		b 老人福祉	
		c 心身障害者福祉	
8 国際保健	A 国際機関・医療協力	a 国際連合〈UN〉	
		b 世界保健機関〈WHO〉	
		c 国際労働機関〈ILO〉	
		d 国連環境計画〈UNEP〉	
		e 国際協力機構〈JICA〉	政府開発援助〈ODA〉、二国間協力、多国間協力など
	B 世界の保健状況	a 世界の人口	
		b 死亡統計	
		c 感染症の実態	HIV、結核、マラリアなど
		d プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション	SDGs〈持続可能な開発目標〉
9 関係法規	A 臨床検査技師等に関する法律	a 総則	
		b 免許	
		c 試験	
		d 業務	
		e 罰則	
	B 医事法規	a 医療法	内部精度管理、外部精度管理調査など
		b 医師法	

大項目	中項目	小項目	備考
		c 保健師助産師看護師法	
		d 診療放射線技師法	
		e 臨床工学技士法	
		f 死体解剖保存法	
		g 個人情報保護法	
		h 臨床研究法	
	C 薬事法規	a 毒物及び劇物取締法	
		b 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律<医薬品医療機器等法>	医薬品医療機器総合機構<PMDA>
		c 麻薬及び向精神薬取締法	
		d 大麻取締法	
	D 保健衛生法規	a 地域保健法	
		b 母子保健法	
		c 健康増進法	
		d がん対策基本法	
		e 健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法	
		f 高齢者の医療の確保に関する法律	特定健診・特定保健指導
		g 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>	
	E 予防衛生法規	a 感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律<感染症法>	
		b 予防接種法	
		c 検疫法	
	F 環境衛生法規	a 食品衛生法	
		b 環境基本法	
		c 公害健康被害の補償等に関する法律	
G 労働衛生法規	a 労働基準法		
	b 労働安全衛生法		
	c 労働者災害補償保険法		
H 社会保障・福祉関連法規	a 生活保護法		
	b 障害者基本法		
	c 障害者自立支援法		

X章 医用工学概論

医療工学及び情報科学

大項目	中項目	小項目	備考	
1 臨床検査と生体物性	A 生体の物理的特異性			
	B 生体物性の基礎	a 電気的特性		
		b 力学的特性		
		c 超音波特性		
		d 熱的特性		
		e 光学的性質		
		f 磁気的特性		
		g 放射線特性		
2 電気・電子工学の基礎	A 電気回路の基礎	a 電圧・電流・抵抗の概念		
		b 0hm <オーム>の法則		
		c Kirchoff<キルヒホッフ>の法則		
		d ブリッジ回路		
	B 直流回路の性質と用途	a 抵抗と抵抗率		
		b 電気エネルギーと電力量		
		c 電力の概念		
		d Joule<ジュール>の法則		
	C 交流回路の性質と用途	a 抵抗<R>・コイル<L>・コンデンサ<C>の基本的性質		
		b RLC直列・並列回路		
		c インピーダンスとその周波数特性		
	D 半導体の性質と用途	a 半導体の概念		
		b ダイオード・トランジスタ・FETの基本的性質		
	3 医用電子回路	A アナログ回路	a 増幅器・増幅回路	負帰還増幅、演算増幅
			b 差動増幅器	
			c フィルタ回路	時定数、遮断周波数
d 電源回路			整流、平滑	
B デジタル回路		a 論理回路の基礎		
		b パルス回路		
		c AD・DA変換	サンプリング定理	
C 変調と復調		a 変調復調の概念		
		b アナログ変調	AM、FM	
		c デジタル変調	PCM	
4 生体情報の収集		A センサ・トランスデューサの原理と構造	a 不分極電極	Ag/AgCl
			b 物理量センサ・トランスデューサ	
	c 化学量センサ・トランスデューサ			
	B 増幅器とのマッチング	a 信号源インピーダンスと入力インピーダンス		
	C 記録器・表示器の原理と特性	a 記録器		
		b 表示器		

大項目	中項目	小項目	備考	
5 電氣的安全対策	A 電撃に対する人体反応	a 安全限界エネルギー		
		b マクロショックとマイクロショック		
	B 電撃の周波数特性	a 最小感知電流と周波数特性		
	C 医用電氣機器の安全基準	a クラス別分類と保護手段		
		b 装着部の形別分類と漏れ電流許容値		
		c 漏れ電流測定法		
	D 病院電氣設備の安全基準	a 医用接地方式	EPRシステム	
		b 非接地配線方式		
		c 非常電源設備		
	E 電磁波障害とその対策			
6 情報科学の基礎	A 情報の概念	a 情報理論の基礎		
		b 情報の伝達・蓄積・利用		
	B 情報処理	a 情報のコード化		
		b 情報の保存と圧縮		
		c 情報の交換		
	7 ハードウェア	A 中央演算処理装置	a CPUの役割と機能	
B インタフェース				
C 入出力装置		a 入力装置		
		b 出力装置		
D 記憶装置		a 主記憶装置		
		b 補助記憶装置		
E 通信装置		a 有線通信装置		
		b 無線通信装置		
8 ソフトウェア		A プログラム言語	a 高級言語の種類と役割	
		B オペレーティングシステム<OS>	a OSの種類と役割	
	C データベース	a データベース管理システム	SQL	
	D アプリケーションソフトウェア	a ソフトウェアの種類と役割		
9 コンピュータネットワーク	A ネットワークの概念	a イン트라ネット<LAN>		
		b インターネット		
	B ネットワークの構成とシステム	a イーサネット		
		b ネットワーク接続機器		
		c ネットワーク伝送システム		
		d クライアントサーバシステム		
	C 通信プロトコル	a TCP/IPプロトコル		
	D セキュリティ	a 認証ID・パスワード		
		b 情報の保護・秘匿<暗号化>	SSL	
		c セキュリティのシステム	VPN	
		d コンピュータウイルス		
	E インターネットのアプリケーション	a 電子メール		
		b Webブラウザ		

大項目	中項目	小項目	備考
10 情報処理システム	A システムの概念	a システムと設計	
		b フローチャート	
	B 情報処理の利用形態	a 集中処理	
		b 分散処理	
		c バッチ処理	
		d リアルタイム処理	
e タイムシェアリング処理<TSS>			
f オンライン処理			
11 医療情報システム	A 医療情報システム	a オーダリングシステム	
		b 電子カルテシステム	
		c 臨床検査部門システム	
		d その他の部門システム	医用画像情報システム
		e 個人・資格認証システム	
		f 遠隔医療システム	
		g 地域医療情報システム	
		h 医学文献情報システム	
		i 人工知能<AI>システム	
	B 医療情報システムの利用と安全管理	a 情報保存の原則	
		b 情報システムの安全管理	
		c 個人情報保護とプライバシー	
		d 一次利用と二次利用	
e 医療情報の標準化			

検査総合管理学

大項目	中項目	小項目	備考
1 検査機器学総説	A 用手法と検査機器		
	B 取扱い上の注意と心構え		
2 共通検査機器の原理・構造	A 化学容量器	a ピペット、微量ピペット、メスフラスコ、メスシリンダ	
		b 検定公差、検定法、洗浄法	
	B 秤量装置	a 等比天秤	
		b 直示天秤	
		c 電子天秤	
	C 遠心分離装置	a 汎用遠心分離機	
		b 高速遠心分離機	
		c 分析用超遠心分離機	
	D 分離分析装置	a 電気泳動装置	
		b クロマトグラフ	
	E 攪拌装置	a 攪拌機	
		b ミキサ	
	F 恒温装置	a 恒温水槽	
		b 孵卵器	
		c 乾燥器	
	G 保冷装置	a 冷蔵庫	
		b 冷凍庫	
	H 滅菌装置	a 乾熱滅菌装置	
		b 高圧蒸気滅菌装置<オートクレーブ>	
		c 酸化エチレンガス<EOG>滅菌装置	
		d プラズマ滅菌装置	
	I 測光装置	a 分光光度計	
		b 蛍光光度計	
	J 顕微鏡装置	a 光学顕微鏡	実体顕微鏡、位相差顕微鏡、偏光顕微鏡、蛍光顕微鏡など
		b 電子顕微鏡	
		c 撮影装置	
	K 電気化学装置	a pHメータ	
		b イオン選択性電極	
		c 酸素電極	
		d 血液ガス分析装置	
	L 純水製造装置	a 蒸留法	
		b 脱イオン法	
c 逆浸透法			
M 遺伝子検査装置	a 核酸抽出装置		
	b 核酸増幅装置<サーマルサイクラー>		

欧文索引

1

1, 5-AG.	27
1, 5-アンヒドログルシトール. ...	27
(1→3)-β-D-グルカン.	30
(1→3)-β-D-グルカン検査.	50
12誘導心電図検査.	19
1型糖尿病.	17
1日許容摂取量.	58

2

2型糖尿病.	17
-------------	----

3

3Hz棘徐波複合.	21
----------------	----

5

5-HIAA.	4
5-ヒドロキシインドール酢酸.	4

6

6分間歩行試験.	21
---------------	----

7

75gOGTT.	27
75g経口ブドウ糖負荷試験.	27

I

I型コラーゲン架橋Cテロペプチド	30
I型コラーゲン架橋N-テロペプチド	30

I型プロコラーゲンCプロペプチド	30
I型プロコラーゲンNプロペプチド	30

A

A/G比	28
A-aDO ₂	21
ABI	20
ABO亜型	54
ABO血液型	54
ABO血液型の亜型と変種	54
ABO血液型物質の変化	54
ABR	22, 24
ACE	30
ACP	56
ACTH	29
AD・DA変換	61
ADA	4, 30
ADAMTS13	41
Addison病	15
ADH	29
ADH不適合分泌症候群	15
AFP	36, 52
Ag/AgCl	61
AIDS	13
AIHA	40
AKI	15
Alb	28
Alcian blue染色	35
ALK	36
ALL	14, 41
ALP	28
ALT	28
Alzheimer病	16
AM	61
AML	14, 41
ANCA関連疾患	16
ANP	29
APL	41
APTT	39
ASK	52
ASO	52
AST	1, 28, 46
AST活動	46
AT	40

ATLL	14, 41
azan染色	35
A群溶血性レンサ球菌抗原	50

B

BALF	5
BAP	30
base excess	21
Basedow病	15
BE	21
Behçet病	16
Bence Jones蛋白	4, 53
Berlin blue染色	36
Bethesdaシステム・癌取扱い規約に 準じた報告様式	37
Bilharz<ビルハルツ>住血吸虫 ...	6
BNP	29, 30
BOD	57
Bodian染色	36
Brecher-Cronkite法	39
Brecher法	39
Brugada症候群	11, 19
BSL 1、2、3、4	46
Bモード法	22
B細胞	51, 53

C

C3	54
C4	54
Ca	26
CA125	36, 52
CA15-3	52
CA19-9	52
CD19	54
CD20	36, 54
CD23	54
CD3	36, 54
CD34	54
CD38	54
CD4	54
CD4/CD8	54
CD8	54
CD抗原	51
CD分類	39

CEA.....	36, 52
CGM.....	27
CH ₅₀	54
chromogranin A.....	36
CK.....	4, 28
c-kit.....	36
Cl.....	26
CLL.....	14, 41
<i>Clostridioides difficile</i>	48
CLSI標準法.....	49
CML.....	14, 41
CMML.....	41
CMV.....	13
CNP.....	29
COD.....	57
cold activation.....	51
Congo red染色.....	36
COPD.....	12, 21
CPUの役割と機能.....	62
Cr.....	28
CRE.....	44
Creutzfeldt-Jakob病.....	16, 22
CRH.....	29
Crohn病.....	12
CRP.....	28, 53
CTX.....	30
Cu.....	26
Cushing症候群.....	15
<i>Cutibacterium acnes</i>	48
CYFRA.....	52
cytokeratin.....	36
C型ナトリウム利尿ペプチド.....	29
Cバンド.....	9
C-ペプチド.....	29

D

desmin.....	36
DIC.....	14, 42
direct fast scarlet染色.....	36
DLco.....	20
DMAT.....	59
DNAウイルス.....	48
DNAの損傷と修復.....	8
DNAの複製.....	8
DNAプローブの種類.....	9
DNAマイクロアレイ法.....	8

DNA抽出.....	8
DO.....	57
Donath-Landsteiner反応.....	53
DOPA反応.....	36
Down症候群.....	17
DPD.....	30
D-ダイマー.....	39

E

e'.....	23
E/A.....	23
E1.....	29
E2.....	29
E3.....	29
EBM.....	18, 56
EBウイルス感染症.....	13, 52
EC.....	27
ED50.....	58
efflux pump.....	44
eGFR.....	4, 30
EGFR.....	36
EGPA.....	16
EIA.....	25, 52
elastica van Gieson染色.....	35
ELISA.....	52
EOG.....	64
EPRシステム.....	62
ER.....	36
ERP.....	22
ESBL.....	44
ESI.....	25
ET.....	14, 41

F

FAB分類.....	41
Fallot四徴症.....	11
FC.....	27
Fe.....	26
FeNO.....	20
Feulgen反応.....	35
FEV ₁	20
FFA.....	27
FISH法.....	8, 9, 36
fluorescence <i>in situ</i>	8

fluorescence <i>in situ</i> hybridization.....	9
fluorescence <i>in situ</i> hybridization法.....	36
FM.....	61
FMD.....	20
FSH.....	29
FT3.....	29
FT4.....	29
FTA-ABS.....	52
FVC.....	20
F波伝導検査.....	22

G

Gaucher病・Niemann-Pick病・ Tay-Sachs病・Fabry病.....	16
Genus <i>Acinetobacter</i>	47
Genus <i>Actinomyces</i>	48
Genus <i>Aerococcus</i>	47
Genus <i>Aeromonas</i>	47
Genus <i>Aspergillus</i>	48
Genus <i>Bacillus</i>	47
Genus <i>Bacteroides</i>	48
Genus <i>Bartonella</i>	47
Genus <i>Bifidobacterium</i>	48
Genus <i>Blastomyces</i>	48
Genus <i>Bordetella</i>	47
Genus <i>Borrelia</i>	48
Genus <i>Brucella</i>	47
Genus <i>Burkholderia</i>	47
Genus <i>Campylobacter</i>	47
Genus <i>Candida</i>	48
Genus <i>Capnocytophaga</i>	47
Genus <i>Chlamydia</i>	48
Genus <i>Chlamydophila</i>	48
Genus <i>Citrobacter</i>	47
Genus <i>Clostridioides</i>	48
Genus <i>Clostridium</i>	48
Genus <i>Coccidioides</i>	48
Genus <i>Corynebacterium</i>	47
Genus <i>Coxiella</i>	47
Genus <i>Cryptococcus</i>	48
Genus <i>Cutibacterium</i>	48
Genus <i>Ehrlichia</i>	48
Genus <i>Enterobacter</i>	47
Genus <i>Enterococcus</i>	47

- Genus *Epidermophyton*..... 48
 Genus *Escherichia*..... 47
 Genus *Exophiala*..... 48
 Genus *Finegoldia*..... 48
 Genus *Fonaecaea*..... 48
 Genus *Francisella*..... 47
 Genus *Fusobacterium*..... 48
 Genus *Gardnerella*..... 47
 Genus *Haemophilus*..... 47
 Genus *Helicobacter*..... 47
 Genus *Histoplasma*..... 48
 Genus *Klebsiella*..... 47
 Genus *Lactobacillus*..... 47
 Genus *Legionella*..... 47
 Genus *Leptospira*..... 48
 Genus *Listeria*..... 47
 Genus *Microsporium*..... 48
 Genus *Moraxella*..... 47
 Genus *Morganelia*..... 47
 Genus *Mucor*..... 48
 Genus *Mycobacterium*..... 47
 Genus *Mycoplasma*..... 48
 Genus *Neisseria*..... 47
 Genus *Neorickettsia*..... 48
 Genus *Nocardia*..... 47
 Genus *Orientia*..... 48
 Genus *Parabacteroides*..... 48
 Genus *Paracoccidioides*..... 48
 Genus *Parvimonas*..... 48
 Genus *Pasteurella*..... 47
 Genus *Peptoniphilus*..... 48
 Genus *Peptostreptococcus*..... 48
 Genus *Phialophora*..... 48
 Genus *Plesiomonas*..... 47
 Genus *Pneumocystis*..... 48
 Genus *Porphyromonas*..... 48
 Genus *Prevotella*..... 48
 Genus *Propionibacterium*..... 48
 Genus *Proteus*..... 47
 Genus *Providencia*..... 47
 Genus *Pseudomonas*..... 47
 Genus *Rhizopus*..... 48
 Genus *Rickettsia*..... 48
 Genus *Salmonella*..... 47
 Genus *Serratia*..... 47
 Genus *Shigella*..... 47
 Genus *Sporothrix*..... 48
 Genus *Staphylococcus*..... 47
 Genus *Stenotrophomonas*..... 47
 Genus *Streptococcus*..... 47
 Genus *Treponema*..... 48
 Genus *Trichophyton*..... 48
 Genus *Veillonella*..... 48
 Genus *Vibrio*..... 47
 Genus *Yersinia*..... 47
 GH..... 29
 GHRH..... 29
 Giemsa染色..... 36, 37, 39
 GIST..... 33
 GnRH..... 29
 GPA..... 16
 Gram染色..... 36
 Gram染色法..... 43
 Grimelius染色..... 36
 Grocott染色..... 36
 Guillain-Barré症候群..... 16, 22
 Gバンド..... 9
-
- H**
- HACCP..... 58
 Hb..... 38
 HbA1c..... 27
 HBs抗原・抗体..... 52
 hCG..... 4, 29, 52
 HCL..... 41
 HCO₃⁻..... 21, 26
 HCV抗体..... 52
 HDL-C..... 27
 HDL-コレステロール..... 27
 Heinz小体..... 40
 hematoxylin-eosin染色..... 35
 hematoxylin液の種類と組成..... 35
 HER2..... 36
 H-E染色..... 35
 H-FABP..... 30
 Hillの基準..... 57
 HIT..... 41
 HIV..... 59
 HIV抗体..... 52
 HLA..... 54
 Hodgkinリンパ腫..... 14, 41
 Holter心電計..... 20
 Holter心電図検査..... 20
 Howell-Jolly小体..... 40
 HPA..... 54
 HPLC..... 25
 HPS..... 15, 41
 HS..... 40
 Ht..... 38
 HTLV-I抗体..... 52
 HUS..... 41
 H反射..... 22
-
- I**
- ICD..... 56
 ICF..... 56
 ICG試験..... 30
 ICT..... 1
 IgA..... 28
 IgA血管炎..... 16
 IgA腎症..... 15
 IgD..... 28
 IgE..... 28
 IgG..... 28
 IgG₄..... 54
 IgGサブクラス..... 54
 IgM..... 28
 IGRA..... 54
 ILO..... 59
in situ hybridization法..... 36
 IP..... 26
 ISCN..... 9
 ISH法..... 36
 ISO 15189..... 1
 ITP..... 14, 41
-
- J**
- JICA..... 59
 Joule<ジュール>の法則..... 61
-
- K**
- K..... 26
 Ki67..... 36
 Kinyoun染色..... 49
 Kirchhoff<キルヒホッフ>の法則..... 61
 KL-6..... 30

Klinefelter症候群.....	17
Klüver-Barrera染色.....	36
Km.....	26
KOH法.....	43
Kossa反応.....	36
KPC型β-ラクタマーゼ産生菌...	44
Krebs回路.....	26

L

Lambert-Beerの法則.....	25
Lambert-Eaton筋無力症候群....	22
Lambert-Eaton症候群.....	16
Lamb鞭毛虫.....	6
LAMP法.....	8, 50
LAN.....	62
Larmor周波数.....	23
LCAT.....	27
LD.....	4, 28
LD50.....	58
LDL-C.....	27
LDL-コレステロール.....	27
Lennox-Gastaut症候群.....	22
L-FABP.....	30
LGL.....	41
LH.....	29
Lineweaver-Burkプロット.....	26
LISS・間接抗グロブリン試験...	54
LOEL.....	58
LP.....	20
Lp(a).....	27
LPL.....	27

M

MALDI.....	25
MALDI-TOF MS.....	25
Manson<マンソン>住血吸虫.....	6
Manson<マンソン>裂頭条虫.....	6
Masson trichrome染色.....	35
Masson-Fontana染色.....	36
Masterの2階段試験.....	19
May-Grünwald-Giemsa染色.....	39
May-Hegglin異常.....	42
MBC.....	45
MBL.....	44

MCH.....	39
MCHC.....	39
MCTD.....	16
MCV.....	22, 39
MDRA.....	44
MDRP.....	44
MDRTB.....	44
MDS.....	14, 41
MEG.....	22
MEP.....	22
methyl green-pyronin染色.....	36
Mg.....	26
MHC.....	51
MIC.....	45
Michaelis-Mentenの式.....	26
MPA.....	16
MPHA法.....	54
MPO-ANCA.....	53
MRI.....	23
MRSA.....	44
MRアンジオグラフィ.....	24
MRハイドログラフィ.....	24
mucicarmine染色.....	35, 36
MUP.....	22
Mモード法.....	22

N

Na.....	26
NAFLD.....	12
NAG.....	30
NASH.....	12
Neglected Tropical Diseases ...	6
<i>Neorickettsia sennetsu</i>	48
NIRS.....	22
Nissl染色.....	36
NK細胞とNKT細胞.....	51
NOEL.....	58
NOR法.....	9
NSE.....	52
NST.....	1
NTD.....	6
NTX.....	30
N-アセチルグルコサミニダーゼ	30

O

OC.....	30
ODA.....	59
Ohm<オーム>の法則.....	61
oil red O染色.....	35
orcein染色.....	36
OS.....	62
OSの種類と役割.....	62
OTC検査.....	1
OXA型β-ラクタマーゼ産生菌 ...	44

P

p53.....	36
PaCO ₂	21
PAI.....	40
PAM染色.....	35
PAN.....	16
PaO ₂	21
Papanicolaou染色.....	37
Pappenheimer小体.....	40
<i>Parabacteroides distasonis</i> ...	48
Parkinson病.....	16
partial D.....	54
PAS染色.....	39
PAS反応.....	35, 36
PBC.....	13
PBP.....	44
PC.....	40
PCM.....	61
PCR法.....	8, 50
PD-L1.....	36
PEF.....	20
PEG・間接抗グロブリン試験 ...	54
<i>Penicillium marneffeii</i>	48
PgR.....	36
PGx.....	8
pH.....	21
pHメータ.....	26, 64
PIC.....	40
PICP.....	30
PINP.....	30
PIVKA-II.....	52
PL.....	27
Plt.....	39

PM2.5	58
PMDA	60
PMF	14, 41
PNH	40
POCT	1, 26
PPE	46
PPNG	44
PR3-ANCA	53
Prescott-Brodie染色	4
PRL	29
ProGRP	52
PRSP	44
PR時間	19
PS	40
PSA	52
PSC	13
PSG	21, 22
PT	39
PTAH染色	36
PtcO ₂	20
PT-GVHD	55
PTH	29
PTP	55
PV	14, 41
PWV	20
P波幅	19

Q

QALY	56
QOL	56
QRS時間	19
QTc	19
QT延長症候群	11
quality of life	56
Qバンド	9

R

RA	16
Rapid Turnover Protein	28
RBC	38
RBP	28
RCT	57
Ret	38
Rh血液型	54

Rh血液型の変異型	54
RI	3
RIA	25, 52, 53
RLC直列・並列回路	61
RNAウイルス	49
RNA抽出	8
ROC曲線	17
RPR法	52
RSウイルス	50
RTP	28
RT-PCR法	8, 50
Rバンド	9

S

S100蛋白	36
SAS	12, 21
SCC	52
SCV	22
SDGs	59
Se	26
SEP	22
SFMC	40
SFTS	7
SIADH	15
SI単位	2
Sjögren症候群	16
SKY<spectral karyotyping>法	9
SLE	16
SOP	1
spectral karyotyping	9
SpO ₂	21
SPP	20
SQL	62
SSL	62
SSPE	22
STD	46
Sternheimer染色	4
ST上昇	19
ST低下	19
Sudan black B染色	35
SudanⅢ染色	4, 35

T

T1強調画像	23
--------	----

T2*強調画像	23
T2強調画像	23
T3	29
T4	29
TACO	55
<i>Talaromyces marneffeii</i>	48
TAT	40
TC	27
TCA回路	26
TCP/IPプロトコル	62
TDM	29, 45
TG	27
TIA	16
TP	28
TPHA	52
TPLA	52
TPPA	52
TRAcP-5b	30
TRALI	55
TRH	29
TSH	29
TSS	63
TTP	14, 41
TTR	28
Turner症候群	17
T細胞	51, 53

U

UA	28
UN	28, 59
UNEP	59

V

VC	20
VEP	22
Victoria blue-HE染色	35
Victoria blue染色	35, 36
vimentin	36
VMA	4
Vmax	26
von Willebrand因子	38
von Willebrand病	14, 42
VPN	62
VRE	44

VWD..... 14, 42
VWF..... 38, 39

W

Warthin-Starry染色..... 36
WBC..... 39
weak D..... 54
Webブラウザ..... 62
Weil-Felix反応..... 52
Weil病..... 14
Westergren法..... 39
Westerman肺吸虫..... 6
West症候群..... 22
WHO..... 56, 59
WHO分類..... 41
Wilson病..... 17
WPW症候群..... 11, 19
Wright染色..... 39

X

XDRTB..... 44

Z

Ziehl-Neelsen染色.... 36, 43, 49
Zn..... 26
Zollinger-Ellison症候群..... 13

その他

α_1 -アンチトリプシン..... 28
 α_1 -ミクログロブリン..... 30
 α 波..... 21
 β_2 -ミクログロブリン..... 30
 β 波..... 21
 β -ラクタマーゼ..... 44
 β -ラクタマーゼ検査法..... 45
 β -ラクタム系抗菌薬..... 44
 γ -GT..... 28
 δ 波..... 21
 δ ビリルビン..... 28
 θ 波..... 21

和文索引

あ

アーチファクト..... 19, 21, 23
アイソザイム..... 28
アウトブレイク..... 46
亜鉛..... 26
赤白血病..... 41
アkantアメーバ..... 6
亜急性硬化性全脳炎..... 22
悪臭..... 57
悪性腫瘍..... 12
悪性腫瘍細胞の特徴..... 37
悪性中皮腫..... 12
悪性貧血..... 14, 40
悪性リンパ腫..... 14, 41
アジュバント..... 53
アスコルビン酸..... 4
アスベスト..... 58
アスペルギルス抗原..... 50
アスペルギルス症..... 14
アタマジラミ..... 7
圧測定..... 4
アディポサイトカイン..... 29
アディポネクチン..... 29
アデノウイルス..... 49, 50
アデノシンデアミナーゼ.... 4, 30
アドバンス・ケア・プランニング56
アトピー性皮膚炎..... 16
アドレナリン..... 29
アナログ回路..... 61
アナログ変調..... 61
アニオンギャップ..... 26
アニサキス..... 6
アフィニティクロマトグラフィ .25
アプリケーションソフトウェア .62
アブ類..... 7
アポA1..... 27
アポA2..... 27
アポB100..... 27
アポB48..... 27
アポC2..... 27
アポC3..... 27
アポE..... 27
アポトーシス..... 32
アポリポ蛋白..... 27

アミノグリコシド系抗菌薬 .44, 45
アミノ酸と蛋白質の構造と機能 .27
アミノ酸と蛋白質の代謝..... 27
アミノ酸の吸収..... 27
アミノ酸の代謝..... 27
アミラーゼ..... 28
アミロイドーシス..... 17
アミロイドの染色法..... 36
アメーバ..... 6
アメーバ赤痢..... 14
アルカリホスファターゼ染色... 39
アルコール性肝障害..... 12
アルドステロン..... 29
アルブミン..... 28
アルブミン法..... 54
アレナウイルス..... 49
アレルギー..... 52
アレルギー性疾患..... 16
アレルギー性疾患・膠原病・免疫病
..... 16
アレルギー性紫斑病..... 15, 42
アレルギーの機序..... 52
アレルギー反応..... 55
アレルギー検査..... 53
アレルギー特異的IgE定量..... 53
アロタイプ..... 54
暗号化..... 62
アンジオテンシン変換酵素..... 30
安全衛生管理..... 3
安全限界エネルギー..... 62
安全性..... 24
安全対策・感染対策..... 19
アンチトロンビン..... 40
アンチトロンビン<AT>欠損症... 42
アンチバイオグラム..... 46
アンチプラスミン..... 40
アンドロステロン..... 29
アンピシリン耐性インフルエンザ菌
..... 44
アンモニア..... 28
アンモニアの処理..... 28

い

イーサネット..... 62
イエカ..... 7
胃液..... 2

- 胃炎..... 12
- イオン化カルシウム..... 26
- イオン交換クロマトグラフィ... 25
- イオン選択性電極..... 64
- イオン選択電極..... 25
- 胃潰瘍..... 12
- 医学..... 56
- 医学概論..... 11, 56
- 医学と医療の歴史..... 56
- 医学文献情報システム..... 63
- 胃癌..... 12, 33
- 閾値..... 58
- 異型細胞の特徴..... 37
- 異型リンパ球..... 41
- 意識..... 21
- 医師へ緊急に伝えるべき微生物の検出..... 50
- 医師法..... 59
- 医事法規..... 59
- 胃・十二指腸..... 33
- 胃・十二指腸潰瘍..... 33
- 萎縮..... 32
- 異常Q波..... 19
- 異常心音図..... 20
- 異常心電図..... 19
- 異常像..... 23
- 異常プリオン蛋白..... 49
- 異常ヘモグロビン症..... 40
- 異常免疫グロブリン症..... 53
- 移植・再生医療..... 8
- 移植と拒絶反応..... 33
- 移植における組織適合性とHLA抗原..... 55
- 移植の原理と分類..... 55
- 移植免疫..... 55
- 移植免疫と検査..... 55
- 石綿..... 58
- 石綿肺..... 58
- 医節足動物..... 7
- 異染小体染色法..... 43
- 位相差顕微鏡..... 64
- 一次救命処置..... 11
- 一次止血..... 38
- 一次・二次免疫応答..... 51
- 一次予防..... 56
- 一次利用と二次利用..... 63
- 一秒量..... 20
- 一類感染症..... 46
- 一過性脳虚血発作..... 16
- 一種..... 46
- 一般衛生行政..... 59
- 一般健康診断・特殊健康診断... 59
- 一般的性状..... 4, 5
- 遺伝..... 54
- 遺伝学的検査..... 8
- 遺伝子..... 43
- 遺伝子異常..... 17
- 遺伝子異常と疾患..... 8
- 遺伝子型別法..... 50
- 遺伝子関連検査の種類..... 8
- 遺伝子検査装置..... 50, 64
- 遺伝子検査法..... 7, 8
- 遺伝子診断..... 8
- 遺伝子・染色体異常と発生発達異常..... 32
- 遺伝子増幅..... 8
- 遺伝子・蛋白検査法..... 50
- 遺伝子治療..... 8
- 遺伝子と疾患..... 8
- 遺伝子の基礎..... 8
- 遺伝子の検出..... 50
- 遺伝子の構造と機能..... 8
- 遺伝子の染色法..... 36
- 遺伝子変異と変異原..... 8
- 遺伝子マッピング..... 9
- 遺伝情報管理..... 8
- 遺伝情報の伝達と発現..... 8
- 遺伝性球状赤血球症..... 40
- 遺伝性疾患..... 32
- 遺伝と変異..... 43
- 遺伝の法則..... 8
- 遺伝物質〈情報〉の伝達..... 43
- 遺伝倫理..... 8
- 移動度とその影響因子..... 25
- 医動物学..... 6
- 医の倫理..... 56
- 異物排除..... 51
- 異物排泄機能検査..... 30
- イムノクロマトグラフィ... 26, 52
- イムノブロット..... 52
- 医薬品医療機器総合機構..... 60
- 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律..... 60
- 医薬品医療機器等法..... 60
- 医用画像情報システム..... 63
- 医用接地方式..... 62
- 医用電気機器の安全基準..... 62
- 医用電子回路..... 61
- 医療..... 56
- 医療安全..... 3, 56
- 医療・介護関連感染症..... 45
- 医療関連感染..... 46, 57
- 医療関連感染症..... 45
- 医療経済..... 1
- 医療事故と医療過誤..... 3
- 医療事故発生時の対処..... 3
- 医療事故防止対策..... 3, 37
- 医療者のコンプライアンス..... 56
- 医療従事者..... 56
- 医療情報システム..... 63
- 医療情報システムの利用と安全管理..... 63
- 医療情報の標準化..... 63
- 医療制度..... 56, 59
- 医療と社会の状況..... 56
- 医療扶助..... 56
- 医療法..... 59
- 医療保険..... 59
- 医療保護入院..... 58
- 医療面接..... 17
- 医療用ガス..... 3
- 医療倫理..... 56
- イレウス..... 12
- インクレチン..... 29
- インシデント..... 3
- インスリノーマ..... 13
- インスリン..... 29
- インターネット..... 62
- インターネットのアプリケーション..... 62
- インタフェース..... 62
- 咽頭・食道..... 33
- 咽頭・鼻腔ぬぐい液..... 2
- イントラネット..... 62
- 院内感染..... 46, 57
- 院内感染症..... 45
- インピーダンスとその周波数特性61
- インフォームドコンセント3, 8, 56
- インフルエンザ..... 13
- インフルエンザウイルス感染症... 52

う

ウイルス..... 43, 48
 ウイルス核酸<遺伝子>の検出... 50
 ウイルス肝炎..... 13
 ウイルス感染症..... 13
 ウイルス感染と生体防御..... 52
 ウイルス抗原：インフルエンザウイルス..... 50
 ウイルス性出血熱..... 14
 ウイルス性肺炎..... 12
 ウイルスの検査法..... 50
 ウイルスの構造と性状..... 43
 ウイルスの増殖..... 43
 ウイルス粒子・抗原の検出..... 50
 うっ血..... 32
 ウニ状..... 40
 ウルトラマイクロトーム..... 36
 運動器の正常像と異常像..... 23
 運動系..... 22
 運動神経伝導検査..... 22
 運動神経伝導速度..... 22
 運動単位..... 22
 運動単位電位..... 22
 運動負荷心電図検査..... 19
 運動負荷の中止徴候..... 19
 運動誘発電位..... 22

え

エアロゾル感染..... 46
 衛生学と公衆衛生学..... 56
 衛生行政..... 59
 衛生検査所..... 1
 衛生手洗い法..... 46
 衛生動物..... 7
 鋭波..... 21
 栄養サポートチーム..... 1
 栄養素..... 43
 栄養保健..... 58
 疫学..... 57
 疫学<感染症サーベイランス、病院感
 染サーベイランス>との関連... 50
 疫学指標..... 57
 疫学調査法..... 57
 疫学と因果関係..... 57

疫学の考え方..... 57
 液状化検体<LBC>法..... 37
 液性免疫応答..... 51
 液性免疫機能検査..... 54
 液性免疫不全症..... 52
 液体クロマトグラフィ..... 25
 液体培養法..... 49
 壊死..... 32
 エステラーゼ染色..... 39
 エステル型コレステロール..... 27
 エストラジオール..... 29
 エストリオール..... 29
 エストロン..... 29
 エネルギー代謝..... 20
 エピトープ..... 51
 エルゴメータ負荷試験..... 20
 遠隔医療システム..... 63
 演算増幅..... 61
 炎症..... 32
 炎症細胞..... 33
 炎症性サイトカイン..... 53
 炎症性疾患..... 11, 12
 炎症と急性期蛋白..... 53
 炎症の分類..... 33
 遠心沈殿法..... 37
 遠心分離装置..... 64
 エンドトキシン..... 30
 エンドポイント..... 19

お

黄体形成ホルモン..... 29
 オウム病..... 14
 オーダリングシステム..... 2, 63
 オートクレーブ..... 44, 64
 オーム..... 61
 オーラミン法..... 43
 オキサゾリジノン系抗菌薬..... 45
 オキシトシン..... 29
 屋内環境..... 57
 オステオカルシン..... 30
 オゾン層破壊..... 57
 オッズ比..... 57
 オペレーティングシステム..... 62
 主な検体の採取と保存..... 49
 オルトミクスウイルス..... 49
 音響陰影..... 23

温熱環境..... 57
 オンライン処理..... 63

か

外因..... 11, 32
 介護保険..... 59
 介護保険施設..... 59
 介護療養型医療施設..... 59
 介護老人福祉施設..... 59
 介護老人保健施設..... 59
 介助..... 37
 解析法..... 8
 回虫..... 6
 解糖系と糖新生..... 26
 解糖阻止剤..... 1
 外毒素..... 45
 概念..... 52
 外部精度管理..... 2
 外部精度管理調査..... 50, 59
 外部精度評価..... 2
 解剖学総論..... 32
 解剖学・病理学各論..... 33
 概要..... 37
 潰瘍性大腸炎..... 12
 概略..... 2
 カイロミクロン血症..... 17
 顧みられない熱帯病..... 6
 化学環境..... 57
 化学的検査法..... 4
 化学的酸素要求量..... 57
 化学的消毒法..... 44
 化学的性質..... 28
 化学発光分析の原理..... 25
 化学発光分析法..... 25
 化学発光免疫測定法..... 52
 化学分析の単位..... 2
 化学容量器..... 64
 化学量センサ・トランスデューサ..... 61
 化学療法..... 44
 過換気症候群..... 12
 核型..... 9
 核型進化..... 9
 核型の記載法..... 9
 核型分析..... 9
 顎口虫..... 6
 拡散強調画像..... 23

- 核酸増幅検査..... 50
 核酸増幅装置..... 9, 64
 核酸増幅法..... 50
 核酸代謝..... 8
 核酸抽出..... 8
 核酸抽出装置..... 64
 核酸・ヌクレオチド代謝異常... 32
 核酸の種類..... 8
 核酸の染色法..... 35
 核酸ハイブリダイゼーション法. 50
 核酸プローブ法..... 50
 核磁気共鳴現象..... 23
 各種包埋法..... 35
 喀痰..... 2, 7, 49
 喀痰検査..... 5
 喀痰のGeckler分類..... 49
 喀痰のMiller & Jonesによる分類49
 拡張型心筋症..... 11
 拡張能..... 23
 確定診断..... 17
 獲得免疫..... 52
 確認培地..... 43, 49
 核の異常..... 41
 攪拌機..... 64
 攪拌装置..... 64
 過酸化脂質..... 27
 加算平均心電図検査..... 20
 可視光線..... 25
 可視光線と紫外線..... 25
 下肢静脈..... 23
 過重労働..... 59
 下垂体..... 33
 下垂体機能検査..... 31
 下垂体機能低下症..... 15
 下垂体後葉..... 29
 下垂体疾患..... 15
 下垂体前葉..... 29
 ガス交換とガスの運搬..... 20
 ガス中毒..... 17
 ガストリノーム..... 13
 ガストリン..... 29
 ガス分析..... 26
 ガス滅菌..... 44
 家族性高コレステロール血症... 17
 学校安全..... 58
 学校精神保健..... 58
 学校伝染病..... 58
 学校保健..... 58
 褐色細胞腫 15
 活性 39
 活性化経路 51
 活性化部分トロンボプラスチン時間
 39
 活性酸素産生能 54
 カットオフ値 17
 カップリングメディア 23
 カテーテル法 37
 カドミウム 17
 ガドリニウム 24
 過敏性腸症候群 12
 花粉症 16
 芽胞染色法 43
 鎌状 40
 可溶性フィブリンモノマー複合体40
 カラードプラ法 22
 ガラス板法 52
 ガラスナイフ 36
 カラム凝集法 54
 カリウム 26
 カリシウイルス 49
 顆粒球 51, 53
 蚊類 7
 カルシウム 26
 カルシトニン 29
 カルバペネマーゼ産生菌 44
 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌44
 過労死 59
 川崎病 11
 簡易Bernoulliの式 23
 がん遺伝子パネル検査 8
 肝炎 33
 肝炎ウイルス感染症 52
 感覚器系 34
 感覚器疾患 17
 感覚系 22
 感覚系の検査 24
 感覚神経伝導検査 22
 感覚神経伝導速度 22
 肝癌 12, 33
 癌関連遺伝子 33
 換気 20
 間期核FISH法 9
 換気機能検査 20
 肝吸虫 6
 環境 43
 環境衛生法規 60
 環境基準 58
 環境基本法 60
 環境検査法 58
 環境たばこ煙と受動喫煙 57
 環境と健康 57
 環境保全行政 59
 環境リスクの評価 58
 関係法規 59
 肝硬変 12, 33
 幹細胞の分離と同定 55
 観察法 37
 カンジダ症 14
 肝疾患 12, 23
 眼疾患 17
 間質性肺炎 12, 21
 間質性肺疾患 12
 患者・検体情報の収集 49
 患者心理 11
 患者心理と対応 19
 患者調査 57
 患者と検体の確認 3
 患者の権利の尊重 56
 患者の接遇 3
 感受性 57
 冠循環 19
 眼振検査 24
 冠性T波 19
 肝性脳症 22
 関節 34
 関節液 5
 間接凝集法 53
 間接クームス試験 53
 間接抗グロブリン試験 54
 関節リウマチ 16
 感染型食中毒 46
 感染経路 45, 57
 感染経路別予防策 3
 感染源 57
 感染源・感染経路・感受性対策 . 57
 感染症 2, 13, 16, 30, 46
 感染症との関連 50
 感染症の実態 59
 感染症の免疫学的検査 52
 感染症の予防及び感染症患者に対す
 る医療に関する法律 60
 感染症の予防及び感染症の患者に対
 する医療に関する法律 46
 感染症法 60

感染症流行予測事業・発生動向調査事業.....	57	気管支拡張症.....	12	急性膀胱炎.....	13	
感染性医療廃棄物.....	3	気管支喘息.....	12, 16, 21	急性前骨髄球性白血病.....	41	
感染制御とICT活動.....	46	気管支肺胞洗浄液.....	5	急性単球性白血病.....	41	
感染性心内膜炎.....	11	気胸.....	12	急性白血病.....	41	
感染性腸炎.....	12	奇形.....	32, 40	急性リンパ性白血病.....	14, 41	
感染性廃棄物の取扱い方.....	46	基質拡張型β-ラクタマーゼ<ESBL>産生菌.....	44	吸着・分配クロマトグラフィ.....	25	
感染性肺疾患.....	12	記述疫学.....	57	吸虫類.....	6	
感染対策.....	3	技術的評価.....	3	供血者と患者との適合性.....	54	
感染対策チーム.....	1	基準測定操作法.....	2	鏡検法.....	4	
感染と発症.....	45	基準範囲.....	17	鏡検法による血球観察.....	39	
感染の成立要因.....	57	偽性血小板減少.....	41	凝固.....	38	
感染の発現.....	45	寄生虫感染と生体防御.....	52	凝固因子インヒビター.....	40	
感染の予防と対策.....	46	寄生虫検査法.....	7	凝固因子活性.....	39	
感染防御免疫.....	52	寄生虫症の疫学.....	6	凝固因子の産生・構造・機能.....	38	
感染予防.....	57	寄生虫の生活と疾患.....	6	競合法と非競合法.....	25	
感染予防策.....	46	寄生虫の生殖と発育.....	6	凝固機序.....	38	
肝臓.....	33	基礎.....	19, 20, 21, 22, 23, 24	凝固・線溶系.....	38	
肝臓型脂肪酸結合蛋白.....	30	基礎的要素.....	21, 22	凝固・線溶阻止物質の検査.....	40	
乾燥器.....	64	気体に関する一般的法則.....	20	凝固・線溶の検査.....	39	
乾燥固定.....	37	気道可逆性検査.....	20	凝固促進.....	38	
がん対策基本法.....	60	気道過敏性検査.....	20	凝固の制御機構.....	38	
肝・胆・膵疾患.....	12	気道抵抗.....	20	狭心症.....	11, 19	
肝<胆道>機能検査.....	30	気道閉塞性疾患.....	12	胸水.....	5	
肝胆道系.....	23	機能的残気量.....	20	胸腺.....	33	
眼底検査.....	24	機能と構造.....	51	共存物質の影響.....	3	
眼底像.....	24	キノコ.....	17	蟻虫.....	6	
肝蛭.....	6	キノロン系抗菌薬.....	44	共通検査機器の原理・構造.....	64	
広東住血線虫.....	6	基本技術.....	49	強皮症.....	16	
乾熱滅菌.....	44	基本走査.....	23	胸膜.....	33	
乾熱滅菌装置.....	64	逆浸透法.....	64	胸膜炎.....	12	
管理限界.....	2	脚ブロック.....	19	胸膜疾患.....	12	
管理法.....	55	キャリア.....	45	莢膜染色法.....	43	
寒冷凝集素.....	53	嗅覚検査.....	24	業務.....	59	
寒冷凝集素症.....	40	救急医療.....	11, 59	鏡面現象.....	23	
寒冷凝集反応.....	53	救急対応の病状.....	11	共用基準範囲.....	3	
寒冷凝集反応用.....	53	吸収.....	26, 27	許可・承諾・場所.....	37	
寒冷・高温.....	57	球状.....	40	寄与危険度.....	57	
関連を表す指標.....	57	急性ウイルス性肝炎.....	12	棘波.....	21	
<hr/>			急性冠症候群.....	11	虚血.....	32
き			急性期蛋白.....	28	虚血性心疾患.....	11, 23, 33
気圧.....	57	急性巨核芽球性白血病.....	41	巨赤芽球性貧血.....	14	
記憶.....	21	急性呼吸不全.....	11	拒絶反応の機序.....	55	
記憶装置.....	62	急性骨髄性白血病.....	14, 41	許容濃度.....	58	
期外収縮.....	11	急性骨髄単球性白血病.....	41	切り出し.....	35	
気管・気管支.....	33	急性糸球体腎炎.....	15	切り出しの実際.....	35	
		急性腎障害.....	15	キルヒホッフ.....	61	
		急性腎不全.....	15	記録器.....	61	
				記録器・表示器の原理と特性.....	61	

筋萎縮性側索硬化症..... 22
 緊急検査..... 1, 19
 緊急連絡を要する検査結果<パニック値>とその取扱い..... 50
 菌血症・敗血症..... 13
 筋原性変化..... 22
 菌交代症..... 45
 近赤外線分光法..... 22
 金属..... 58
 筋組織..... 32
 筋電計..... 22
 筋電図検査..... 22
 筋の概要..... 32
 筋無力症..... 16

く

空気感染..... 45
 空気予防策..... 46
 空(大)気試験..... 58
 クエン酸回路..... 26
 クオリティマネジメント..... 2
 クジラ複殖門条虫..... 6
 くも膜下出血..... 16
 クライアントサーバシステム..... 62
 クラス I、II、III..... 46
 クラス別分類と保護手段..... 62
 クラミジア..... 43, 48
 クラミジア感染症..... 13, 52
 クラミジア・トラコマティス感染症..... 13
 クラミジア肺炎..... 13
 グラム陽性抗酸性桿菌..... 47
 クリアランス..... 4
 クリーンベンチ..... 10
 クリオグロブリン..... 53
 クリオグロブリン検査用..... 53
 クリオスタット..... 35
 グリコアルブミン..... 27
 グリコーゲンの代謝..... 26
 グリコペプチド系抗菌薬..... 45
 グリシルサイクリン系抗菌薬..... 45
 クリプトコッカス症..... 14
 クリプトコッカス抗原..... 50
 クリプトスポリジウム症..... 14
 グルカゴン..... 29
 クレアチニン..... 28

クレアチニンクリアランス..... 30
 クロージングボリューム..... 20
 クロール..... 26
 クロストリジオイデス・ディフィシル感染症..... 13
 クロストリジオイデス・ディフィシル抗原と毒素..... 50
 クロスマキシング試験..... 40
 クロマチンの構造..... 8
 クロマトグラフ..... 64
 クロマトグラフィ..... 25
 クロマトグラフィの基本原理..... 25
 クロラムフェニコール系抗菌薬..... 45

け

経過観察..... 17
 経口感染..... 45
 蛍光顕微鏡..... 36, 53, 64
 蛍光抗体法..... 36, 53
 蛍光光度計..... 64
 蛍光染色..... 43, 49
 蛍光分析の原理..... 25
 蛍光分析法..... 25
 蛍光免疫測定法..... 52
 形質転換..... 43
 形質導入..... 43
 形状..... 5
 計測原理と方法..... 38
 計測と心機能評価..... 23
 形態..... 33, 43
 形態的变化と経過..... 33
 形態と機能..... 38
 形態の観察..... 50
 経頭蓋磁気刺激検査..... 22
 系統不明な急性白血病..... 41
 頸動脈..... 23
 経皮酸素分圧..... 20
 経皮的動脈酸素飽和度..... 21
 劇症肝炎..... 12
 化生..... 32
 ケジラミ..... 7
 下水..... 57
 血圧..... 19
 血圧異常..... 11
 血液..... 7, 49
 血液介在性感染症の検査..... 54

血液ガス分析装置..... 21, 64
 血液型キメラ..... 55
 血液型キメラとモザイク..... 54
 血液型検査..... 54
 血液型と同種抗原..... 54
 血液型の検査..... 54
 血液型不適合妊娠..... 55
 血液感染..... 45
 血液細胞形態・細胞性免疫検査..... 39
 血液細胞の観察..... 39
 血液細胞の分離・調整法..... 53
 血液製剤<赤血球・血小板・血漿>の保存法..... 55
 血液製剤の種類と量の決定..... 54
 血液・造血器系..... 33
 血液・造血器疾患..... 14
 血液の基礎..... 38
 血液の機能..... 38
 血液の性状..... 38
 血液の成分..... 38
 血液バッグのセグメント..... 55
 血液量..... 38
 結核..... 57, 59
 結核菌特異的インターフェロン- γ 産生能..... 54
 結核・非結核性抗酸菌症..... 13
 結果の報告..... 49
 血管炎症候群..... 16
 血管・血管内皮下組織..... 38
 血管・血小板関連の検査..... 39
 血管収縮・拡張..... 38
 血管超音波検査..... 23
 血管内皮機能検査..... 20
 血管の異常..... 42
 血管の機能..... 38
 血管迷走神経反応..... 1
 血球..... 38
 血球回転..... 38
 血球数算定..... 39
 血球算定に関する検査..... 38
 血球貪食症候群..... 15, 41
 血球の産生..... 38
 血球の分化・成熟..... 38
 血球粒度分布..... 39
 結合に関与する力..... 51
 欠失..... 9
 血漿..... 2
 血小板..... 38

血小板因子.....	38	原因.....	33	検査の倫理規定.....	3
血小板数.....	39	検査感染症.....	57	検査法.....	5, 24, 49, 52
血小板関連IgG.....	39	検査法.....	60	検査法の信頼性評価.....	3
血小板機能異常.....	42	原核生物.....	43	検査前の準備.....	24
血小板凝集能.....	39	嫌気性菌感染症.....	13	検査目的.....	29
血小板形態異常.....	42	嫌気性菌の検査法.....	49	検査目的別採血.....	53
血小板血栓.....	38	嫌気性グラム陰性桿菌.....	48	検査予約.....	2
血小板減少.....	41	嫌気性グラム陰性球菌.....	48	原子吸光光度計の原理と構成...	25
血小板減少症.....	14	嫌気性グラム陽性球菌.....	48	顕性感染.....	45
血小板抗原<HPA>と分類.....	54	嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌...	48	検体検査.....	1
血小板抗体の同定.....	54	嫌気性グラム陽性有芽胞桿菌...	48	検体検査法とその技術.....	49
血小板増加.....	42	嫌気培養法.....	43	検体採取と保存.....	8
血小板粘着能.....	39	献血者血液の検査.....	54	検体採取法.....	37
血小板の機能.....	38	健康教育・保健管理.....	58	検体採取法・取り扱い法.....	2
欠伸てんかん.....	21	健康・疾病・予防.....	56	検体照合.....	2
血清.....	2	健康寿命の延伸等を図るための脳卒		検体処理.....	2
血清学的検査.....	50	中、心臓病その他の循環器病に係		検体処理法.....	37
血清型.....	54	る対策に関する基本法.....	60	検体試料の前処理.....	8
血清・血漿の処理保存.....	53	健康寿命の延伸と生活の質.....	56	現代の感染症の特徴.....	45
血清・血漿の保存.....	53	健康診断.....	56, 58	検体の採取と保存.....	1
血清総蛋白.....	28	健康増進法.....	60	検体の種別.....	2
血清蛋白分画.....	28	健康日本21.....	58	検体の種類.....	35
血清補体価<CH ₅₀ >測定.....	54	健康の保持増進.....	58	検体の取り扱い.....	21, 37
結石検査.....	5	検査受付.....	2	検体の取扱い.....	8
結節性多発動脈炎.....	16	検査過誤の管理.....	2	検体の肉眼的観察と評価.....	49
血栓.....	32	検査機器.....	1, 9, 10	検体の搬送と保存.....	2
血栓・止血関連検査.....	39	検査機器学総説.....	64	検体の前処理.....	2
血栓・止血系の疾患の検査結果の評		検査機器・物品管理.....	1	検体搬送.....	2
価.....	41	検査器材.....	1	検体別細菌検査法.....	49
血栓性血小板減少性紫斑病. 14, 41		検査業務管理.....	1	原虫.....	7
血栓性素因.....	42	検査計画.....	1	原虫感染症.....	14
血中薬物測定法.....	29	検査結果の管理.....	1	原虫類.....	6
血中薬物濃度測定.....	45	検査結果の評価.....	2, 3, 50	検定公差.....	64
血糖.....	27	検査結果の報告.....	2	検定法.....	64
血糖の調節機能.....	26	検査結果の保存.....	2	遺伝子発現の調節.....	8
血尿.....	4	検査結果への付加情報・コメント	2	原発性アルドステロン症.....	15
血餅収縮.....	38	検査診断学総論.....	17	原発性硬化性胆管炎.....	13
血友病.....	42	検査成績の読み方.....	17	原発性骨髄線維症.....	14, 41
血友病A.....	14	検査体制.....	1	原発性脂質異常症.....	17
血友病B.....	14	検査体制の変遷.....	1	原発性胆汁性胆管炎.....	13
血流依存性血管拡張反応.....	20	検査に関する機器.....	50	原発性肺癌.....	12
血流と圧較差の評価.....	23	検査の安全管理と倫理.....	3	原発性補体欠損症.....	16
解毒機能検査.....	30	検査の受付と報告.....	2	原発性マクログロブリン血症14, 41	
ケトン体.....	27	検査の実際.....	23	顕微鏡観察.....	9
ケトン体の代謝.....	27	検査の精度保証.....	2	顕微鏡装置.....	64
ゲノムDNA.....	8	検査の注意点.....	24	顕微鏡的多発血管炎.....	16
ゲル濾過クロマトグラフィ.....	25	検査の使い方.....	17	顕微鏡による形態観察.....	50
減圧症.....	57	検査の倫理.....	3	顕微鏡の操作法.....	36

憲法第25条.....	56
原理.....	23
原理と意義.....	26
原理と検査法.....	22

こ

抗ARS抗体.....	53
抗CCP抗体.....	53
抗DNA抗体.....	53
抗GAD抗体.....	53
抗HIV薬.....	45
抗Jo-1抗体.....	53
抗RNP抗体.....	53
抗Sc1-70抗体.....	53
抗Sm抗体.....	53
抗SS-A抗体.....	53
抗SS-B抗体.....	53
抗TSH受容体抗体.....	53
抗アセチルコリン受容体抗体.....	53
高压蒸気滅菌.....	44
高压蒸気滅菌装置.....	64
抗インフルエンザウイルス薬.....	45
抗ウイルス薬.....	45
抗内因子抗体.....	53
高エネルギー化合物の役割と種類.....	25
好塩基球増加.....	41
好塩基性斑点.....	40
恒温水槽.....	64
恒温装置.....	64
公害健康被害の補償等に関する法律.....	60
公害のエピソード.....	58
光学顕微鏡.....	36, 64
抗核抗体.....	53
光学的性質.....	61
抗カルジオリピン抗体.....	53
交換輸血時の適合性検査.....	55
好気性グラム陰性桿菌.....	47
好気性グラム陽性有芽胞桿菌.....	47
好気性・通性嫌気性グラム陰性球菌.....	47
好気性・通性嫌気性グラム陽性球菌.....	47
好気性・通性嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌.....	47
好気培養法.....	43

高級言語の種類と役割.....	62
抗凝固剤.....	1
抗菌スペクトル.....	44
抗菌薬感受性とブレイクポイント.....	45
抗菌薬耐性.....	44
抗菌薬治療.....	45
抗菌薬適正使用支援チーム .. 1, 46	
抗菌薬のPK-PD.....	44
抗菌薬の基本.....	44
抗菌薬の種類.....	44
抗菌薬の適正使用.....	46
口腔.....	33
合計特殊出生率.....	56
抗結核薬.....	45
抗血清の作り方.....	53
抗血栓性.....	38
抗原.....	51, 54
抗原検査.....	50
抗原構造.....	54
抗原抗体反応.....	25
抗原抗体反応に影響する因子 .. 51	
抗原抗体反応による分析法 .. 51	
抗原抗体反応の感度.....	51
抗原性.....	51
膠原線維の染色法.....	35
抗原と抗体の結合.....	51
膠原病.....	33
膠原病および類縁疾患.....	16
抗原分子の種類.....	51
抗原量.....	39
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体.....	53
抗サイトメガロウイルス薬 .. 45	
抗サイログロブリン抗体.....	53
交差適合試験.....	54
好酸球減少.....	41
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 .. 16	
好酸球増加.....	41
抗酸菌染色法.....	43
抗酸菌の検査法.....	49
膠質溶液法.....	54
公衆衛生と疫学.....	57
公衆衛生の意義.....	56
恒常性.....	25
甲状腺.....	23, 29, 33
甲状腺癌.....	15
甲状腺機能検査.....	31
甲状腺機能亢進症.....	15
甲状腺機能低下症.....	15

甲状腺刺激ホルモン.....	29
甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン.....	29
甲状腺疾患.....	15
抗真菌薬.....	45
高精度染色体分染法.....	9
高精度分染用培養.....	9
抗赤血球抗体.....	53
広節裂頭条虫.....	6
抗セントロメア抗体.....	53
酵素.....	4, 28
構造異常.....	9
構造及び性状.....	43
構造と種類.....	28
構造と分類.....	26, 27
酵素活性単位.....	28
酵素活性の測定.....	28
酵素活性の単位.....	2
梗塞.....	32
高速液体クロマトグラフィ .. 25	
高速遠心分離機.....	64
酵素抗体法.....	36, 53
酵素消化法.....	35
酵素処理法.....	54
酵素組織化学染色法.....	36
酵素的分析法.....	26
酵素電極.....	25
酵素と基質.....	26
酵素の基礎.....	28
酵素の検査.....	28
酵素反応速度.....	26
酵素反応速度論.....	28
酵素免疫測定法.....	25, 52
抗体.....	51
抗体産生調節.....	51
交代制勤務.....	59
抗体の作製.....	53
抗体の種類と意義.....	36
抗体分子の種類.....	51
鉤虫.....	6
好中球減少.....	41
好中球増加.....	41
後天性B.....	54
後天性凝固異常.....	42
後天性血小板機能異常.....	42
後天性血友病.....	42
後天性出血性疾患.....	14
後天性免疫不全症候群.....	13
高尿酸血症.....	17

広汎性多棘徐波複合.....	22	国民医療費	56	コレステロールの代謝	27
抗微生物スペクトル.....	44	国民栄養の現状	58	コレラ	13
高プロラクチン血症.....	15	国民皆保険	56	コロナウイルス	49
興奮機序.....	21	国民健康・栄養調査	58	コロモジラミ	7
興奮伝導障害.....	11	国民健康づくり対策	58	婚姻	56
興奮伝導と伝達.....	21	国民生活基礎調査	57	根拠に基づく医療<EBM>と診療ガイ ドライン	18, 56
抗ヘルペスウイルス薬.....	45	国連環境計画	59	混合受身凝集反応	54
後方エコーの増強・減弱.....	23	固形腫瘍細胞培養	9	混合型急性白血病	41
酵母および酵母様真菌.....	48	誤差	2	混合性結合組織病	16
抗補体作用.....	51	誤差の許容限界	2	混濁	4
抗ミトコンドリア抗体.....	53	誤差の分類	2	混濁尿	4
交絡因子.....	57	誤差要因	39	コンパニオン検査	1
交流回路の性質と用途.....	61	個人・資格認証システム	63	コンピュータウイルス	62
抗リン脂質抗体.....	40	個人・集団基準範囲	17	コンピュータネットワーク	62
抗リン脂質抗体症候群.....	16, 42	個人情報保護	1, 56	コンプライアンス	20
高齢者の医療の確保に関する法律	60	個人情報保護とプライバシー	63		
高齢者福祉対策.....	58	個人情報保護法	60		
コーティング固定.....	37	個人防護具	46		
コールドアクティベーション.....	51	骨格筋	34		
小型簡易測定器.....	26	骨型アルカリホスファターゼ	30		
小形クリプトスポリジウム.....	6	骨吸収マーカー	30		
小形条虫.....	6	骨形成マーカー	30		
呼吸一酸化窒素濃度.....	20	骨疾患	16		
呼吸ガス分析.....	20	骨髄	33, 38		
呼吸運動とその調節.....	20	骨髄異形成症候群	14, 41		
呼吸器.....	49	骨髄移植	55		
呼吸器系.....	33	骨髄細胞培養	9		
呼吸器系検査の基礎.....	20	骨髄腫および類縁疾患	14, 41		
呼吸器疾患.....	11	骨髄像	39		
呼吸器の一般構造と機能.....	33	骨髄増殖性腫瘍および類縁疾患	41		
呼吸機能検査.....	20	骨粗鬆症	16		
呼吸機能検査異常をきたす疾患.....	21	骨代謝	30		
呼吸器の機能.....	20	骨盤腔超音波検査	23		
呼吸系運動負荷検査.....	20	固定	9		
呼吸困難の評価法.....	20	固定液の種類と組成	35		
呼吸商.....	20	固定の実際	35		
呼吸生理.....	20	固定法	35, 36, 37		
呼吸抵抗.....	20	固定法の実際	36		
呼吸不全.....	11, 21	コナダニ	7		
国際機関・医療協力.....	59	ゴナドトロピン放出ホルモン	29		
国際協力機構.....	59	小人症	15		
国際疾病分類.....	56	コホート研究	57		
国際生活機能分類.....	56	コミュニケーション	3		
国際保健.....	59	雇用保険	59		
国際連合.....	59	コリンエステラーゼ	28		
国際労働機関.....	59	五類感染症	46		
黒色真菌.....	48	コルチゾール	29		
国勢調査.....	56	コレステロール	27		

さ

サーベイランス	46
サーマルサイクラー	64
サーモグラフィ	24
災害医療	59
災害拠点病院	59
災害対策	3
災害派遣医療チーム	59
細菌	43, 47
細菌感染症	13
細菌感染と生体防御	52
細菌性食中毒	13
細菌性肺炎	12
細菌の観察と染色法	43
細菌の構造と性状	43
細菌の発育	43
細菌の薬剤感受性検査法	45
サイクロスポーラ	7
採血器具	1
採血時および採血後の温度管理	53
採血時の安全管理	1
採血条件	1
採血法	1
再興感染症	57
歳差運動	23
最小感知電流と周波数特性	62
最小殺菌濃度	45
最小発育阻止濃度	45
再生	32

再生産率.....	56	作用点変異.....	44	試験管内抗原抗体反応の原理と臨床 応用.....	51	
再生不良性貧血.....	14, 40	サラセミア.....	40	自己血輸血.....	55	
臍帯血移植.....	55	サルコペニア.....	58	自己血輸血の適応.....	55	
臍帯・児血の直接抗グロブリン試験	55	サルファ剤.....	45	自己抗体の検査法.....	53	
最大酸素摂取量と心拍数・血圧.....	20	サルモネラ感染症.....	52	自己・非自己の識別.....	51	
在宅医療.....	58	酸化エチレンガス<EOG>滅菌装置.....	64	自己免疫.....	53	
在宅検査.....	1	産業疲労.....	59	自己免疫疾患.....	33	
最適比.....	51	産業保健.....	58	自己免疫疾患の発生機序と分類.....	53	
サイトカインとそのレセプター.....	51	三次医療.....	59	自己免疫性肝疾患.....	12	
サイトカインの定量.....	54	三種.....	46	自己免疫性膵炎.....	13	
サイトメガロウイルス<CMV>感染症	13	三次予防.....	56	自己免疫性溶血性貧血.....	40	
サイドローブ.....	23	酸性雨.....	57	死産.....	56	
細胞.....	51	産生と崩壊.....	38	支持組織.....	32	
細胞学的検査法.....	4, 37	三尖弁疾患.....	11	支持体.....	25	
細胞学的検査法の特徴.....	37	三相波.....	22	脂質.....	27	
細胞数.....	4	酸素解離曲線.....	20	脂質異常症.....	17	
細胞質の異常.....	41	酸素摂取量.....	20	脂質代謝異常.....	17, 32	
細胞周期.....	9	酸素電極.....	64	脂質蓄積症.....	16	
細胞性免疫応答.....	51	サンプリング定理.....	61	脂質の検査.....	27	
細胞性免疫機能検査.....	54	三類感染症.....	46	脂質の構造と機能.....	27	
細胞性免疫検査.....	39	<hr/>			脂質の染色法.....	35
細胞性免疫不全症.....	52	し			脂質の代謝.....	27
細胞接着因子.....	51	シーケンサ.....	9	視床下部.....	29, 33	
細胞と組織.....	32	シークエンス解析.....	8	事象関連電位.....	22	
細胞内小器官の機能.....	25	紫外線の光源.....	25	糸状菌.....	48	
細胞内小器官の構造と機能.....	32	視覚器.....	34	糸状虫.....	6	
細胞の基本構造.....	25	視覚誘発電位.....	22	シスタチンC.....	30	
細胞の構造と働き.....	25	磁気共鳴画像検査.....	23	システマティックレビュー.....	57	
細胞の種類.....	5	色調.....	4, 5	システムと設計.....	63	
細胞培養法.....	9	磁気的特性.....	61	システムの概念.....	63	
細胞判定区分.....	37	子宮癌.....	34	自然毒.....	17	
細胞表面マーカー.....	51	子宮筋腫.....	15	事前の検査説明.....	19	
細胞分画.....	25	子宮疾患.....	15	自然免疫.....	52	
財務管理.....	1	子宮腫瘍.....	15	持続可能な開発目標.....	59	
細網線維の染色法.....	35	糸球体機能検査.....	30	持続血糖測定.....	27	
材料の採取と保存.....	7	糸球体腎炎.....	15, 34	持続性・周期性異常脳波.....	22	
サイロキシン.....	29	子宮内膜炎.....	15	持続的外来腹膜透析<CAPD>排液.....	5	
サイログロブリン.....	29	子宮内膜症.....	15	死体解剖保存法.....	60	
サザンブロット法.....	8	軸索変性.....	22	市中感染症.....	45	
左室駆出率.....	23	シグナル伝達.....	51	疾患.....	52	
撮影装置.....	64	止血.....	38	疾患マーカー.....	30	
擦過法.....	37	止血機構.....	38	湿固定.....	37	
撮像法.....	23	止血・血栓形成に関わる因子.....	38	失神.....	20	
差動増幅器.....	61	止血栓形成の開始機構.....	38	実体顕微鏡.....	64	
作用機序.....	44	止血栓形成の形成.....	38	質調整生存年.....	56	
作用点修飾酵素.....	44	試験.....	59	室内径短縮率.....	23	
				疾病・障害統計.....	57	

疾病・障害の概念.....	56	重症複合免疫不全症.....	16	障害者基本法.....	60
疾病の経過と転帰.....	11	重心動揺検査.....	24	障害者自立支援法.....	60
疾病予防と健康増進.....	56	従属人口.....	56	消化管.....	29
質量分析装置による検査.....	49	縦断研究と横断研究.....	57	消化管機能検査.....	31
質量分析法.....	25, 50	重炭酸イオン.....	21, 26	消化管疾患.....	12, 23
質量分析法の原理.....	25	集中処理.....	63	消化器系.....	33
指定感染症.....	46	終点分析.....	26	消化器の一般構造と機能.....	33
時定数.....	61	十二指腸液.....	2	消化性潰瘍.....	12
自動解析装置.....	9	十二指腸潰瘍.....	12	松果体.....	33
自動機器による検査.....	49	重複.....	9	上気道.....	33
自動菌種同定装置.....	50	絨毛細胞培養.....	9	小球性貧血.....	40
自動血液培養検査装置.....	49	ジュール.....	61	常在細菌叢.....	45
自動血球計数器法.....	38	主記憶装置.....	62	常在細菌叢と感染.....	45
自動赤沈測定装置.....	39	宿主の抵抗力.....	45	常在細菌叢の分布.....	45
自動染色装置.....	35, 37	縮小糸虫.....	6	少子化社会対策.....	58
児童福祉・母子福祉.....	59	樹脂包埋.....	36	少子高齢化.....	56
自動分析装置.....	4	手術材料.....	35	上室期外収縮.....	19
自動分析法.....	26	受精.....	32	上室頻拍.....	11, 19
自動包埋装置.....	35	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ.....	30	上水.....	57
耳鼻疾患.....	17	出血.....	32	脂溶性ビタミン.....	30
死亡.....	56	出血時間.....	39	常染色体.....	9
脂肪肝.....	33	出現頻度.....	54	常染色体異常.....	17
脂肪球.....	5	出生.....	56	蒸着.....	37
脂肪酸の代謝.....	27	出生率.....	56	糸虫類.....	6
死亡統計.....	59	術前・術後評価.....	18	小腸・大腸・虫垂・肛門.....	33
死亡率.....	57	術中迅速組織標本作製法.....	35	消毒法.....	44
姉妹染色分体分染法.....	9	術中モニタリング.....	22	消毒薬の種類と特性.....	44
社会と健康.....	56	出力装置.....	62	小脳の働き.....	21
社会福祉.....	56, 59	受動免疫.....	52	上皮小体.....	34
社会保険.....	59	腫瘍.....	15, 16, 33	上皮組織.....	32
社会保障.....	56	主要組織適合抗原遺伝子複合体.....	51	情報.....	43
社会保障・福祉関連法規.....	60	腫瘍特異抗原と腫瘍関連抗原.....	52	情報科学の基礎.....	62
試薬.....	1	腫瘍と免疫監視機構.....	52	情報管理.....	1
試薬の管理.....	37	腫瘍の発生原因と機序.....	33	情報システムの安全管理.....	63
遮断周波数.....	61	腫瘍の広がり方.....	33	情報処理.....	62
シャントビリルビン.....	28	腫瘍の分類.....	33	情報処理システム.....	63
臭気.....	4, 5	腫瘍マーカー.....	52	情報処理の利用形態.....	63
重金属中毒.....	17	腫瘍免疫.....	52	情報の概念.....	62
充血.....	32	受療率.....	57	情報の交換.....	62
住血吸虫.....	6	種類.....	51, 52	情報のコード化.....	62
周産期死亡.....	58	循環器系.....	33	情報の伝達・蓄積・利用.....	62
収支バランス.....	1	循環器系検査の基礎.....	19	情報の保護・秘匿.....	62
終宿主と中間宿主.....	6	循環器疾患.....	11	情報の保存と圧縮.....	62
収縮能.....	23	循環器の一般構造と機能.....	33	情報保存の原則.....	63
重症肝障害.....	42	循環障害.....	32	情報理論の基礎.....	62
重症虚血肢.....	20	循環生理.....	19	静脈.....	33
重症筋無力症.....	16, 22	純水製造装置.....	64	静脈血.....	1
重症熱性血小板減少症候群.....	7	消化.....	26, 27	静脈疾患.....	11

静脈瘤.....	33	神経・運動器疾患.....	16	迅速診断技術.....	50
蒸留法.....	64	神経芽腫.....	15	人体骨格の概要.....	32
症例対照研究.....	57	神経系検査の基礎.....	21	身体診察.....	17
除外診断.....	17	神経系の一般構造と機能.....	34	診断感度と特異性.....	17
職業がん.....	58	神経組織.....	32	診断プロセス.....	17
食細胞機能検査.....	54	神経組織の染色法.....	36	診断方法の変遷.....	1
食細胞機能不全症.....	52	神経伝導検査.....	22	心タンポナーデ.....	11
食細胞と抗原提示細胞.....	51	神経原性変化.....	22	心電計.....	19
食中毒.....	46, 58	腎血流量検査.....	30	心電図検査.....	19
食道炎.....	12	新興感染症.....	57	心電図の計測.....	19
食道癌.....	12, 33	新興・再興感染症.....	6, 46	心電図波形の成り立ち.....	19
食品安全および食品衛生.....	58	進行性筋ジストロフィ.....	16, 22	心電図発現の機構.....	19
食品衛生法.....	60	人口静態統計.....	56	振動.....	57
食品監視.....	58	人工知能<AI>システム.....	63	浸透圧.....	26
食品添加物.....	58	人口統計と健康水準.....	56	心内圧と心時相.....	19
植物毒.....	17	人口動態統計.....	56	心内血栓.....	23
女性生殖器.....	23, 34	信号源インピーダンスと入力イン ピーダンス.....	61	心内心電図検査.....	20
女性生殖器疾患.....	15	診察前検査.....	1	腎・尿路系.....	34
初速度分析.....	26	人事管理.....	1	腎・尿路系疾患.....	23
ショック.....	32	心疾患.....	30	腎・尿路系の一般構造と機能.....	34
ショック・意識障害・失神・痙攣.....	11	腎疾患.....	30	腎・尿路結石.....	15
シラミ類.....	7	心室期外収縮.....	19	腎・尿路・男性生殖器疾患.....	15
自律神経.....	21	心室細動.....	11, 19	心嚢.....	33
自律神経調節と循環反射.....	19	心室遅延電位.....	20	心拍出量.....	19
自律神経の検査.....	21	心室中隔欠損症.....	11	心拍数.....	19
試料の保存と管理.....	37	心室頻拍.....	11, 19	心不全.....	11
腎盂腎炎.....	15	人獣共通感染症.....	6, 46	腎不全.....	15
心音計.....	20	腎腫瘍.....	15, 34	心房細動.....	11, 19
心音図検査.....	20	心身障害者福祉.....	59	心房性ナトリウム利尿ペプチド.....	29
心音の成因と性質.....	20	新生児聴覚スクリーニング.....	24	心房粗動.....	11, 19
真核生物.....	43	新生児マス・スクリーニング.....	58	心房中隔欠損症.....	11
新型インフルエンザ等感染症.....	46	新生児マスキューニング・アミノ 酸代謝異常.....	16	心室負荷・心室肥大.....	19
新感染症.....	46	新生児溶血性疾患の予防.....	55	心膜炎.....	11, 23
腎機能検査.....	4, 30	真性赤血球増加症.....	14, 41	心膜炎疾患.....	11, 23
真菌.....	43, 48	腎性貧血.....	14, 40	蕁麻疹.....	16
心筋炎.....	11	心臓.....	33	診療支援部門としてのあり方.....	1
真菌感染症.....	14, 52	腎臓.....	34	診療放射線技師法.....	60
心筋梗塞.....	11	心臓型脂肪酸結合蛋白.....	30		
心筋梗塞・急性冠症候群.....	19	心臓腫瘍.....	23		
心筋疾患.....	11	心臓生理.....	19		
心筋症.....	11, 23, 33	心臓超音波検査.....	23		
真菌の観察と染色法.....	43	腎臓・尿路の正常像.....	23		
真菌の検査法.....	50	心臓のポンプ機能.....	19		
真菌の構造と性状.....	43	心臓ペースメーカー心電図.....	19		
真菌の発育.....	43	心臓弁膜症.....	20		
シングルマルチ型.....	26	迅速検査.....	1		
神経.....	21				
神経・運動器系.....	34				

す

髄液の生成と組成.....	4
脾炎.....	13
髄外造血.....	38
脾外分泌機能検査.....	31
脾癌.....	13, 33
脾機能検査.....	31
水銀.....	17

推算糸球体濾過量..... 4	性感感染症 46	生体防御機構 45
水質汚濁..... 58	性器クラミジア感染症 13	生体防御における役割 51
腓疾患..... 13, 23	正球性貧血 40	生体防御の仕組み 51
水質検査..... 58	生検材料 35	成長ホルモン 29
腓神経内分泌腫瘍..... 13	生産年齢人口 56	成長ホルモン放出ホルモン 29
膵臓..... 29, 33	性状 51	精度管理 2, 50
膵臓の正常像..... 23	正常細胞の基本形態 37	精度管理試料 2
水素原子核..... 23	正常像 23	精度管理に必要な統計学 2
垂直感染..... 45	正常像と異常像 23	精度管理法 2
水痘・帯状疱疹..... 13	生殖器系 34	精度管理法の分類 2
膵内分泌機能検査..... 31	生殖器の一般構造と機能 34	精度認証制度 2
水平感染..... 45	生殖細胞 9	政府開発援助 59
髄膜炎..... 16	生殖細胞系列遺伝子検査 8	生物化学的酸素要求量 57
睡眠検査..... 22	生殖細胞の分裂 32	生物化学分析の原理と方法 25
睡眠呼吸検査..... 21	成人T細胞白血病 14	生物学的安全キャビネット 46
睡眠時無呼吸症候群..... 12, 21	成人T細胞白血病/リンパ腫 41	生物学的位置 43
睡眠の生理と調節..... 21	精神保健 58	生物学的モニタリング 58
睡眠ポリグラフィ..... 21, 22	成人保健 58	生物環境 57
水溶性ビタミン..... 30	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 60	成分輸血療法の適応 54
膵Langerhans<ランゲルハンス>島34	精神保健指定医 58	精密検査 1
数的異常..... 9	精神保健福祉センター 58	生命現象と生体構成成分 25
スーパーマルチ型..... 26	精神保健福祉対策 58	生命のメカニズム 25
スクラッチテスト..... 53	精神保健福祉法 60	生命表 56
スクリーニング..... 17, 56	精神保健福祉法 60	生理学的検査 19
スクリーニング検査..... 1	精製 53	生理活性の調節と制御因子 51
スクリーニングの実際..... 37	生成と組成 5	生理検査 1
スクロマトグラフィ..... 25	性腺機能検査 31	生理検査総論 19
健やか親子21..... 58	性染色体 9	生理検査の特色 19
筋強直性ジストロフィ..... 16	性染色体異常 17	生理食塩液法 54
筋疾患..... 16	性腺・胎盤 29	生理的意義 26, 27, 28
ストレプトグラミン系抗菌薬... 45	精巣腫瘍 15	生理的变化と賦活法 21
スパイロメトリ..... 20	生体エネルギー 25	生理的変動 17
スピロヘータ..... 48	生体元素 25	整流 61
スピロヘータ感染症..... 14	生体色素 28	世界の人口 59
	生体色素代謝異常 32	世界の保健状況 59
	生体色素の検査 28	世界保健機関 59
	生体情報の収集 61	世界保健機関<WHO>憲章における健康の定義 56
	生体内色素の染色法 36	赤芽球癆 40
	生体内の非蛋白性窒素成分の生成 28	脊髄の働き 21
	生体内の薬物動態 29	セキュリティ 62
	生体内分布と血中酵素の起源 28	セキュリティのシステム 62
	生体内分布と生理的意義 26	赤痢 13
	生体の調節 38	赤痢アメーバ 6
	生体の物理的特異性 61	赤血球 38, 53
	生体の防御 38	赤血球数 38
	生体のリズム 25	赤血球系疾患の検査結果の評価 40
	生体物質 25	赤血球形態異常 40
	生体物性の基礎 61	

せ

精液..... 2
精液検査..... 5
生化学..... 38
正確さと精密さ..... 2
生活環境..... 57
生活史と感染経路..... 6
生活習慣病の発症と予防..... 58
生活習慣病・肥満症..... 17
生活の質..... 56
生活保護法..... 60

タイ肝吸虫..... 6	妥当性..... 57	地域包括支援センター..... 59
大気..... 57	多糖類の染色法..... 35	地域保健..... 59
大気汚染..... 58	ダニ類..... 7	地域保健法..... 60
大球性貧血..... 40	多発血管炎性肉芽腫症..... 16	チーム医療..... 1, 56
体腔と縦隔..... 32	多発性筋炎..... 22	遅延型皮膚反応..... 54
体細胞..... 9	多発性筋炎<PM>・皮膚筋炎<DM>..... 16	血基準..... 55
体細胞遺伝子検査..... 8	多発性硬化症..... 16	地球温暖化..... 57
胎児の血液循環..... 33	多発性骨髄腫..... 14, 41	地球環境..... 57
代謝異常..... 32	多包条虫..... 6	地球環境問題..... 57
代謝・栄養障害..... 16	単位..... 2	治験..... 57
代謝とATP産生..... 25	単核球とリンパ球..... 53	治験業務..... 1
代謝と増殖..... 43	胆管炎・胆嚢炎..... 13	地帯現象..... 51
体循環..... 19	胆管癌・胆嚢癌..... 13	窒素平衡..... 27
体循環と肺循環..... 33	単球増加..... 41	腔トリコモナス..... 7
大小不同..... 40	単クローン性および多クローン性の 高免疫グロブリン血症..... 53	腔分泌液..... 5
体性感覚誘発電位..... 22	炭酸ガス培養器..... 10	中央演算処理装置..... 62
胎生期造血..... 38	炭酸ガス培養法..... 43	中枢運動伝導時間..... 22
体性神経..... 21	胆汁..... 7	中枢神経..... 21
耐性の機序..... 44	胆汁酸..... 27	中枢神経系..... 34
大腸アメーバ..... 6	胆汁色素の代謝..... 28	中性脂肪..... 27
大腸癌..... 12, 33	男性生殖器..... 23, 34	中毒..... 17
大動脈・腹部動脈..... 23	弾性繊維の染色法..... 35	中皮腫..... 33
大動脈弁疾患..... 11	胆石..... 33	虫卵..... 7
大動脈瘤..... 11	胆石症..... 13	中和反応..... 52
第二次リンパ器官..... 51	単染色法..... 43	超音波エラストグラフィ..... 22
大脳の働きと機能の局在..... 21	胆道癌..... 33	超音波検査の基礎..... 22
胎盤..... 32	胆道系..... 33	超音波特性..... 61
体表超音波検査..... 23	胆道疾患..... 13	超音波の性質..... 22
大複殖門条虫..... 6	胆嚢..... 33	超音波プローブ..... 22
大麻取締法..... 60	胆嚢・胆管疾患..... 23	聴覚器..... 34
タイムシェアリング処理..... 63	蛋白質..... 4, 27	聴覚検査..... 24
ダイヤモンドナイフ..... 36	蛋白質・アミノ酸代謝異常..... 32	聴覚誘発電位..... 22
唾液腺..... 23, 33	蛋白質合成..... 8	腸管出血性大腸菌感染症..... 13
橢円..... 40	蛋白質の検査..... 28	長期透析の合併症..... 15
高安動脈炎..... 11	蛋白質の合成と分解..... 27	腸結核..... 12
多国間協力..... 59	蛋白質の消化..... 27	聴性脳幹反応..... 22, 24
たこつぼ型心筋症..... 11	蛋白代謝異常..... 17	調節機構..... 26
多剤耐性アシネトバクター..... 44	単包条虫..... 6	超多剤耐性結核菌..... 44
多剤耐性結核菌..... 44	断面解剖..... 32	腸チフス..... 13
多剤耐性緑膿菌..... 44		超薄切片作成法..... 36
多剤耐性緑膿菌..... 44		腸閉塞..... 12
多重反射・コメットエコー..... 23		直示天秤..... 64
多染性..... 40		直接クームス試験..... 53
脱イオン法..... 64		直接クームス試験用検体..... 53
脱灰液の種類と組成..... 35		直接ビリルビン・間接ビリルビン..... 28
脱灰処理の実際..... 35		直流回路の性質と用途..... 61
脱灰法..... 35		
脱髄..... 22		
縦緩和・横緩和..... 23		

ち

地域医療計画と一次医療..... 59
地域医療情報システム..... 63
地域医療と医療計画..... 56
地域包括ケアシステム..... 59

つ

通信装置.....	62
通信プロトコル.....	62
通性嫌気性グラム陰性桿菌.....	47
痛風.....	17
ツツガムシ.....	7
ツツガ虫病.....	13
ツベルクリン反応.....	54

て

手足口病.....	13
手洗い法.....	46
定義.....	32, 33
定義と概念.....	17
定義と分類法.....	40
低血圧症.....	11
抵抗<R>・コイル<L>・コンデンサ<C> の基本的性質.....	61
抵抗と抵抗率.....	61
ディスク拡散法.....	45
ディスクリット方式.....	26
低張処理.....	9
低尿酸血症.....	17
データベース.....	62
データベース管理システム.....	62
デオキシピリジノリン.....	30
適応と禁忌.....	19
摘出臓器<組織>検体の観察法.....	35
デジタル回路.....	61
デジタル変調.....	61
手順.....	37
テストステロン.....	29
鉄.....	26
鉄芽球性貧血.....	40
鉄欠乏性貧血.....	14, 40
鉄染色.....	39
鉄代謝異常.....	17
手続き.....	37
テトラサイクリン系抗菌薬.....	44
電圧・電流・抵抗の概念.....	61
転移性肺腫瘍.....	12
展開.....	9
電解質異常.....	19
てんかん.....	16

転帰.....	33
電気.....	3
電気泳動装置.....	9, 64
電気泳動の原理.....	25
電気泳動法.....	25
電気エネルギーと電力量.....	61
電気回路の基礎.....	61
電気化学装置.....	64
電気化学分析法.....	25
電気的安全対策.....	62
電気的特性.....	61
電気・電子工学の基礎.....	61
電極.....	22
電極の配置部位.....	21
デング熱.....	14
電撃に対する人体反応.....	62
電撃の周波数特性.....	62
電源回路.....	61
転座.....	9
電子カルテシステム.....	63
電子顕微鏡.....	64
電子顕微鏡標本作製法.....	36
電子染色.....	36
電子天秤.....	64
電磁波障害とその対策.....	62
電磁波の波長と色の関係.....	25
電子メール.....	62
転写.....	8, 43
伝染性紅斑.....	13
伝染性単核球症.....	41
伝導遅延.....	22
伝導ブロック.....	22
電離放射線.....	57
電力の概念.....	61

と

銅.....	26
透過型電子顕微鏡.....	37
透過型電子顕微鏡標本作製.....	36
凍結切片標本作製法.....	35
凍結組織切片薄切の実際.....	35
糖原病.....	17
糖質.....	4, 26
糖質代謝異常.....	32
糖質の検査.....	27
糖質の構造と機能.....	26

糖質の代謝.....	26
導出法.....	21
糖代謝異常.....	17
同定キットによる検査.....	49
同定検査.....	49
洞停止.....	19
等電点.....	25
糖尿病.....	17, 34
糖尿病診療ガイドライン.....	18
糖尿病性腎症.....	15
糖尿病性多発ニューロパチー.....	22
等比天秤.....	64
洞頻脈・洞徐脈.....	19
洞不全症候群.....	11, 19
動物毒.....	17
動物由来感染症.....	46
動脈.....	33
動脈管開存症.....	11
動脈血ガス分析.....	21
動脈血酸素分圧.....	21
動脈血二酸化炭素分圧.....	21
動脈硬化検査.....	20
動脈硬化症.....	33
動脈硬化性疾患予防ガイドライン.....	18
動脈疾患.....	11
東洋毛様線虫.....	6
トータル・ヘルス・プロモーション	59
トガウイルス.....	49
トキソプラズマ.....	7
トキソプラズマ感染症.....	52
トキソプラズマ症.....	14
鍍銀法.....	35
特殊染色.....	39
毒素.....	45
毒素型食中毒.....	46
毒素の検出.....	50
特定化学物質障害予防規則.....	37
特定健診・特定保健指導.....	60
特定病原体等.....	46
特発性血小板減少性紫斑病.....	14, 41
毒物及び劇物取締法.....	37, 60
毒物・劇物の取り扱い.....	37
毒物・劇物の分析.....	29
特別養護老人ホーム.....	59
トコジラミ.....	7
閉じこもり.....	58
土壤汚染.....	58

突発性異常脳波..... 21
 ドブラ法..... 22
 塗抹検査..... 49
 塗抹標本の作製法..... 39
 塗抹法..... 37
 ドライケミストリ..... 26
 トラコーマ..... 13
 トランスイルミネータ..... 9
 トランスフェリン..... 28
 取扱い上の注意と心構え..... 64
 取り扱いと安全管理..... 30
 トリカプト..... 17
 トリグリセライド..... 27
 トリグリセライド<中性脂肪>の代謝
 27
 トリソミー..... 9
 トリパノソーマ..... 7
 トリヨードサイロニン..... 29
 努力肺活量..... 20
 トレーサビリティ..... 3
 トレッドミル負荷試験..... 20
 トレランス..... 51
 トロポニン..... 30
 トロンビン-アンチトロンビン複合
 体..... 40
 食食能..... 54

な

内因..... 11, 32
 内毒素..... 45
 内部精度管理..... 2, 50, 59
 内分泌かく乱物質..... 58
 内分泌機能検査..... 31
 内分泌系..... 33
 内分泌細胞の染色法..... 36
 内分泌疾患..... 15
 内分泌臓器と内分泌検査..... 29
 内臓肥厚..... 23
 捺印法..... 37
 ナトリウム..... 26
 ナトリウム利尿ペプチド..... 29
 鉛..... 17
 軟部組織..... 34

に

二形性真菌..... 48
 ニキビダニ..... 7
 肉眼的組織観察法..... 35
 肉胞子虫..... 7
 二国間協力..... 59
 二酸化炭素排出量..... 20
 二次医療..... 59
 二次救命処置..... 11
 二次止血..... 38
 二次性高血圧症..... 11
 二次性脂質異常症..... 17
 二次性赤血球増加・相対的赤血球増
 加..... 40
 二次性糖尿病..... 17
 二次性貧血..... 40
 二種..... 46
 二次予防..... 56
 日常検査..... 1
 日本海裂頭条虫..... 6
 日本紅斑熱..... 7, 13
 日本住血吸虫..... 6
 日本・諸外国の医療制度..... 56
 日本の医療の特徴..... 56
 日本の人口..... 56
 入院形態..... 58
 乳癌..... 34
 乳児死亡..... 58
 入出力装置..... 62
 乳腺..... 23, 34
 乳腺疾患..... 17
 乳腺の一般構造と機能..... 34
 ニューモシスチス肺炎..... 14
 乳幼児健康診査..... 58
 入力装置..... 62
 ニューロン..... 21
 尿..... 2, 7, 49
 尿 pH..... 4
 尿亜硝酸塩..... 4
 尿ウロビリニン体..... 4
 尿管・膀胱・尿道..... 34
 尿ケトン体..... 4
 尿検査..... 4
 尿細管機能検査..... 30
 尿酸..... 28
 尿酸代謝異常..... 17

尿自動分析装置..... 4
 尿浸透圧..... 4
 尿潜血..... 4
 尿素回路..... 28
 尿素窒素..... 28
 尿蛋白質..... 4
 尿中有形成分..... 4
 尿中有形成分分析装置..... 4
 尿沈渣検査..... 4
 尿糖..... 4, 27
 尿道炎..... 15
 尿の生成と組成..... 4
 尿比重..... 4
 尿ビリルビン..... 4
 尿崩症..... 15
 尿ポルフィリン体..... 4
 尿量..... 4
 尿路感染症..... 15
 二類感染症..... 46
 妊産婦..... 58
 妊産婦死亡..... 58
 認証ID・パスワード..... 62
 妊娠..... 23
 妊娠反応..... 4
 認知症..... 58

ね

熱画像検査..... 24
 熱帯熱マラリア原虫..... 7
 熱中症..... 57
 熱的特性..... 61
 ネットワーク接続機器..... 62
 ネットワーク伝送システム..... 62
 ネットワークの概念..... 62
 ネットワークの構成とシステム..... 62
 ネフェロメトリ..... 52
 ネフローゼ症候群..... 15
 粘液染色..... 37
 年金保険..... 59
 年少人口..... 56
 粘着・放出・凝集..... 38
 年齢調整死亡率..... 56

の

脳炎	16
脳幹の働き	21
脳血管障害	16, 34
脳梗塞	16
脳磁図検査	22
脳死判定	22
脳出血	16
脳腫瘍	16, 34
脳性ナトリウム利尿ペプチド29	30
脳脊髄液	2, 49
脳脊髄液以外	49
脳脊髄液検査	4
能動免疫	52
脳波計	21
脳波検査	21
脳波発現の機序	21
膿分泌物	49
農薬中毒	17
ノーマライゼーションの考え方	56
ノザンプロット法	8
ノミ類	7
ノルアドレナリン	29
ノルウェー疥癬	7
ノロウイルス	50
ノロウイルス胃腸炎	13

は

歯	33
ハードウェア	62
肺	33
バイアス	3
バイアスとエラー	57
バイオセーフティ	46
バイオセーフティーレベル	46
バイオハザード	37
バイオハザード対策	46
肺拡散能	20
肺拡散能力	20
肺活量	20
肺癌	33
廃棄物	57
肺吸虫	6
肺気量分画	20

肺結核症	12
肺血栓塞栓症	12
肺高血圧症	12
肺サルコイドーシス	12
肺疾患	30
肺循環	19
肺循環障害	12
肺真菌症	12
培地	43
培地の成分	43
培地の分類	43
肺動脈弁疾患	11
梅毒	14
梅毒トレポネーマ感染症	52
肺内ガス分布	20
肺非結核性抗酸菌症	12
肺泡気-動脈血酸素分圧較差	21
肺泡機能検査	20
培養環境	43
培養検査	49
培養準備	9
廃用症候群	58
胚葉の形成と分化	32
培養法	7, 43
ハエ類	7
薄切の実際	35
薄切法	35
白癬菌症	14
破碎	40
ハサップ法	58
麻疹	13
橋本病	15
播種性血管内凝固	14, 42
バソプレシン	29
ハチ	17
発育と培養	43
発育に必要な条件	43
発がん物質	58
白血球	38
白血球数	39
白血球系疾患の検査結果の評価	41
白血球形態異常	41
白血球減少	41
白血球抗原(HLA)と分類	54
白血球自動分類	39
白血球増加	41
白血球反応	4
白血病および骨髄増殖性腫瘍	14

発色系	26
発生の概要	32
罰則	59
バッチ処理	63
鼻汁	5
パニック値	50
パニック値対応	3
パニリルマンデル酸	4
パネル血球	54
パピローマウイルス	49
ハプトグロビン	28
ハマダラカ	7
パラチフス	13
パラフィン包埋の実際	35
パラミキソウイルス	49
針筋電図検査	22
針刺し切創	2
パルスオキシメータ	21
パルス回路	61
パルスドプラ法	22
パルボウイルス	49
バンクロフト糸状虫	6
バンコマイシン耐性腸球菌	44
反射の機序	21
搬送法	2
半導体の概念	61
半導体の性質と用途	61
反応価	51
反応原性	51
反復神経刺激検査	22
汎用遠心分離機	64

ひ

脾	38
非Hodgkinリンパ腫	14, 41
非アルコール性脂肪性肝炎	12
非アルコール性脂肪性肝疾患	12
ピークフロー値	20
ピークフローメータ	20
光トポグラフィ	22
微好気性グラム陰性らせん菌	47
微好気培養法	43
ピコルナウイルス	49
比重	38
非常電源設備	62
微生物検査結果の評価	50

母児不適合妊娠..... 55
 母子保健..... 58
 母子保健の指標..... 58
 母子保健法..... 60
 補助記憶装置..... 62
 ホスホマイシン..... 45
 細血管障害性溶血性貧血..... 40
 保存..... 9
 保存法..... 2, 51
 保存用培地..... 43
 補体..... 51
 補体系検査..... 54
 補体結合反応..... 52
 補体欠損症..... 52
 補体検査用..... 53
 補体成分の定量..... 54
 母体血の間接抗グロブリン試験..... 55
 ポックスウイルス..... 48
 発作性夜間ヘモグロビン尿症... 40
 骨..... 34
 ホモジニアス法とヘテロジニアス法
 25
 ポリオーマウイルス..... 49
 ポリクローナル抗体とモノクローナ
 ル抗体..... 51
 ポリペプチド系抗菌薬..... 44
 ポルフィリン症..... 16
 ポルフィリン体..... 28
 ホルマリンの取り扱い..... 37
 ホルモン..... 29
 ホルモンの作用と調節機序..... 29
 ホルモンの種類と性質..... 29
 保冷装置..... 64
 本態性血小板血症..... 14, 41
 本態性高血圧症..... 11
 翻訳..... 8

ま

マイクロサテライト解析..... 8
 マイコプラズマ..... 43, 48
 マイコプラズマ感染症..... 52
 マイコプラズマ肺炎..... 12
 前処理..... 49
 膜傷害複合体..... 51
 膜電位..... 21
 マグネシウム..... 26

マクロシヨックとミクロシヨック62
 マクロライド系抗菌薬..... 44
 マダニ..... 7
 末梢血幹細胞移植..... 55
 末梢血血液像..... 39
 末梢血リンパ球培養..... 9
 末梢神経..... 21
 末梢神経系..... 34
 末梢神経障害..... 22
 末梢神経損傷..... 1
 末梢動脈疾患..... 11
 マニュアル..... 1
 麻薬及び向精神薬取締法..... 60
 マラリア..... 14, 59
 マラリア原虫..... 7
 マルチプレックスPCR法..... 50
 マレー糸状虫..... 6
 慢性炎症性疾患による貧血..... 40
 慢性肝炎..... 12
 慢性甲状腺炎..... 15
 慢性呼吸不全..... 12
 慢性骨髄性白血病..... 14, 41
 慢性骨髄単球性白血病..... 41
 慢性糸球体腎炎..... 15
 慢性腎不全..... 15
 慢性膵炎..... 13
 慢性肉芽腫症..... 16
 慢性閉塞性肺疾患..... 12, 21
 慢性リンパ性白血病..... 14, 41
 慢性リンパ性白血病および類縁疾患
 41

み

ミオクロニーてんかん..... 22
 ミオグロビン尿..... 4
 ミオトニー放電..... 22
 味覚検査..... 24
 ミキサ..... 64
 右心不全..... 11
 ミクロトームの種類..... 35
 ミクロヘマトクリット法..... 39
 水と無機質の調整および代謝... 26
 三日熱マラリア原虫..... 7
 ミトコンドリアDNA..... 8
 水俣病..... 58
 脈波伝播速度..... 20

宮崎肺吸虫..... 6
 脈管疾患..... 11
 脈管疾患検査..... 20

む

無 γ -グロブリン血症..... 16
 無機質の検査..... 26
 無機物代謝異常..... 32
 無機リン..... 26
 無菌操作技術..... 49
 無形成分..... 38
 無鉤糸虫..... 6
 ムコール類..... 48
 無性生殖と有性生殖..... 6
 無線通信装置..... 62
 ムンプス..... 13

め

命名と分類..... 28
 メジナ虫..... 6
 メスシリンダ..... 64
 メスフラスコ..... 64
 メタアナリシス..... 57
 メタ分析..... 57
 メタボリックシンドローム..... 17
 メタロー β -ラクタマーゼ<MBL>産生
 菌..... 44
 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌... 44
 滅菌・消毒の技術..... 49
 滅菌装置..... 64
 滅菌と消毒..... 44
 滅菌法..... 44
 免疫異常..... 33
 免疫学的機序が関与する肺疾患... 12
 免疫学的血小板数算定..... 39
 免疫学的検査法..... 7, 50
 免疫学的な抗原・抗体の検出... 50
 免疫学的便潜血反応..... 5
 免疫学的分析法..... 25
 免疫寛容..... 51
 免疫器具・機器の取扱い..... 53
 免疫機能検査..... 54
 免疫凝集反応..... 51
 免疫グロブリン..... 28, 51

免疫グロブリンの定量..... 54
 免疫グロブリンの分離..... 53
 免疫系による生体防御..... 51
 免疫系の特徴..... 51
 免疫検査の基礎知識と技術..... 53
 免疫原性..... 51
 免疫細胞化学染色..... 37
 免疫組織化学染色法..... 36
 免疫組織化学法..... 39
 免疫担当器官..... 51
 免疫沈降反応..... 51
 免疫電気泳動・免疫固定法による解
 析..... 54
 免疫と疾患の関わり..... 52
 免疫の成立と調節..... 51
 免疫反応とアレルギー..... 33
 免疫比濁法と比ろう法..... 25
 免疫比濁法・免疫比ろう法..... 52
 免疫不全..... 16, 33, 52
 免疫溶解反応..... 51
 免疫抑制..... 55
 免許..... 59

も

毛細血管血..... 1
 毛細血管抵抗試験..... 39
 毛細血管透過性..... 38
 網赤血球数..... 38, 39
 目的..... 17, 35, 36, 37
 目的と原理..... 35
 求め方..... 17
 モノクローナル抗体作製技術... 53
 物モニタリング..... 29
 モル吸光係数..... 25
 漏れ電流測定法..... 62
 門脈系の正常像..... 23

や

薬剤感受性検..... 50
 薬剤感受性検査..... 49
 薬剤感受性検査装置..... 50
 薬剤耐性菌..... 44
 薬剤排出ポンプ..... 44
 薬事法規..... 60

薬品..... 3
 薬物依存..... 58
 薬物中毒..... 17
 薬物・毒物..... 29
 薬物・毒物・代謝産物..... 4
 役割..... 28, 51
 野兎病..... 7
 ヤブカ..... 7

ゆ

有害ガス..... 58
 有害物中毒..... 17
 有機物質..... 58
 有棘..... 40
 有形成分..... 38
 有効期間..... 55
 有鉤条虫..... 6
 有鉤囊虫..... 6
 有線通信装置..... 62
 遊走能..... 54
 有訴者率..... 57
 誘導法..... 20
 尤度比..... 17
 誘発電位..... 22
 有病率..... 17, 57
 遊離T3..... 29
 遊離T4..... 29
 遊離型コレステロール..... 27
 遊離脂肪酸..... 27
 輸血管理..... 54
 輸血関連急性肺障害..... 55
 輸血関連循環過負荷..... 55
 輸血血液の保存と管理..... 55
 輸血検査..... 54
 輸血検査の精度管理..... 54
 輸血後GVHD..... 55
 輸血後感染症..... 55
 輸血後紫斑病..... 55
 輸血の基礎知識..... 54
 輸血の適応決定..... 54
 輸血副作用・合併症..... 55
 輸血前検査..... 54
 輸送用培地..... 43
 輸入感染症..... 6, 14, 45
 輸入食品..... 58

よ

溶血性尿毒症症候群..... 41
 溶血性貧血..... 14
 溶血性副作用..... 55
 溶血性連鎖球菌感染症..... 52
 溶血の検査..... 39
 葉酸..... 30
 葉酸欠乏..... 40
 陽子..... 23
 幼児死亡..... 58
 用手法..... 39
 用手法と検査機器..... 64
 羊水..... 5
 羊水細胞培養..... 9
 陽性適(的)中率..... 17
 溶存酸素量..... 57
 幼虫..... 7
 幼虫移行症..... 6
 幼虫・成虫体..... 7
 抑制反応..... 52
 横川吸虫..... 6
 予後の検査..... 1
 余色と補色..... 25
 四日熱マラリア原虫..... 7
 予防衛生法規..... 60
 予防接種..... 57
 予防接種法..... 60
 四種..... 46
 四類感染症..... 46

ら

ライム病..... 7
 ラクトフェノールコットンブルー染
 色法..... 43
 ラテックス凝集反応..... 25
 ラテックス凝集免疫比濁法・ラテッ
 クス凝集ネフェロメトリ..... 52
 卵形マラリア原虫..... 7
 ランスサイレチン..... 28
 卵巣疾患..... 15
 卵巣腫瘍..... 15, 34
 ランダム化比較対照試験..... 57
 卵胞刺激ホルモン..... 29

り

リアルタイムPCR法..... 8, 50
 リアルタイム処理..... 63
 リーシュマニア..... 7
 リウマチ熱..... 16
 リウマトイド因子..... 53
 罹患率..... 57
 力学的特性..... 61
 リケッチア..... 43, 48
 リケッチア感染症..... 13, 52
 離婚..... 56
 リスクとリスクファクター..... 57
 リスク評価とリスク管理..... 58
 リスクファクター..... 58
 立体解剖..... 32
 リパーゼ..... 29
 リピドーシス..... 16
 リポ蛋白..... 27
 リポ蛋白(a)..... 27
 リポ蛋白の代謝..... 27
 リポ蛋白リパーゼ..... 27
 リポペプチド系抗菌薬..... 45
 流行性角結膜炎..... 13
 流行性耳下腺炎..... 13
 量反応関係..... 58
 臨界点乾燥..... 37
 淋菌感染症..... 13
 リンコマイシン系抗菌薬..... 45
 リン脂質..... 27
 リン脂質・糖脂質・プロスタグラン
 ジン..... 27
 臨床研究法..... 60
 臨床検査..... 17
 臨床検査技師等に関する法律... 59
 臨床検査技師の役割..... 19
 臨床検査室の技能試験..... 2
 臨床検査室の評価..... 1

臨床検査情報室 1
 臨床検査性能評価 17
 臨床検査と生体物性 61
 臨床検査の意義 1
 臨床検査部門システム 63
 臨床検査部門の業務 1
 臨床検査部門の業務と管理 1
 臨床検査部門の組織 1
 臨床工学技士法 60
 臨床試験 57
 臨床判断値と診療ガイドライン . 18
 リンパ管 33
 リンパ管疾患 11
 リンパ球減少 41
 リンパ球細胞株の樹立 9
 リンパ球サブセットの解析 54
 リンパ球増加 41
 リンパ球の異常 41
 リンパ球幼若化試験 54
 リンパ腫 14
 リンパ節 23, 33
 リンパ組織 38
 倫理 8

る

涙滴 40
 類白血病反応 41
 ループスアンチコアグラント ... 40

れ

励起波長と蛍光波長 25
 冷蔵庫 64
 冷凍庫 64
 レオウイルス 49

レクチン凝集法 54
 レジオネラ症 13
 レジオネラ・肺炎球菌尿中抗原検査
 50
 レシチンコレステロールアシルトラ
 ンスフェラーゼ 27
 レチノール結合蛋白 28
 裂頭条虫 6
 レトロウイルス 49
 レトロウイルス感染症 52
 レプチン 29
 レプトスピラ 48
 連鎖球菌感染症 13
 連鎖形成 40
 連続波ドプラ法 22

ろ

労災保険 59
 老人福祉 59
 老人保健 58
 労働安全衛生法 37, 60
 労働衛生管理 3, 58
 労働衛生行政 59
 労働衛生法規 60
 労働基準法 60
 労働災害と業務上疾病 58
 労働者災害補償保険法 60
 老年人口 56
 ろ過滅菌 44
 ロタウイルス 50
 論理回路の基礎 61

わ

ワクチン 46

